

**松本市総合計画策定に係る  
市民意識調査（アンケート調査）  
報告書**

2020年3月

# 目次

1. 調査実施概要 .....	2
(1)調査の目的 .....	2
(2)実施概要 .....	2
(3)調査結果の留意点 .....	2
2. 調査結果 .....	3
(1)回答者の属性 .....	3
(2)松本市の魅力や今後のまちづくり .....	10
(3)松本市が今後、重視すべき取り組み .....	18
(4)生活の充実感や暮らし向き、満足度、定住意向 .....	33
(5)高校生の卒業後の進路や地元就職意向 .....	54
(6)まちづくりへの参加状況や地域情報の入手方法 .....	60
3. 総括 .....	65
(1)松本市の魅力や今後のまちづくり .....	65
(2)改善が必要と感じている政策、重視する取り組み .....	67
(3)生活の暮らし向きや満足度、定住意向 .....	70
(4)高校生の卒業後の進路や地元就職意向 .....	72
(5)まちづくりへの参加状況や地域情報の入手方法 .....	72
<付属資料1> 市民意識調査(一般用)の調査票 .....	73
I あなたご自身のことについて伺います。 .....	74
II 暮らしの満足度や定住意向などについて伺います。 .....	76
III 松本市の魅力や今後のまちづくりについて伺います。 .....	78
IV 松本市が今後、重視すべき取り組みについて伺います。 .....	80
V 日常生活や地域活動への参加状況について伺います。 .....	83
VI まちづくりへの参加状況や地域情報の入手方法などについて伺います。 .....	84
<付属資料2> 市民意識調査(高校生用)の調査票 .....	85

# 1. 調査実施概要

## (1) 調査の目的

本調査は、新たな総合計画（基本構想 2030・第 11 次基本計画）の策定に向けて、これから 10 年先を見据えた目指すべき地域の姿や大切にすべき松本の魅力、重視すべき政策・施策を把握することを目的に実施した。また、暮らしの満足度や定住意向などから本市の強み、課題の収集も行った。

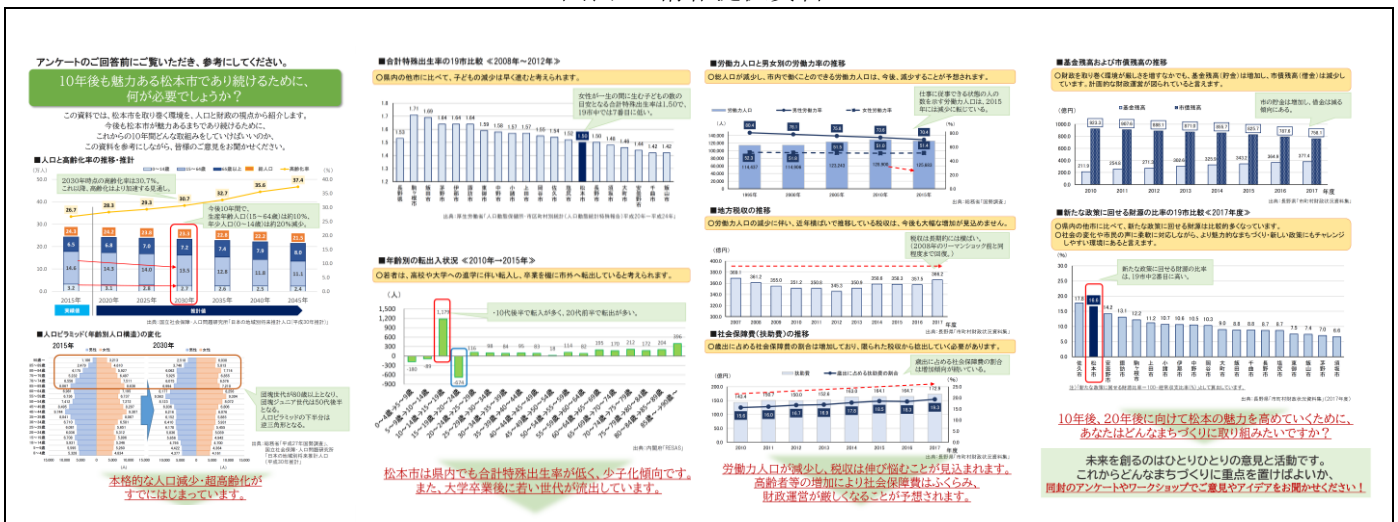
## (2) 実施概要

調査は満 18 歳以上の市民と高校生（満 16 歳から満 17 歳）を対象に実施した。一部、設問が異なり、調査結果のうち、図表に【高校生】の表記があるものは、高校生アンケートの回答結果である。

	一般市民アンケート	高校生アンケート
調査対象者	満 18 歳以上の市民	満 16 歳から満 17 歳の市民
配布数	2,400 件	300 件
抽出方法	住民基本台帳の各対象年齢層から無作為抽出	
調査方法	郵送調査	
調査期間	令和元年 11 月 15 日～12 月 20 日	
不着数	49 件	1 件
有効回答数	1,067 件（有効回答率 45.4%）	90 件（有効回答率 30.1%）
主な調査項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 属性</li> <li>・ 暮らしの満足度・定住意向</li> <li>・ 松本市の魅力や今後のまちづくり</li> <li>・ 重要政策・施策</li> <li>・ 日常生活や地域活動への参加状況</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 属性</li> <li>・ 暮らしの満足度</li> <li>・ 高校生の地元就職意向</li> <li>・ 松本市の魅力や今後のまちづくり</li> <li>・ 重要政策・施策</li> <li>・ 日常生活や地域活動への参加状況</li> </ul>

アンケートにあたり、市の人口動向や財政状況についてまとめた「情報提供資料」を同封し、松本市の現状や将来予測を踏まえたうえでの回答を依頼した。

図表 1 情報提供資料



## (3) 調査結果の留意点

- ・ 報告書のパーセント数字は小数点第 2 位を四捨五入しているため、合計が 100%にならない場合や文中に示す数値とグラフの数値が一致しない場合がある。
- ・ 複数回答の設問は、回答数を有効回答者数で除した割合を示しているため、割合の合計が 100%を超えている。
- ・ クロス集計は、対象項目に回答がない場合があるため、単純集計の合計と一致しない。

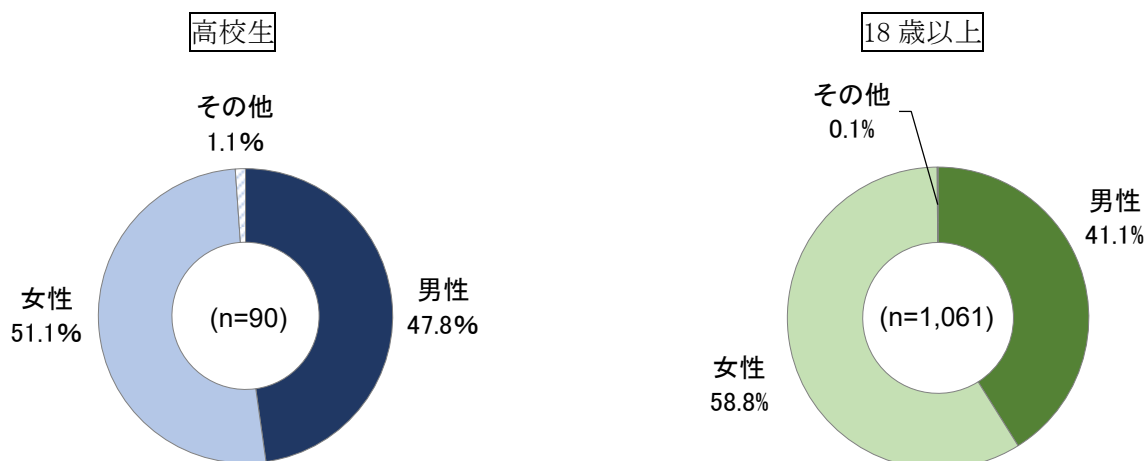
## 2. 調査結果

### (1) 回答者の属性

#### ① 性別・年代

- 性別を見ると、高校生の回答者は男女がほぼ同数である。一方、18歳以上の回答者は女性が58.8%であり、男性よりも割合が高い。
- 年齢を見ると、60代以上が46.5%となっており、約半数を占めている。

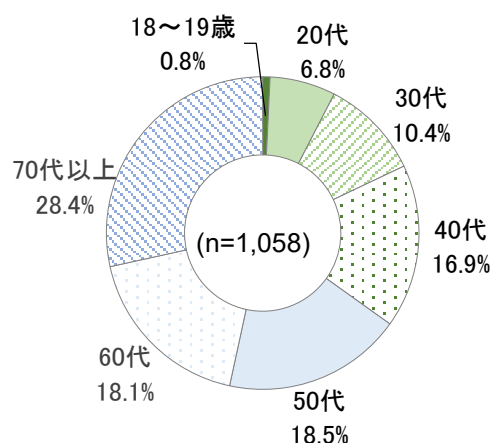
図表2 性別



	高校生		18歳以上	
	度数(人)	割合	度数(人)	割合
男性	43	47.8%	436	41.1%
女性	46	51.1%	624	58.8%
その他	1	1.1%	1	0.1%
合計	90	100.0%	1,061	100.0%

図表3 年代

	度数(人)	割合
18~19歳	8	0.8%
20代	72	6.8%
30代	110	10.4%
40代	179	16.9%
50代	196	18.5%
60代	192	18.1%
70代以上	301	28.4%
合計	1,058	100.0%

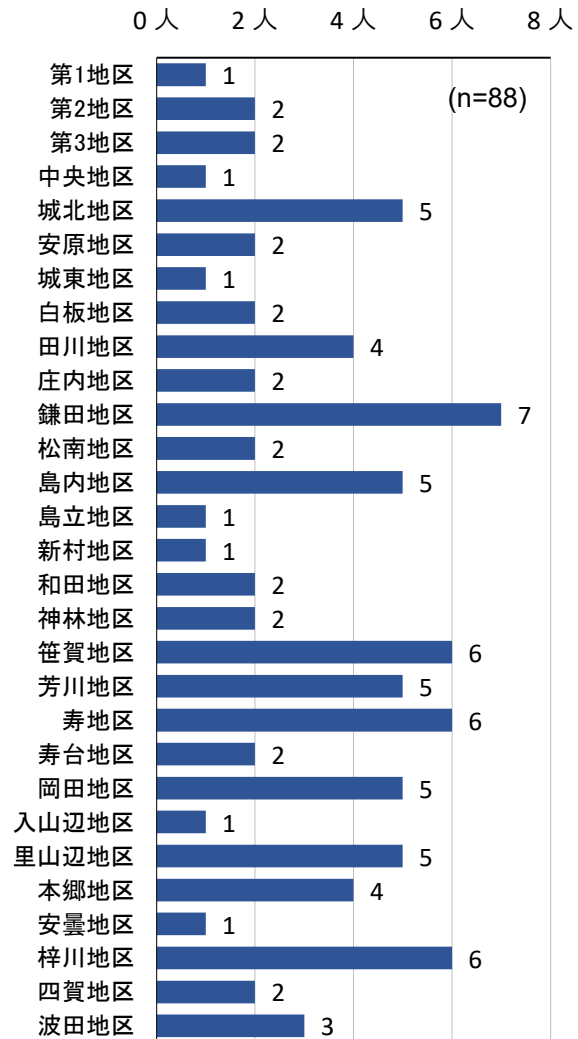


## ② 居住地区

- 居住地を見ると、高校生の回答者では鎌田地区が最も多く、次いで笹賀地区、寿地区、梓川地区が多い。

図表 4 居住地区【高校生】

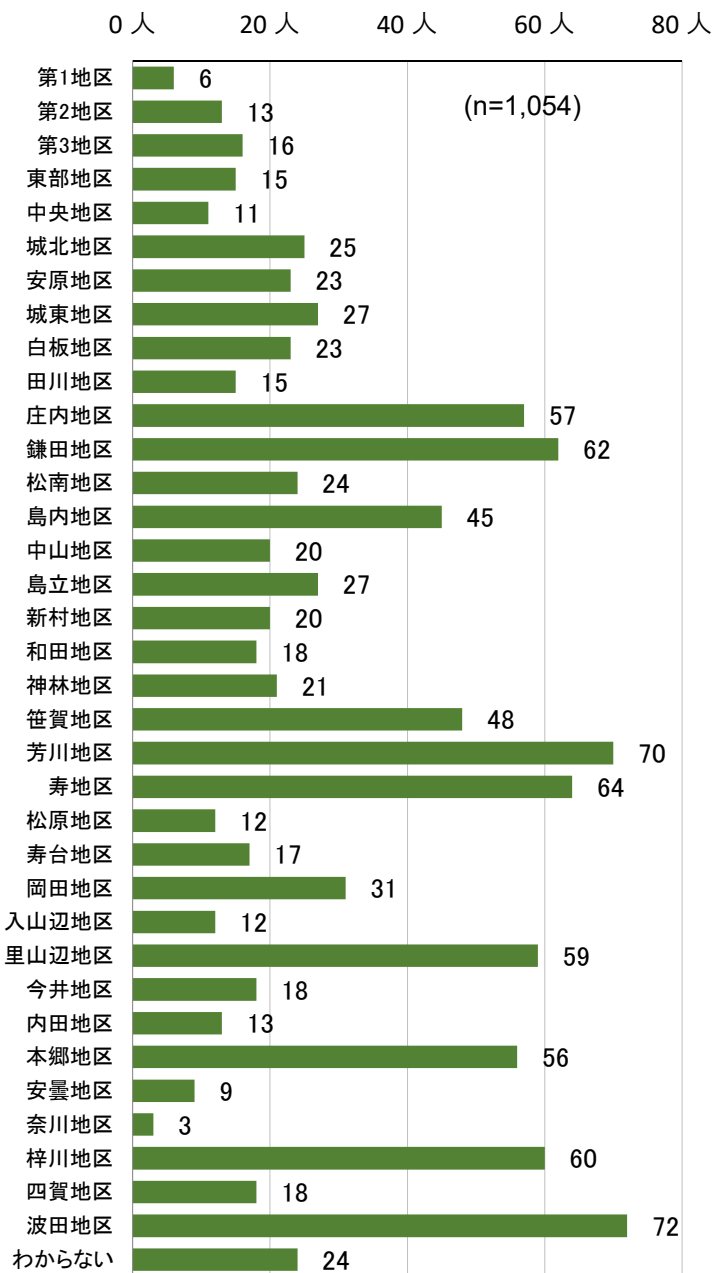
	度数(人)	割合
第1地区	1	1.1%
第2地区	2	2.3%
第3地区	2	2.3%
中央地区	1	1.1%
城北地区	5	5.7%
安原地区	2	2.3%
城東地区	1	1.1%
白板地区	2	2.3%
田川地区	4	4.5%
庄内地区	2	2.3%
鎌田地区	7	8.0%
松南地区	2	2.3%
島内地区	5	5.7%
島立地区	1	1.1%
新村地区	1	1.1%
和田地区	2	2.3%
神林地区	2	2.3%
笹賀地区	6	6.8%
芳川地区	5	5.7%
寿地区	6	6.8%
寿台地区	2	2.3%
岡田地区	5	5.7%
入山辺地区	1	1.1%
里山辺地区	5	5.7%
本郷地区	4	4.5%
安曇地区	1	1.1%
梓川地区	6	6.8%
四賀地区	2	2.3%
波田地区	3	3.4%
合計	88	100.0%



- 18歳以上の回答者の居住地を見ると、波田地区が最も多く、次いで芳川地区、寿地区、鎌田地区、梓川地区が多くなっている。

図表5 居住地区

	度数(人)	割合
第1地区	6	0.6%
第2地区	13	1.2%
第3地区	16	1.5%
東部地区	15	1.4%
中央地区	11	1.0%
城北地区	25	2.4%
安原地区	23	2.2%
城東地区	27	2.6%
白板地区	23	2.2%
田川地区	15	1.4%
庄内地区	57	5.4%
鎌田地区	62	5.9%
松南地区	24	2.3%
島内地区	45	4.3%
中山地区	20	1.9%
島立地区	27	2.6%
新村地区	20	1.9%
和田地区	18	1.7%
神林地区	21	2.0%
笹賀地区	48	4.6%
芳川地区	70	6.6%
寿地区	64	6.1%
松原地区	12	1.1%
寿台地区	17	1.6%
岡田地区	31	2.9%
入山辺地区	12	1.1%
里山辺地区	59	5.6%
今井地区	18	1.7%
内田地区	13	1.2%
本郷地区	56	5.3%
安曇地区	9	0.9%
奈川地区	3	0.3%
梓川地区	60	5.7%
四賀地区	18	1.7%
波田地区	72	6.8%
わからない	24	2.3%
合計	1,054	100.0%

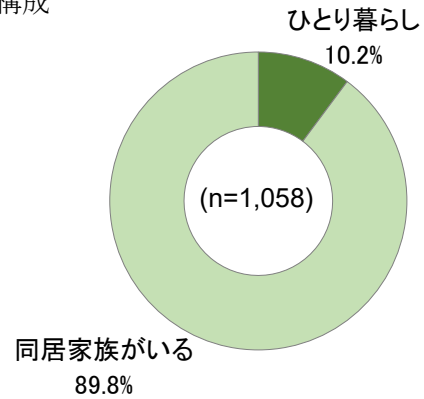


### ③ 家族構成

- 家族構成を見ると、「同居家族がいる」が89.8%、「ひとり暮らし」は10.2%となっている。
- 同居家族の内訳を見ると「配偶者」が77.2%で最も多く、次いで「子ども」が51.5%、「親」が24.8%となっている。
- 同居の子どもの通学状況を見ると、高校生以下の子どもがいる回答者の中では「小学校に通っている」が31.1%で、最も多い。

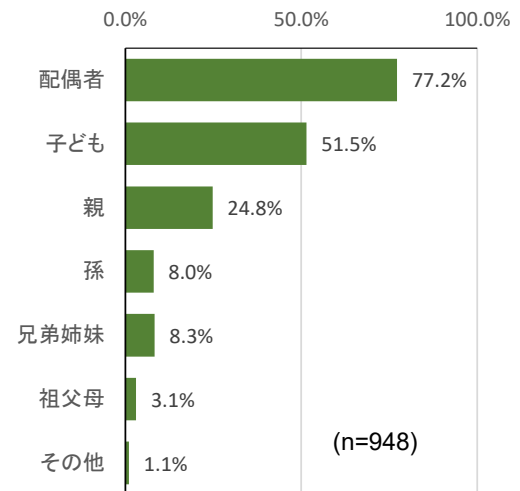
図表 6 回答者の家族構成

	度数(人)	割合
ひとり暮らし	108	10.2%
同居家族がいる	950	89.8%
合計	1,058	100.0%



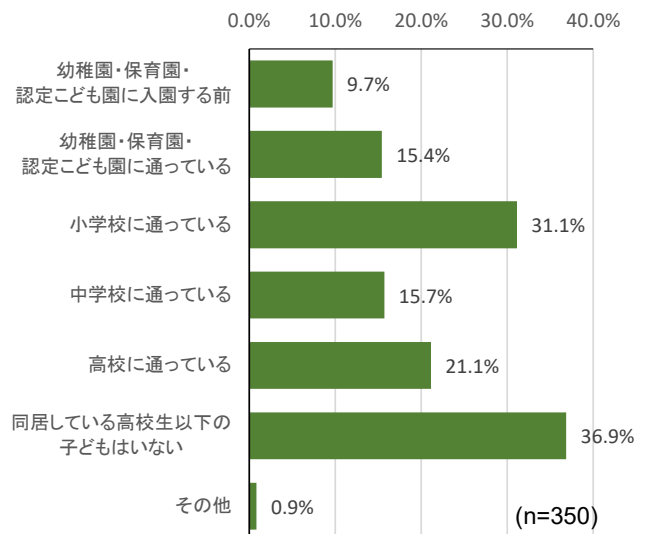
図表 7 同居家族の内訳(複数回答)

	度数(人)	割合
配偶者	732	77.2%
子ども	488	51.5%
親	235	24.8%
孫	76	8.0%
兄弟姉妹	79	8.3%
祖父母	29	3.1%
その他	10	1.1%
回答者数	948	



図表 8 同居のお子さんの通学・通園状況(複数回答)

	度数(人)	割合
幼稚園・保育園・認定こども園に入園する前	34	9.7%
幼稚園・保育園・認定こども園に通っている	54	15.4%
小学校に通っている	109	31.1%
中学校に通っている	55	15.7%
高校に通っている	74	21.1%
同居している高校生以下の子どもはいない	129	36.9%
その他	3	0.9%
回答者数	350	

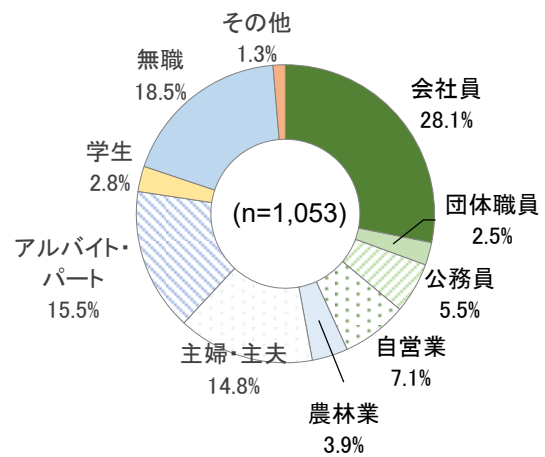


#### ④ 職業・転勤の有無

- 職業は「会社員」が最も多く、ついで「無職」、「アルバイト・パート」、「主婦・主夫」である。
- 雇用形態を見ると、「正社員」が83.2%と最も多く、次いで「契約社員」で11.2%である。
- 市外への転出を伴う転勤の有無を見ると、「市外への転出を伴う転勤はない」が84.2%であり、転勤する可能性がある者は10.5%である。

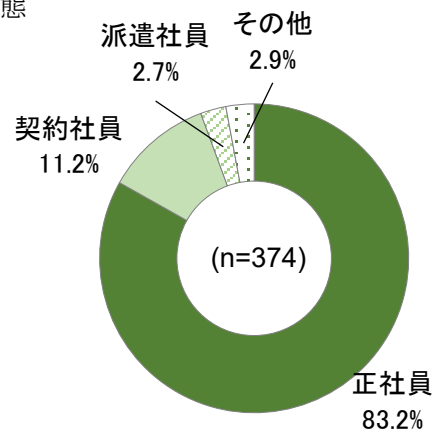
図表 9 職業

	度数(人)	割合
会社員	296	28.1%
団体職員	26	2.5%
公務員	58	5.5%
自営業	75	7.1%
農林業	41	3.9%
主婦・主夫	156	14.8%
アルバイト・パート	163	15.5%
学生	29	2.8%
無職	195	18.5%
その他	14	1.3%
合計	1,053	100.0%



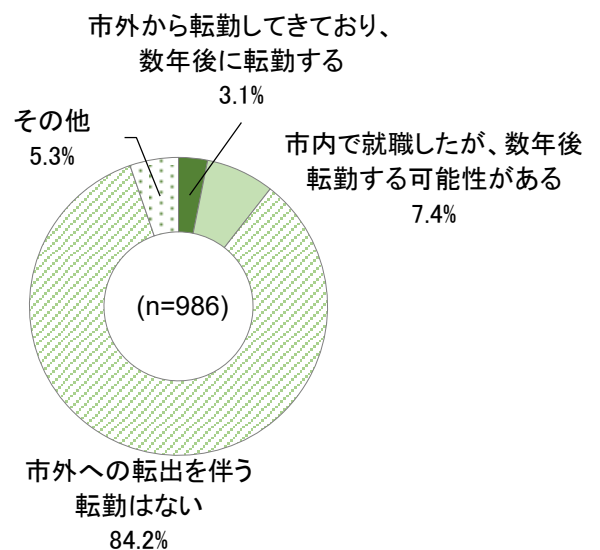
図表 10 雇用形態

	度数(人)	割合
正社員	311	83.2%
契約社員	42	11.2%
派遣社員	10	2.7%
その他	11	2.9%
合計	374	100.0%



図表 11 転出を伴う転勤の有無

	度数(人)	割合
市外から転勤してきており、数年後に転勤する	31	3.1%
市内で就職したが、数年後転勤する可能性がある	73	7.4%
市外への転出を伴う転勤はない	830	84.2%
その他	52	5.3%
合計	986	100.0%



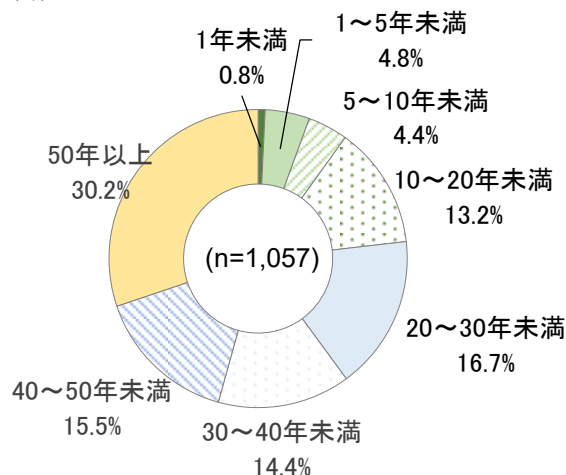


- 居住年数を見ると、「50年以上」が30.2%と最も多い。
- 出身地を見ると、高校生の回答者では93.3%が「松本市」出身である。18歳以上の回答では「松本市」出身者が56.7%、「県内市外」出身者が25.1%、「県外」出身者が17.5%となっている。

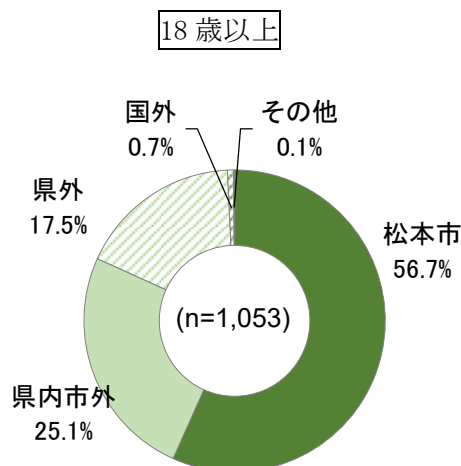
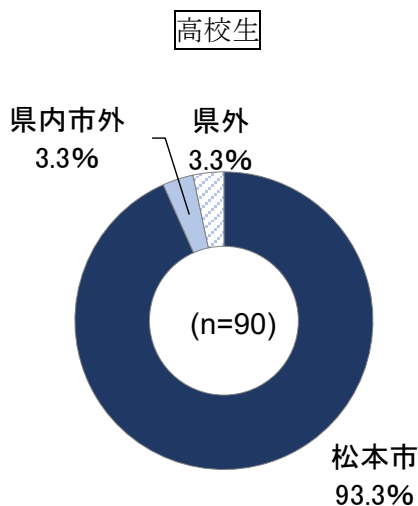
### ⑤ 居住年数・出身地

図表 12 居住年数

	度数(人)	割合
1年未満	8	0.8%
1～5年未満	51	4.8%
5～10年未満	46	4.4%
10～20年未満	140	13.2%
20～30年未満	177	16.7%
30～40年未満	152	14.4%
40～50年未満	164	15.5%
50年以上	319	30.2%
合計	1,057	100.0%



図表 13 出身地



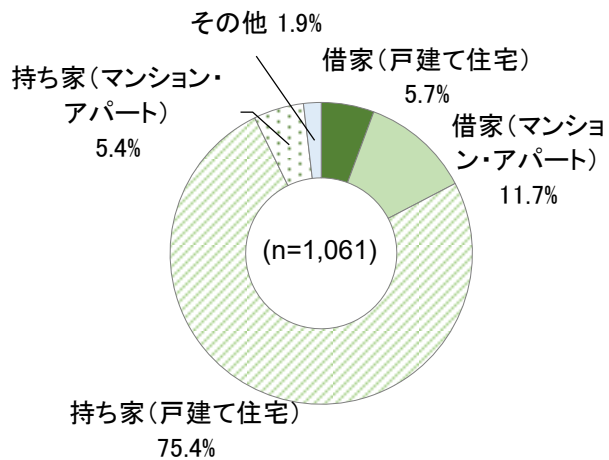
	高校生		18歳以上	
	度数(人)	割合	度数(人)	割合
松本市	84	93.3%	597	56.7%
県内市外	3	3.3%	264	25.1%
県外	3	3.3%	184	17.5%
国外	0	0.0%	7	0.7%
その他	0	0.0%	1	0.1%
その他	90	100.0%	1,053	100.0%

## ⑥ 住まいの状況

- 住まいの状況を見ると、持ち家（戸建て住宅）が75.4%で最も多くなっている。

図表 14 住まいの状況

	度数(人)	割合
借家（戸建て住宅）	60	5.7%
借家（マンション・アパート）	124	11.7%
持ち家（戸建て住宅）	800	75.4%
持ち家（マンション・アパート）	57	5.4%
その他	20	1.9%
合計	1,061	100.0%

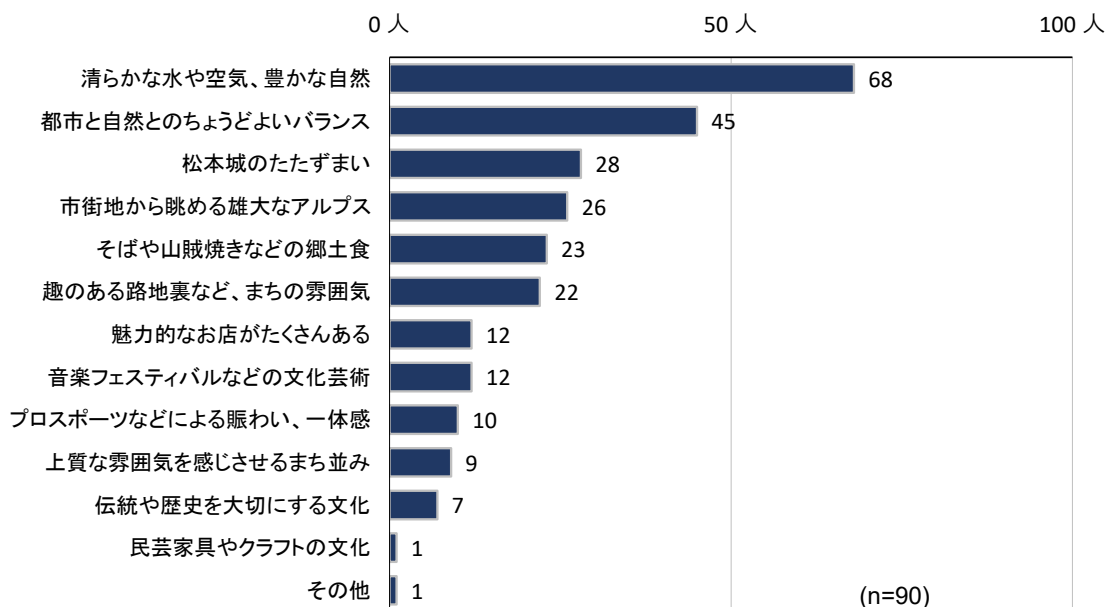


## (2) 松本市の魅力や今後のまちづくり

### ① 松本市の魅力

- 高校生に松本市の魅力聞いたところ、「清らかな水や空気、豊かな自然」が68人で最も多く、次いで「都市と自然とのちょうどよいバランス」が45人と多くなっている。

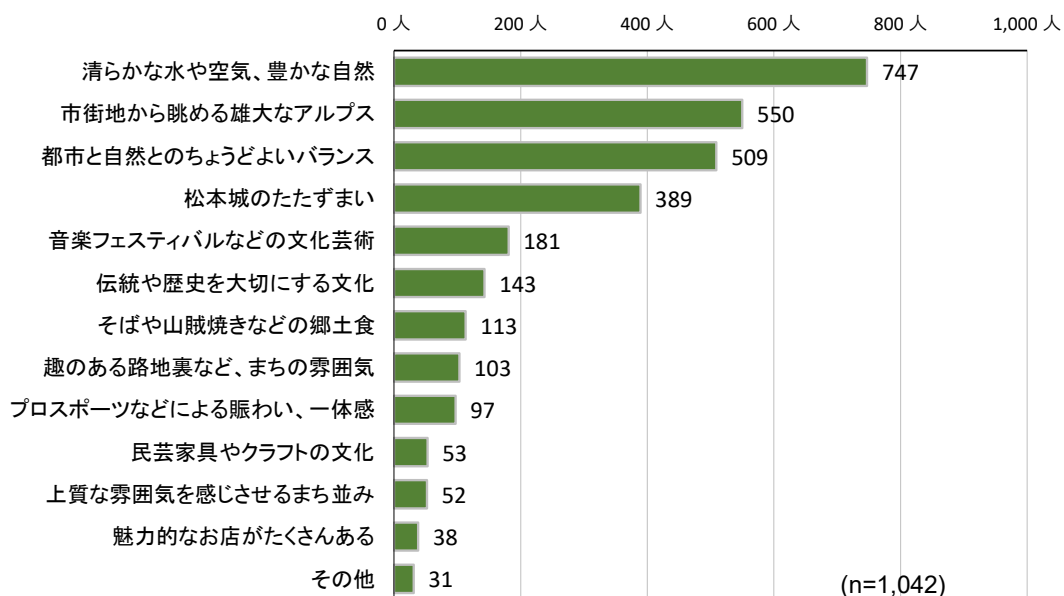
図表 15 松本市の魅力 【高校生】 (3つまで回答)



	度数(人)	割合
清らかな水や空気、豊かな自然	68	25.8%
都市と自然とのちょうどよいバランス	45	17.0%
松本城のたたずまい	28	10.6%
市街地から眺める雄大なアルプス	26	9.8%
そばや山賊焼きなどの郷土食	23	8.7%
趣のある路地裏など、まちの雰囲気	22	8.3%
魅力的なお店がたくさんある	12	4.5%
音楽フェスティバルなどの文化芸術	12	4.5%
プロスポーツなどによる賑わい、一体感	10	3.8%
上質な雰囲気を感させるまち並み	9	3.4%
伝統や歴史を大切にする文化	7	2.7%
民芸家具やクラフトの文化	1	0.4%
その他	1	0.4%
回答者数	90	

- 松本市の魅力聞いたところ、「清らかな水や空気、豊かな自然」が747人で最も多く、次いで「市街地から眺める雄大なアルプス」が550人、「都市と自然とのちょうどよいバランス」が509人、「松本城のたたずまい」が389人の順となっている。
- 自然環境、都市と自然とのバランス、松本城などの歴史的遺産が松本市の魅力・強みといえる。

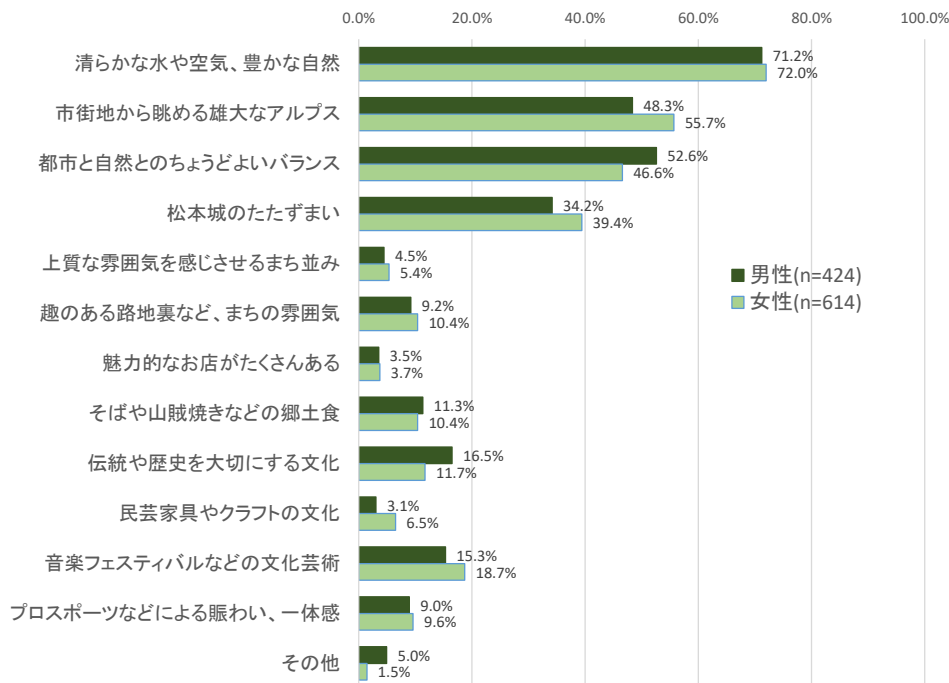
図表 16 松本市の魅力（3つまで回答）



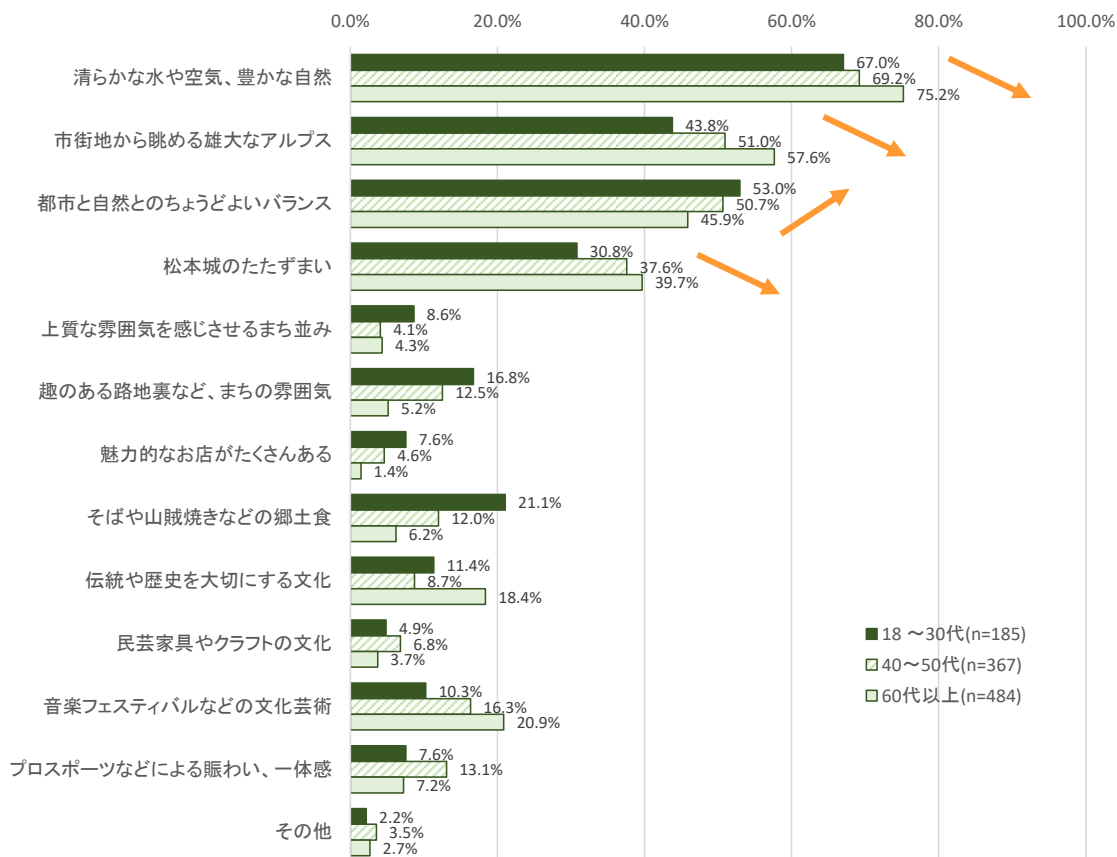
	度数(人)	割合
清らかな水や空気、豊かな自然	747	71.7%
市街地から眺める雄大なアルプス	550	52.8%
都市と自然とのちょうどよいバランス	509	48.8%
松本城のたたずまい	389	37.3%
音楽フェスティバルなどの文化芸術	181	17.4%
伝統や歴史を大切にする文化	143	13.7%
そばや山賊焼きなどの郷土食	113	10.8%
趣のある路地裏など、まちの雰囲気	103	9.9%
プロスポーツなどによる賑わい、一体感	97	9.3%
民芸家具やクラフトの文化	53	5.1%
上質な雰囲気を感じさせるまち並み	52	5.0%
魅力的なお店がたくさんある	38	3.6%
その他	31	3.0%
回答者数	1,042	

- 松本市の魅力についての回答を性別に見ても、大きな差は見られない。
- 年代別に松本市の魅力の上位4項目を見ると、「清らかな水や空気、豊かな自然」「市街地から眺める雄大なアルプス」「松本城のたたずまい」は年代が上がるほど評価が高まり、「都市と自然とのちょうどよいバランス」は年代が下がるほど評価が高まる傾向にある。

図表 17 性別 松本市の魅力 (3つまで回答)

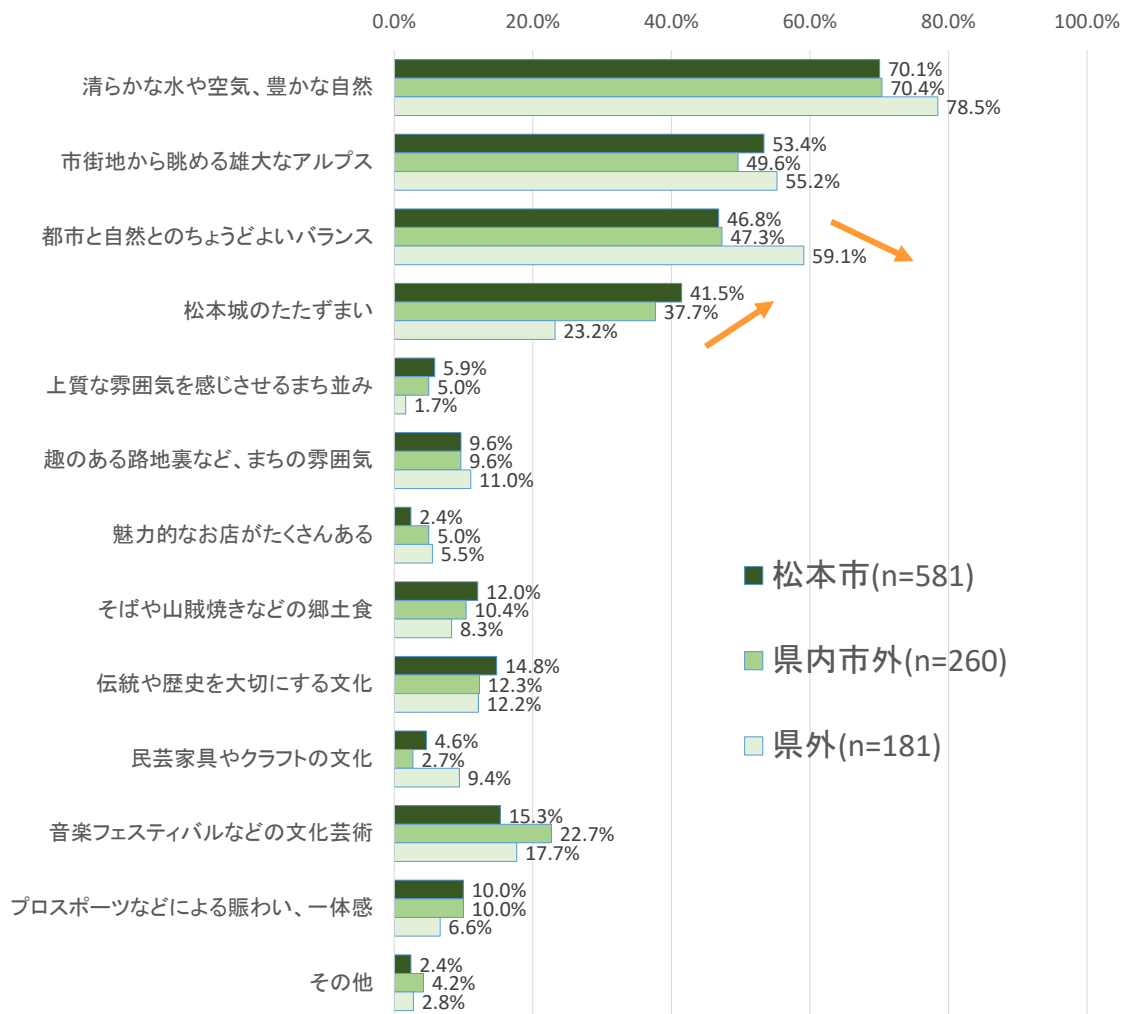


図表 18 年代別 松本市の魅力 (3つまで回答)



- 松本市の魅力についての回答を出身地別に見ると、「清らかな水や空気、豊かな自然」「都市と自然のちょうどよいバランス」で県外出身者の回答割合が高くなっている。一方、「松本城のたたずまい」は県外出身者よりも市内出身者に評価されている。

図表 19 出身地別 松本市の魅力(3つまで回答)

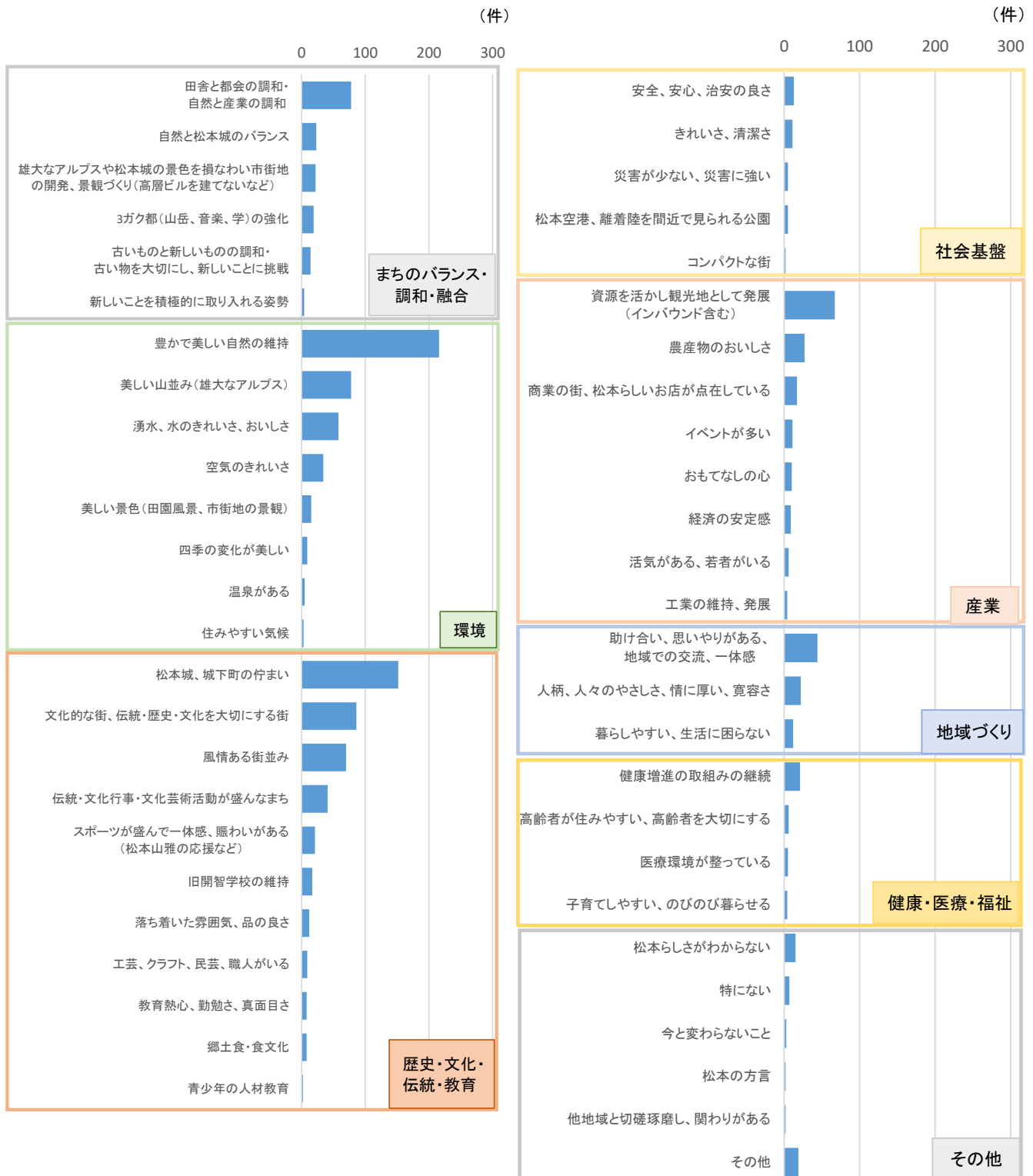


※ 「国外」7名、「その他」1名は集計に含めていない。

## ② 今後も大切にすべき「松本らしさ」

- 今後も大切にすべき「松本らしさ」の回答を見ると、「環境」「歴史・文化・伝統・教育」に関する項目が多く挙げられた。これらはこの先も変わらない強み・良さとして、引き続き、維持していくべきことといえる。さらに観光分野でも活用していくことが望まれる。また、田舎と都会や、自然と松本城など歴史とのバランスの良さも本市の魅力としてあがっている。

図表 20 大切にすべき「松本らしさ」[自由記述を整理]

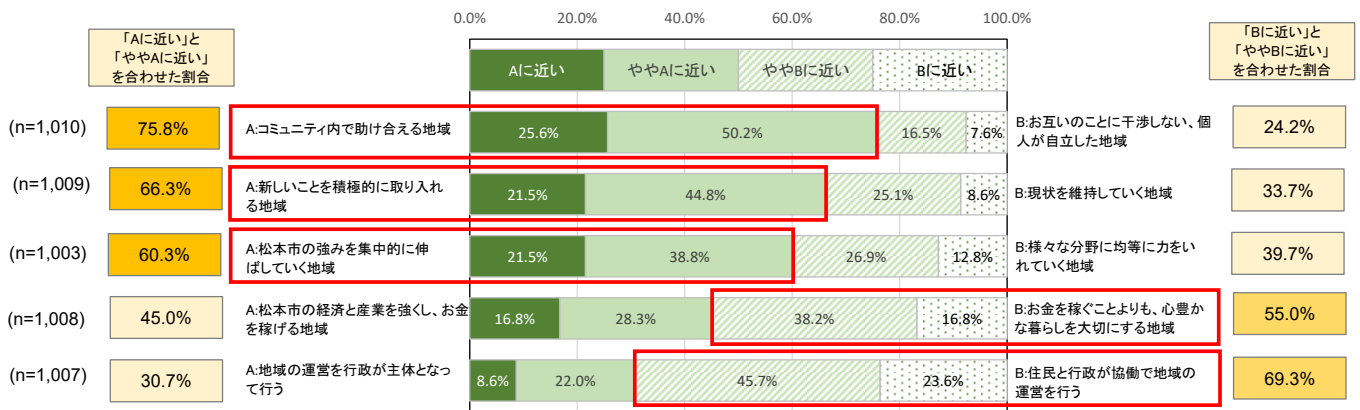


※自由記述の整理には高校生の回答を含む

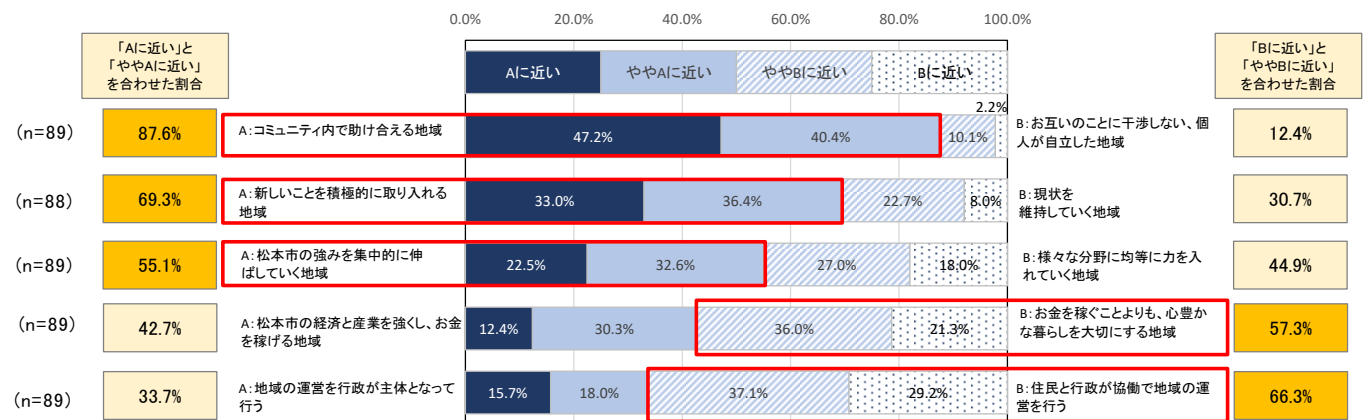
### ③ これからの10年間を見据え、松本市が目指すべき地域

- これからの10年間を見据え、松本市はどのような地域を目指すべきかを聞いたところ、「コミュニティ内で助け合える地域」、「新しいことを積極的に取り入れる地域」、「松本市の強みを集中的に伸ばしていく地域」、「お金を稼ぐことよりも、心豊かな暮らしを大切にする地域」、「住民と行政が協働で地域の運営を行う」地域を重視する傾向にあった。
- 高校生でも同様の傾向となっている。特徴としては「コミュニティ内で助け合える地域」の割合が87.6%と18歳以上の市民よりも10ポイント以上高く、重視している傾向にある。

図表 21 これからの10年間を見据え、松本市が目指すべき地域



図表 22 これからの10年間を見据え、松本市が目指すべき地域【高校生】

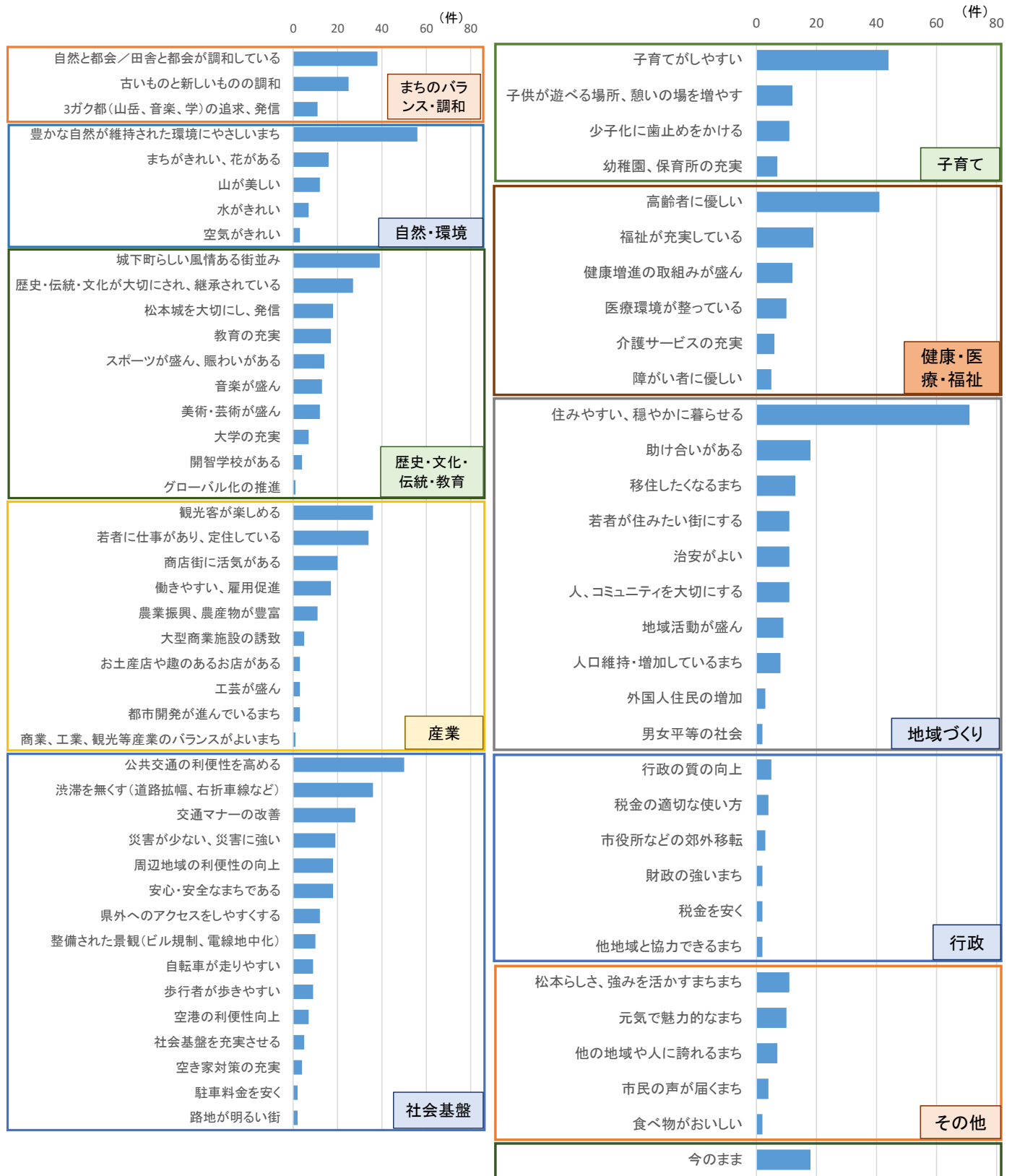




④ これからの10年間で、松本市はどのようなまちになってほしいか

● これからの10年間で、松本市はどのようなまちになってほしいかを聞いたところ、社会基盤に関する声が多かったが、細かくみると「住みやすい、穏やかに暮らせる」「公共交通の利便性」「豊かな自然が維持された環境にやさしいまち」「渋滞の解消」などが挙げられていた。

図表 23 これからの10年間で、松本市はどのようなまちになってほしいか[自由記述を整理]

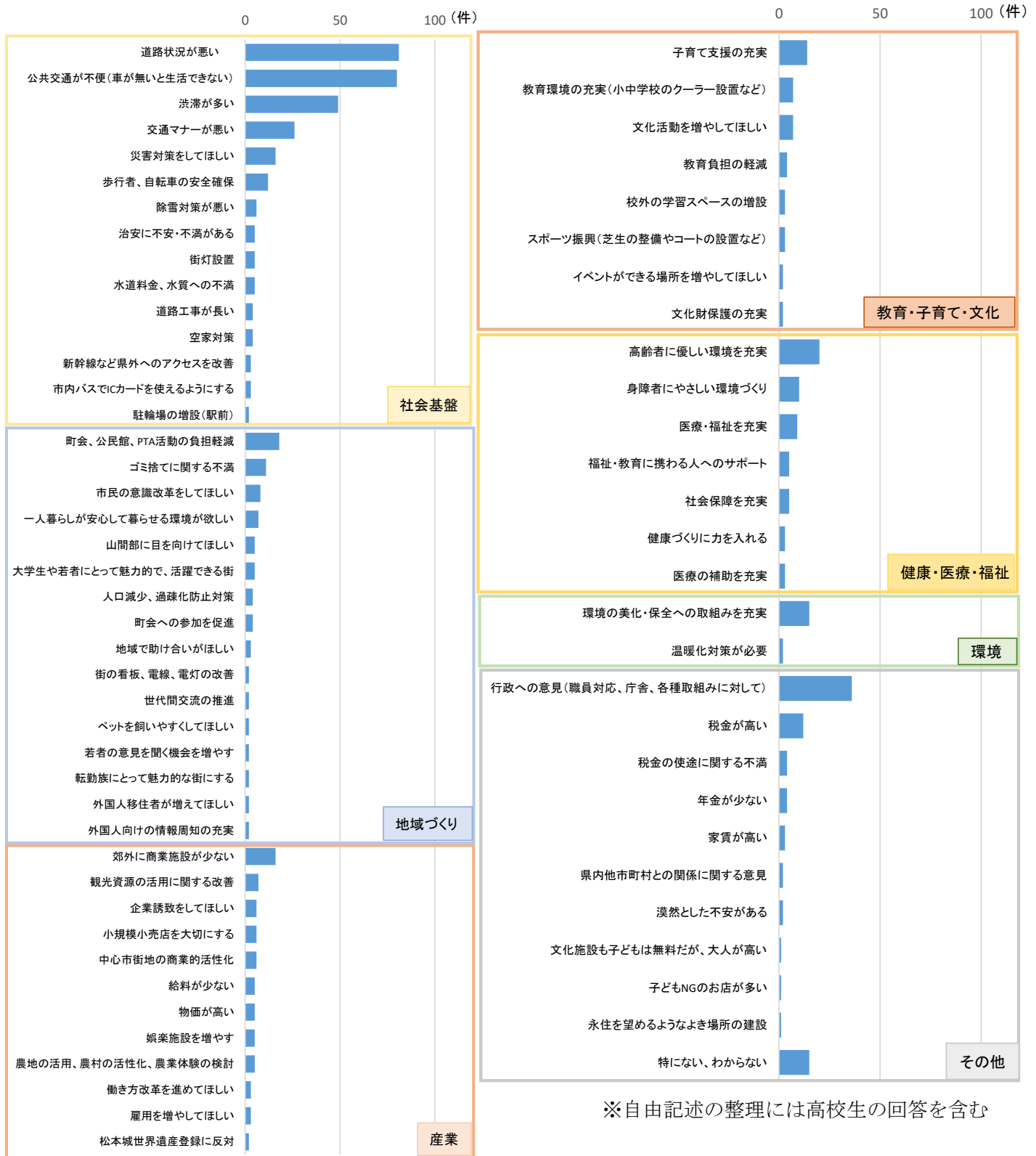


※自由記述の整理には高校生の回答を含む

## ⑤ 生活全般での意見等

- 生活全般の意見等を見ると、社会基盤に関する意見が多く「道路状況が悪い」「公共交通が不便」「渋滞が多い」などの意見が多い。

図表 24 生活全般での意見[自由記述を整理]



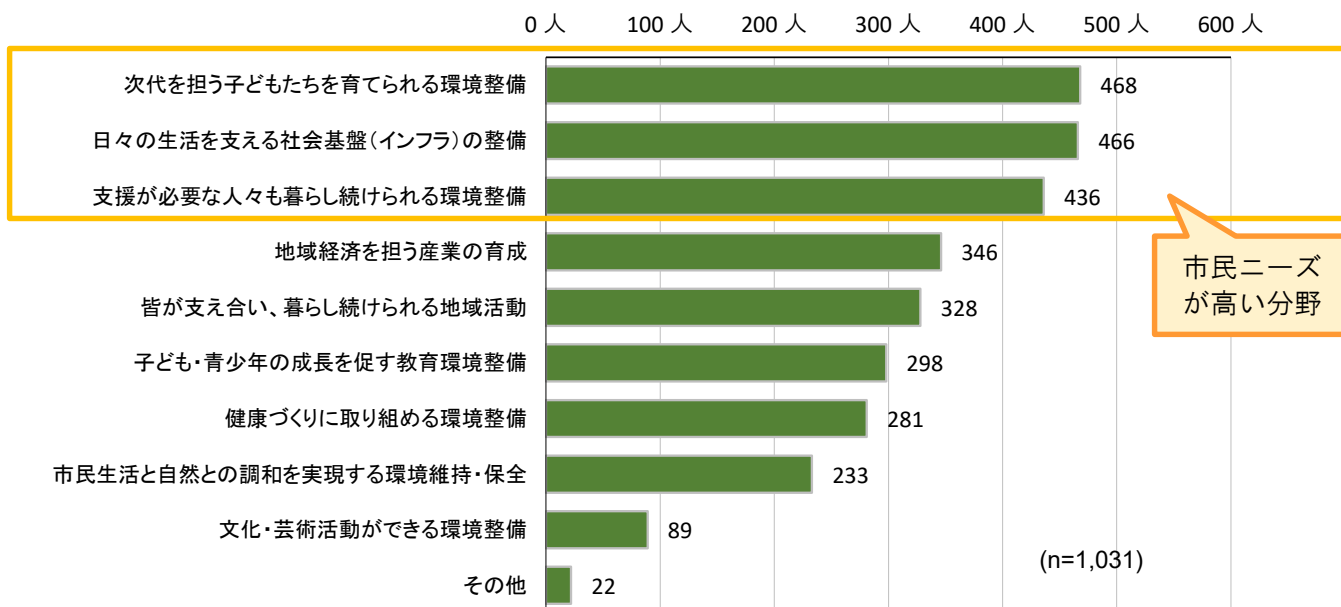
※自由記述の整理には高校生の回答を含む

### (3) 松本市が今後、重視すべき取組み

#### ① 松本市で生活する中で改善が必要と感じている取組み

- 松本市で生活する中で改善が必要と感じている取組みとして、回答が多かったのは「次代を担う子どもたちを育てられる環境整備」、「日々の生活を支える社会基盤（インフラ）の整備」、「支援が必要な人々も暮らし続けられる環境整備」であり、400人以上の回答者が改善が必要と回答している。

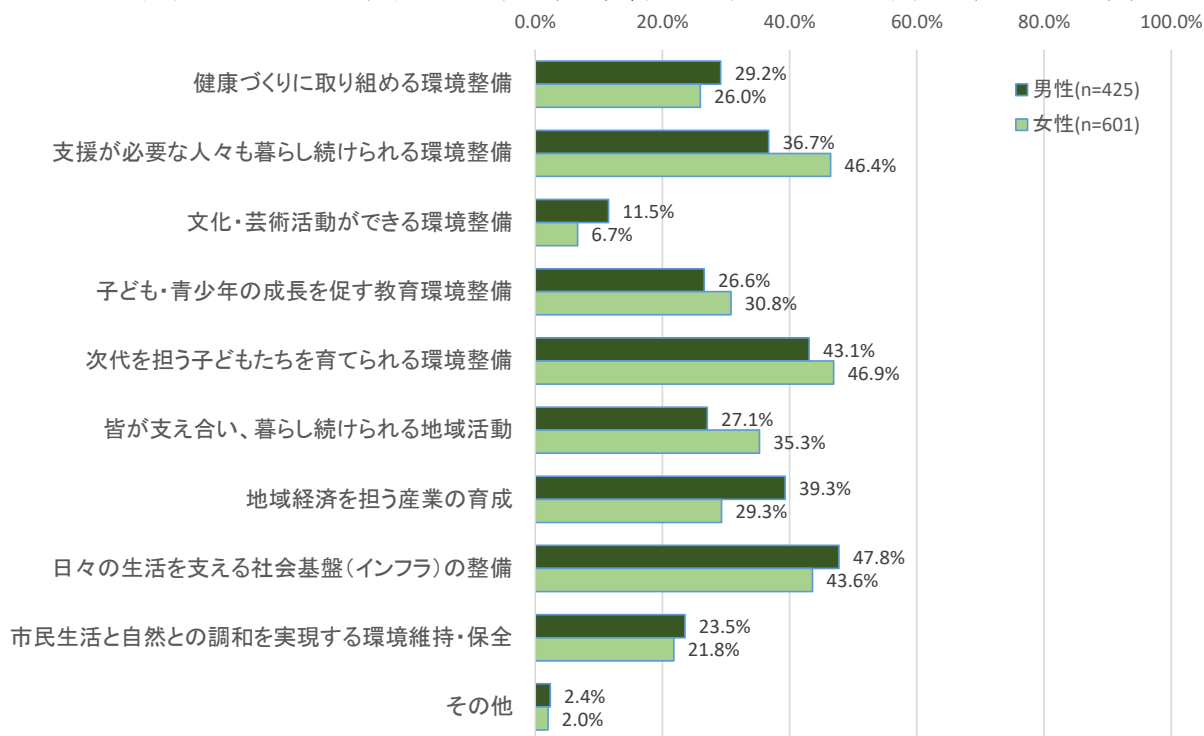
図表 25 松本市で生活する中で改善が必要と感じている取組み(3つまで回答)



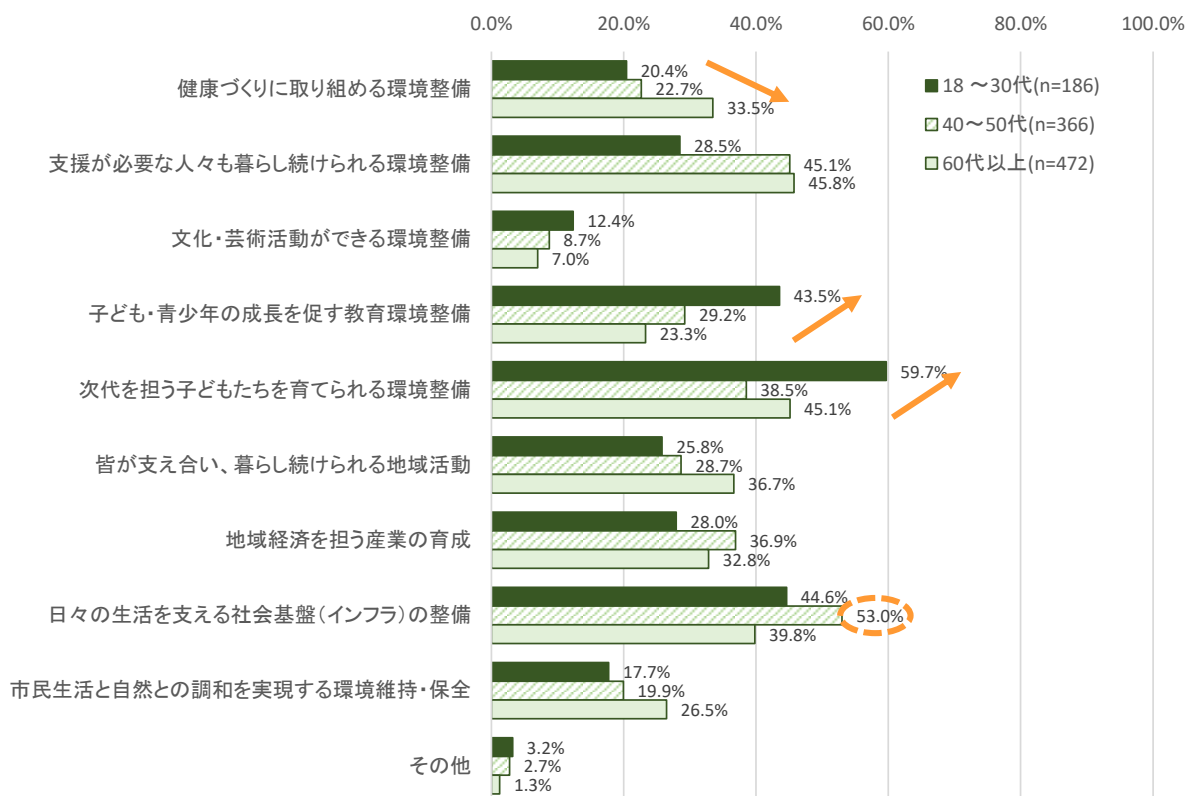
	度数(人)	割合
次代を担う子どもたちを育てられる環境整備	468	45.4%
日々の生活を支える社会基盤（インフラ）の整備	466	45.2%
支援が必要な人々も暮らし続けられる環境整備	436	42.3%
地域経済を担う産業の育成	346	33.6%
皆が支え合い、暮らし続けられる地域活動	328	31.8%
子ども・青少年の成長を促す教育環境整備	298	28.9%
健康づくりに取り組める環境整備	281	27.3%
市民生活と自然との調和を実現する環境維持・保全	233	22.6%
文化・芸術活動ができる環境整備	89	8.6%
その他	22	2.1%
回答者数	1,031	

- 性別に見ると、「支援が必要な人々も暮らし続けられる環境整備」で女性の回答割合が 10 ポイント程度、「地域経済を担う産業の育成」で男性の回答割合が 10 ポイント高く、男女で傾向に違いがみられる。
- 年代別に見ると、「次代を担う子どもたちを育てられる環境整備」「子ども・青少年の成長を促す教育環境整備」は 18～30 代で、「日々の生活を支える社会基盤（インフラ）の整備」は 40～50 代で、「支援が必要な人々も暮らし続けられる環境整備」は 40 代以上で重視されており、年代により傾向に違いが見られる。

図表 26 性別 松本市で生活する中で改善が必要と感じている取組み(3つまで回答)



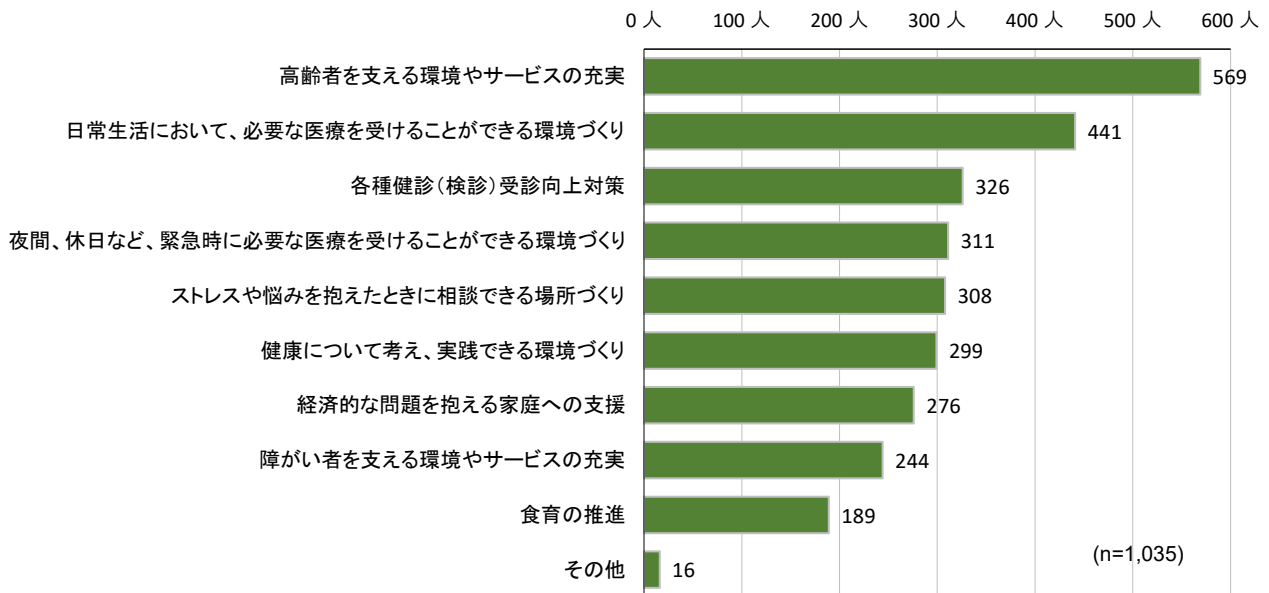
図表 27 年代別 松本市で生活する中で改善が必要な取組み(3つまで回答)



## ② 健康・医療・福祉分野で、さらに力を入れるべき取組み

- 健康・医療・福祉分野でさらに力を入れるべき取組みは、「高齢者を支える環境やサービスの充実」の回答が569人で最も多く、次いで「日常生活において、必要な医療を受けることができる環境づくり」が441人となっている。

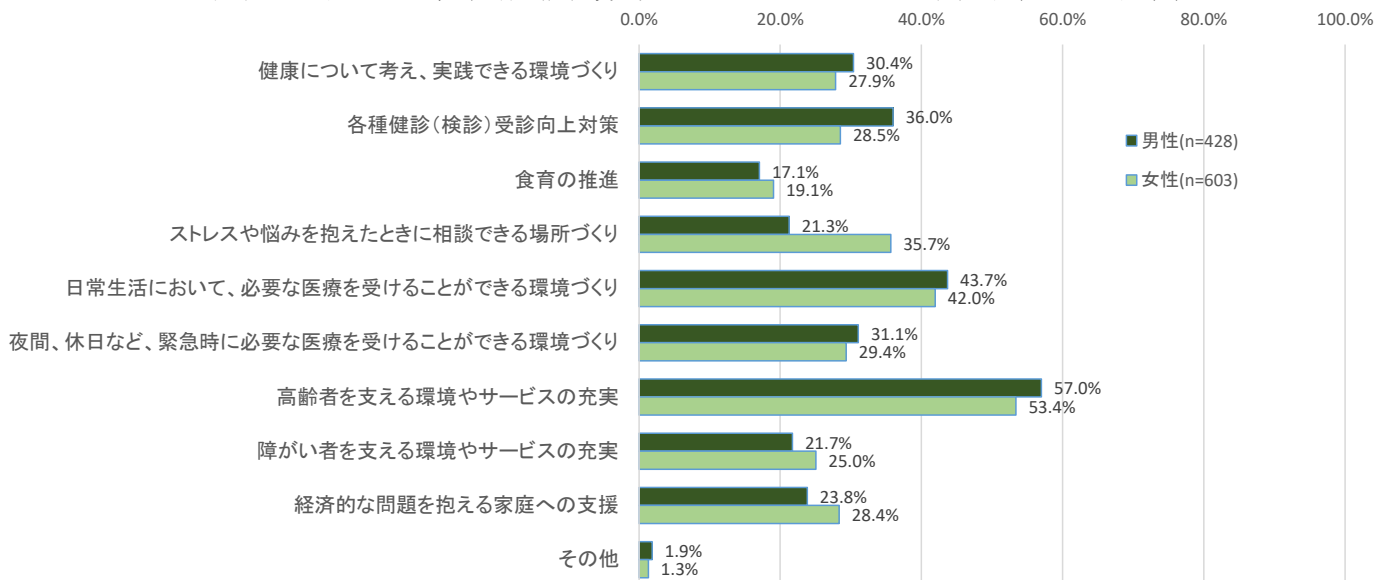
図表 28 健康・医療・福祉分野で、さらに力を入れるべき取組み(3つまで回答)



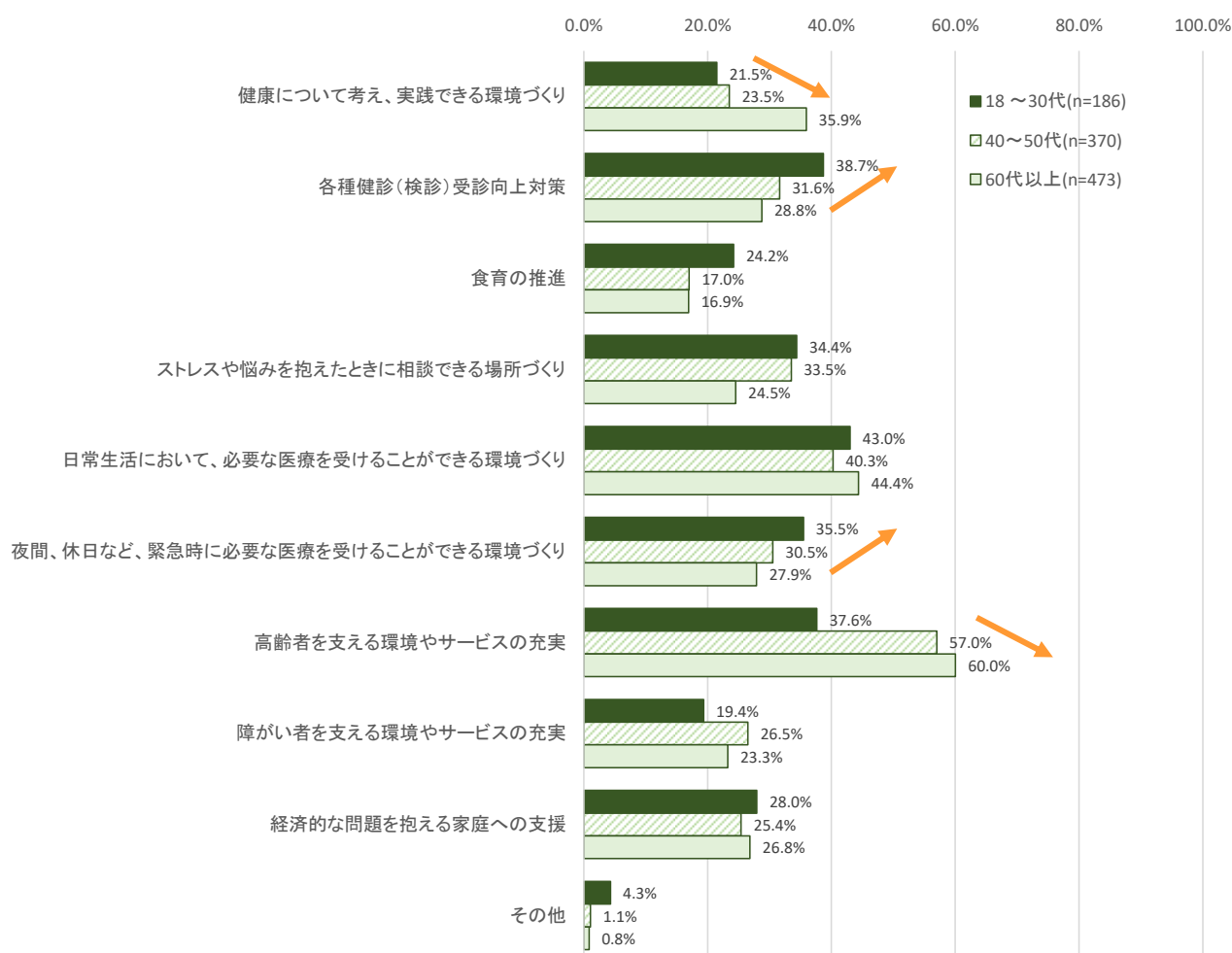
	度数(人)	割合
高齢者を支える環境やサービスの充実	569	55.0%
日常生活において、必要な医療を受けることができる環境づくり	441	42.6%
各種健診(検診)受診向上対策	326	31.5%
夜間、休日など、緊急時に必要な医療を受けることができる環境づくり	311	30.0%
ストレスや悩みを抱えたときに相談できる場所づくり	308	29.8%
健康について考え、実践できる環境づくり	299	28.9%
経済的な問題を抱える家庭への支援	276	26.7%
障がい者を支える環境やサービスの充実	244	23.6%
食育の推進	189	18.3%
その他	16	1.5%
回答者数	1,035	

- 性別で見ると、「ストレスや悩みを抱えたときに相談できる場所づくり」で女性の方が 10 ポイント以上高く、重視している傾向にある。
- 年代別に見ると、「健康について考え、実践できる環境づくり」「高齢者を支える環境やサービスの充実」では年代が上がるほど回答割合が高くなっている。一方で、「各種健診（検診）受診向上対策」「夜間、休日など、緊急時に必要な医療を受けることができる環境づくり」では、年代が下がるほど回答割合が高くなっている。

図表 29 性別 健康・医療・福祉分野でさらに力を入れるべき取組み(3つまで回答)



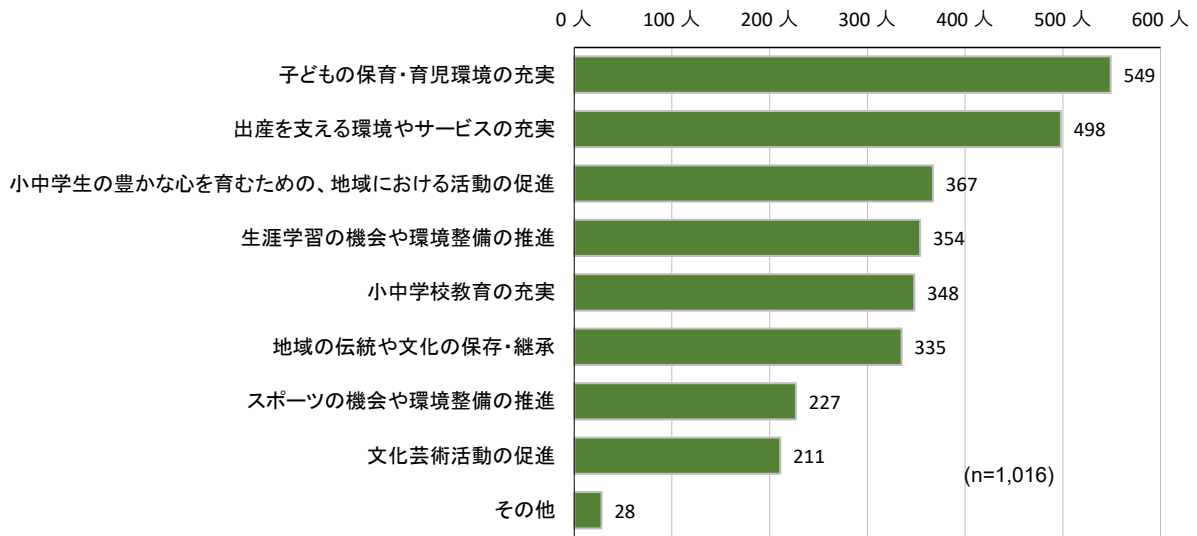
図表 30 年代別 健康・医療・福祉分野で、さらに力を入れるべき取組み(3つまで回答)



### ③ 教育・文化・子育て分野で、さらに力を入れるべき取組み

- 教育・文化・子育て分野でさらに力を入れるべき取組みは、「子どもの保育・育児環境の充実」が549人で最も多く、次いで「出産を支える環境やサービスの充実」が498人となっている。

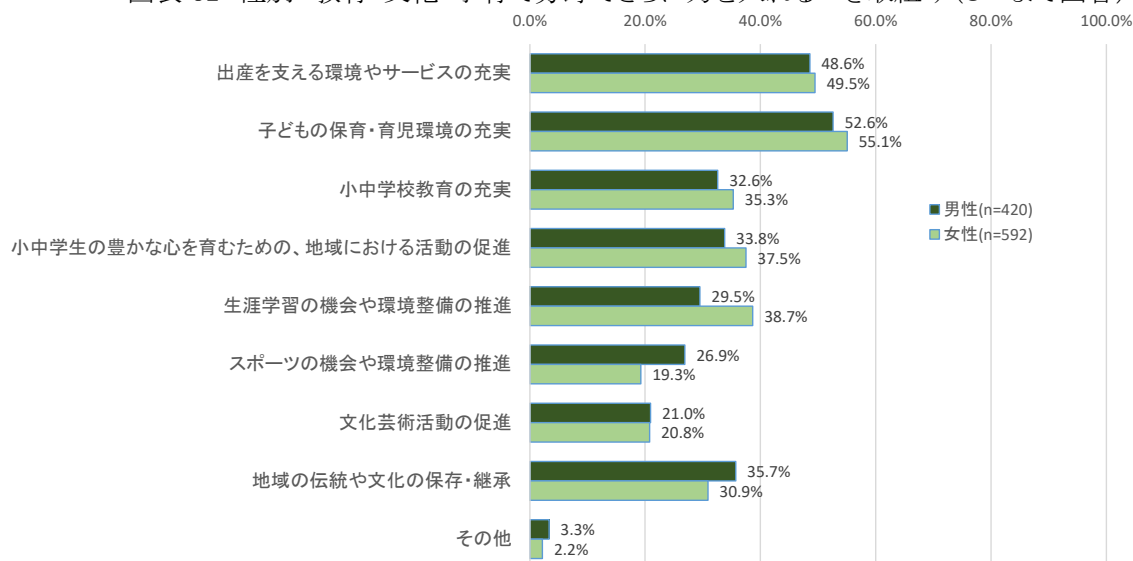
図表 31 教育・文化・子育て分野でさらに力を入れるべき取組み(3つまで回答)



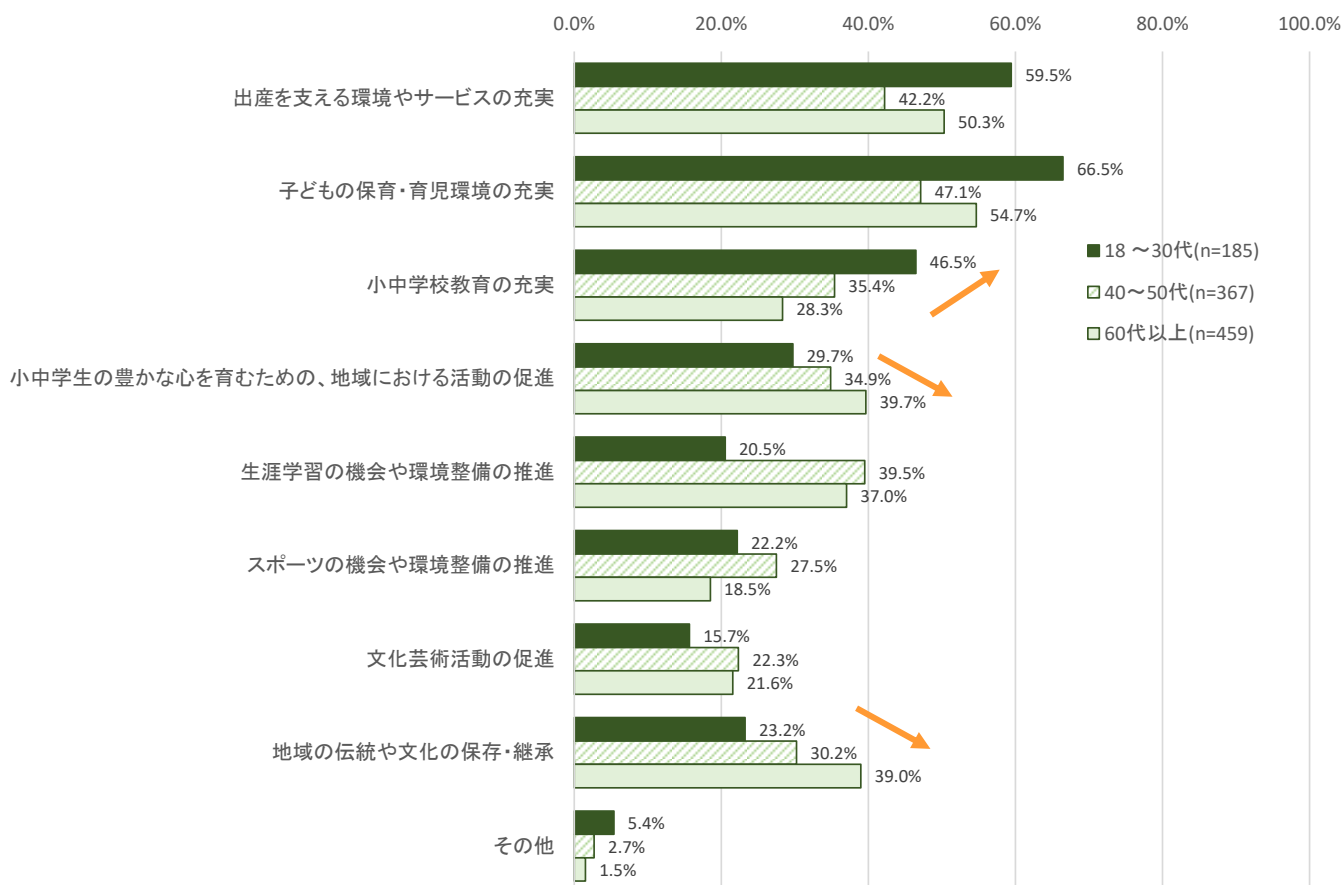
	度数(人)	割合
子どもの保育・育児環境の充実	549	54.0%
出産を支える環境やサービスの充実	498	49.0%
小中学生の豊かな心を育むための、地域における活動の促進	367	36.1%
生涯学習の機会や環境整備の推進	354	34.8%
小中学校教育の充実	348	34.3%
地域の伝統や文化の保存・継承	335	33.0%
スポーツの機会や環境整備の推進	227	22.3%
文化芸術活動の促進	211	20.8%
その他	28	2.8%
回答者数	1,016	

- 性別で見ると、「生涯学習の機会や環境整備の推進」で女性の回答割合が10ポイント程度高く、女性に重視されている傾向にある。
- 年代別に見ると、「子どもの保育・育児環境の充実」「出産を支える環境やサービスの充実」、「小中学校教育の充実」では18～30代の回答割合が高い傾向にある。「地域の伝統や文化の保存・継承」「小中学生の豊かな心を育むための、地域における活動の促進」は年代が上がるにつれて重視される傾向にある。

図表 32 性別 教育・文化・子育て分野でさらに力を入れるべき取組み(3つまで回答)



図表 33 年代別 教育・文化・子育て分野でさらに力を入れるべき取組み(3つまで回答)

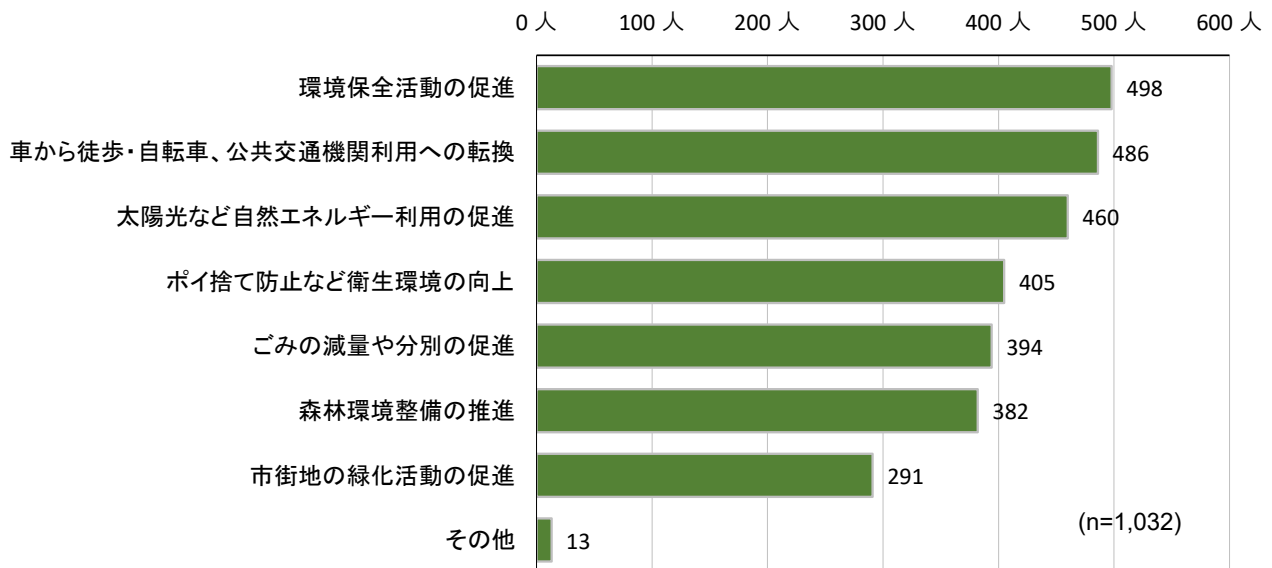




#### ④ 環境分野でさらに力を入れるべき取組み

- 環境分野でさらに力を入れるべき取組みは、「環境保全活動の促進」が498人で最も多く、次いで「車から徒歩・自転車、公共交通機関利用への転換」が486人、「太陽光など自然エネルギー利用の促進」が460人となっている。

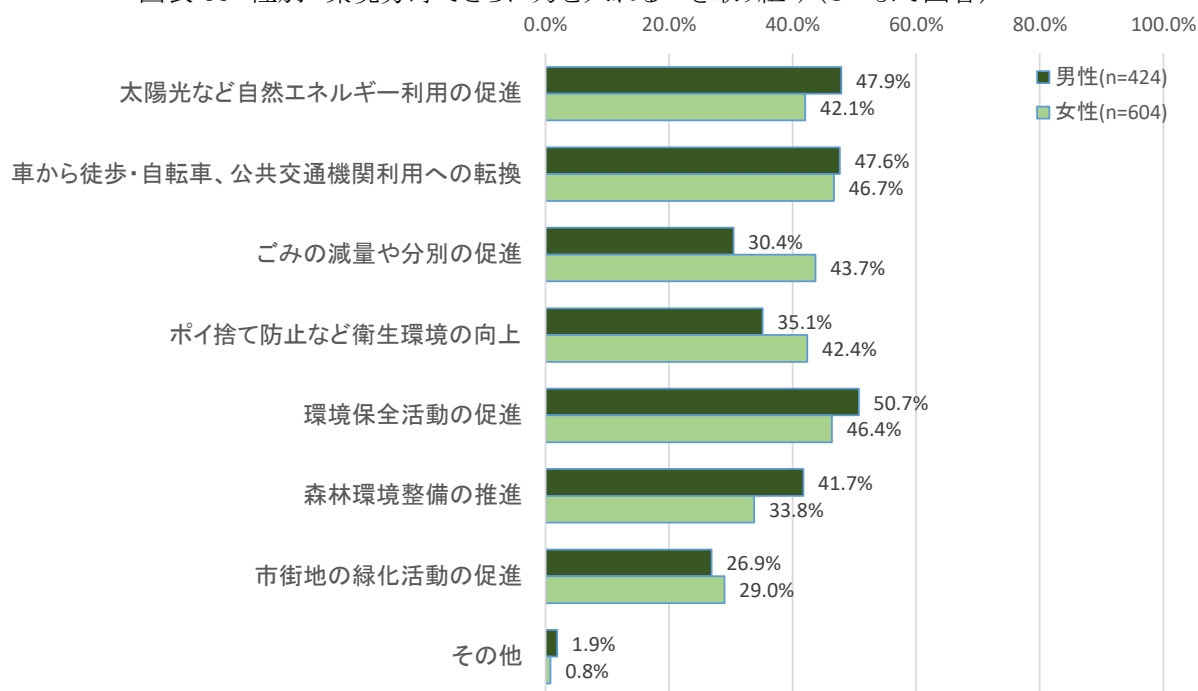
図表 34 環境分野でさらに力を入れるべき取組み(3つまで回答)



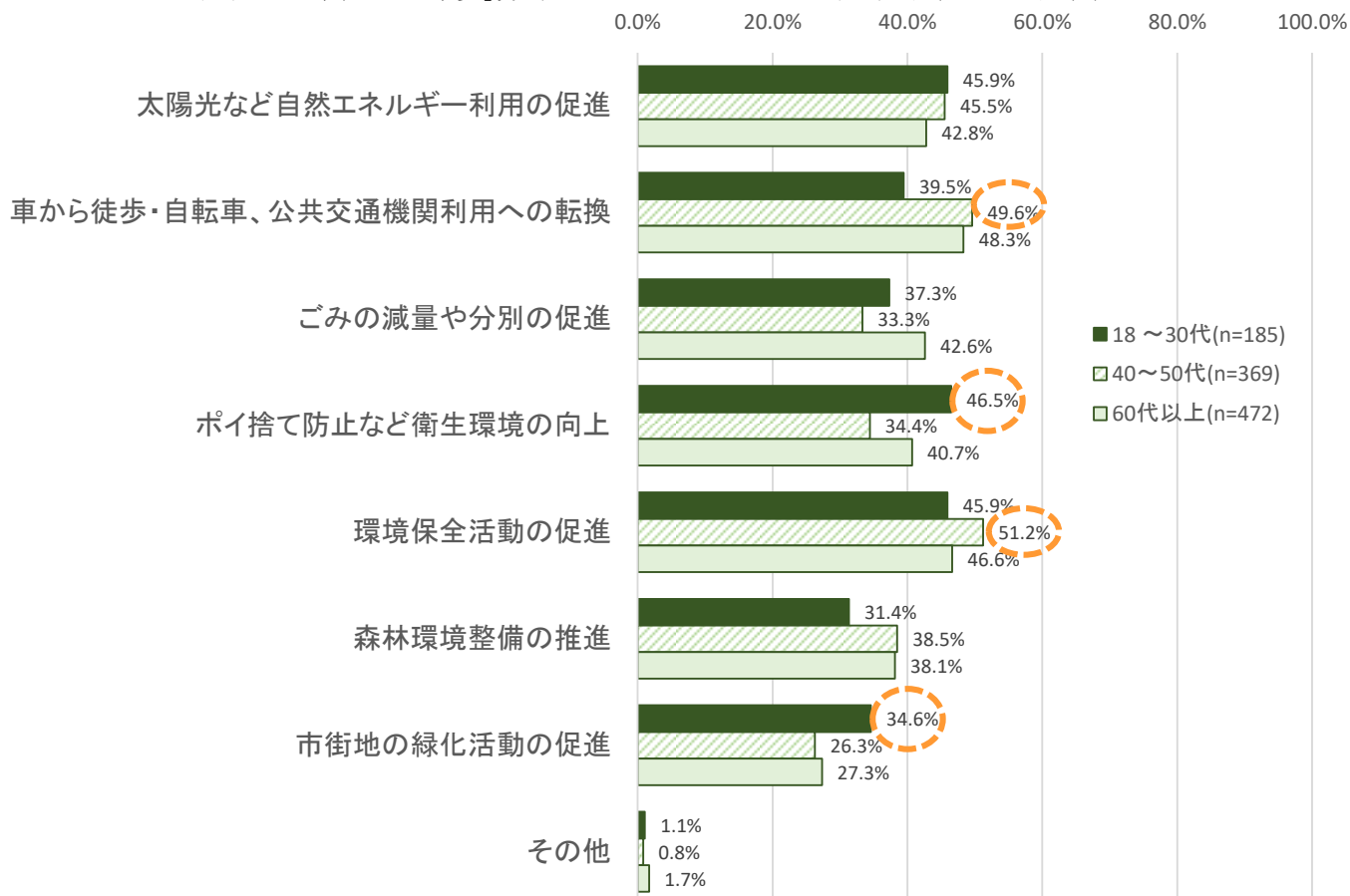
	度数(人)	割合
環境保全活動の促進	498	48.3%
車から徒歩・自転車、公共交通機関利用への転換	486	47.1%
太陽光など自然エネルギー利用の促進	460	44.6%
ポイ捨て防止など衛生環境の向上	405	39.2%
ごみの減量や分別の促進	394	38.2%
森林環境整備の推進	382	37.0%
市街地の緑化活動の促進	291	28.2%
その他	13	1.3%
回答者数	1,032	

- 性別に見ると、「ごみの減量や分別の促進」で女性の回答割合が 10 ポイント以上高く、女性に重視される傾向にある。
- 年代別に見ると、「ポイ捨て防止など衛生環境の向上」「市街地の緑化活動の促進」では 18～30 代の回答割合が高く、「環境保全活動の促進」「車から徒歩・自転車、公共交通機関利用への転換」では 40～50 代の回答割合が高い。

図表 35 性別 環境分野でさらに力を入れるべき取り組み(3つまで回答)



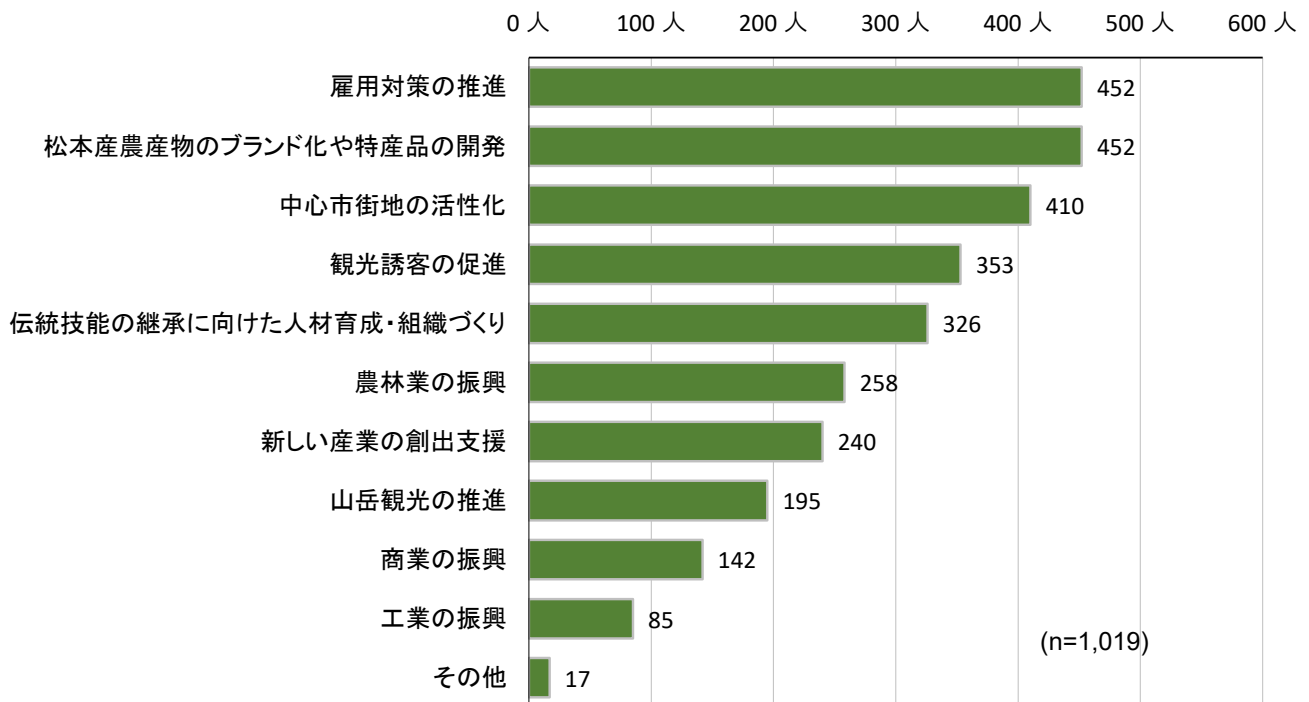
図表 36 年代別「環境」分野でさらに力を入れるべき取り組み(3つまで回答)



⑤ 産業分野でさらに力を入れるべき取組み

- 産業分野でさらに力を入れるべき取組みとしては、「雇用対策の推進」「松本産農産物のブランド化や特産品の開発」が452人と最も多く、次いで「中心市街地の活性化」「観光誘客の促進」となっている。

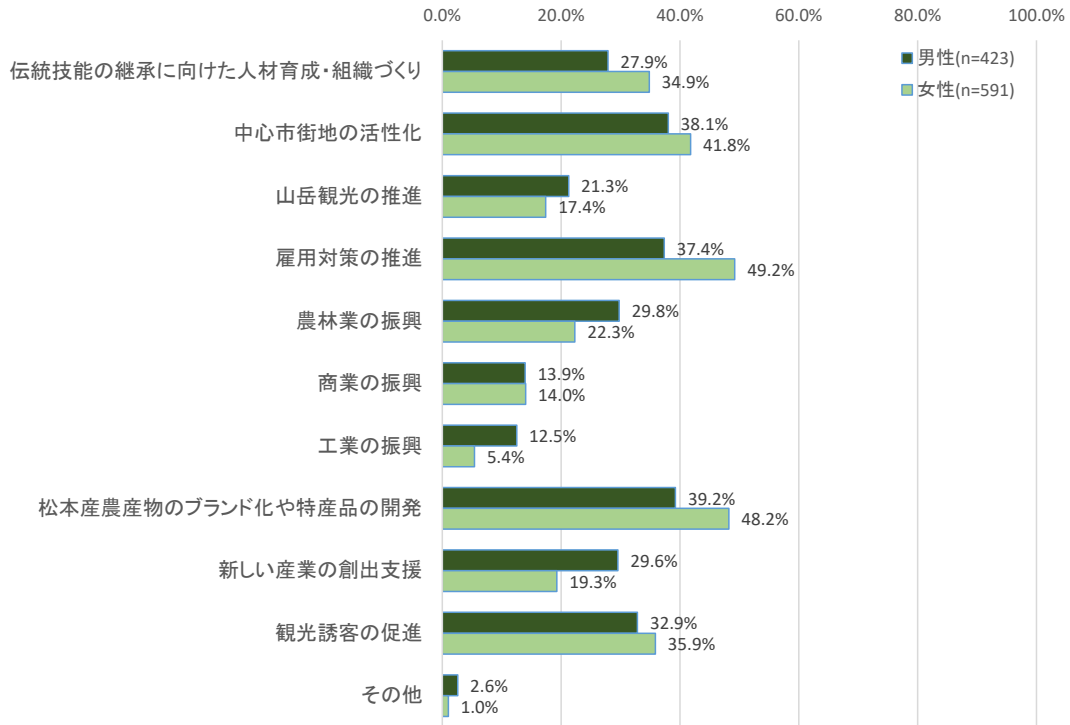
図表 37 産業分野でさらに力を入れるべき取組み(3つまで回答)



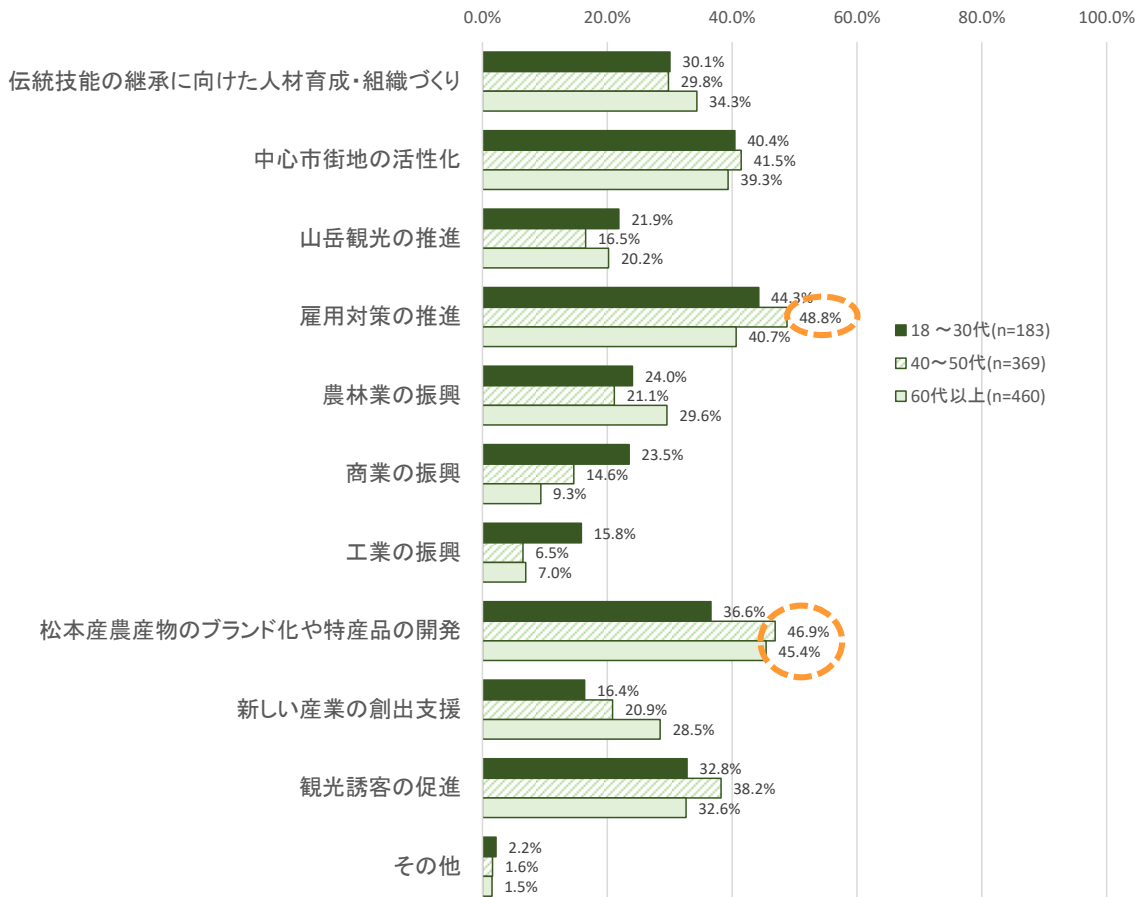
	度数(人)	割合
雇用対策の推進	452	44.4%
松本産農産物のブランド化や特産品の開発	452	44.4%
中心市街地の活性化	410	40.2%
観光誘客の促進	353	34.6%
伝統技能の継承に向けた人材育成・組織づくり	326	32.0%
農林業の振興	258	25.3%
新しい産業の創出支援	240	23.6%
山岳観光の推進	195	19.1%
商業の振興	142	13.9%
工業の振興	85	8.3%
その他	17	1.7%
回答者数	1,019	

- 性別で見ると、「新しい産業の創出支援」で男性の回答割合が10ポイント以上高い。一方で、「雇用対策の推進」「松本産農産物のブランド化や特産品の開発」で女性の回答割合が10ポイント程度高く、これらは女性に重視されている傾向にある。
- 年代別に見ると、60代未満では「雇用対策の推進」を、60代以上では「松本産農産物のブランド化や特産品の開発」を最も重視している。

図表 38 性別 産業分野でさらに力を入れるべき取り組み(3つまで回答)



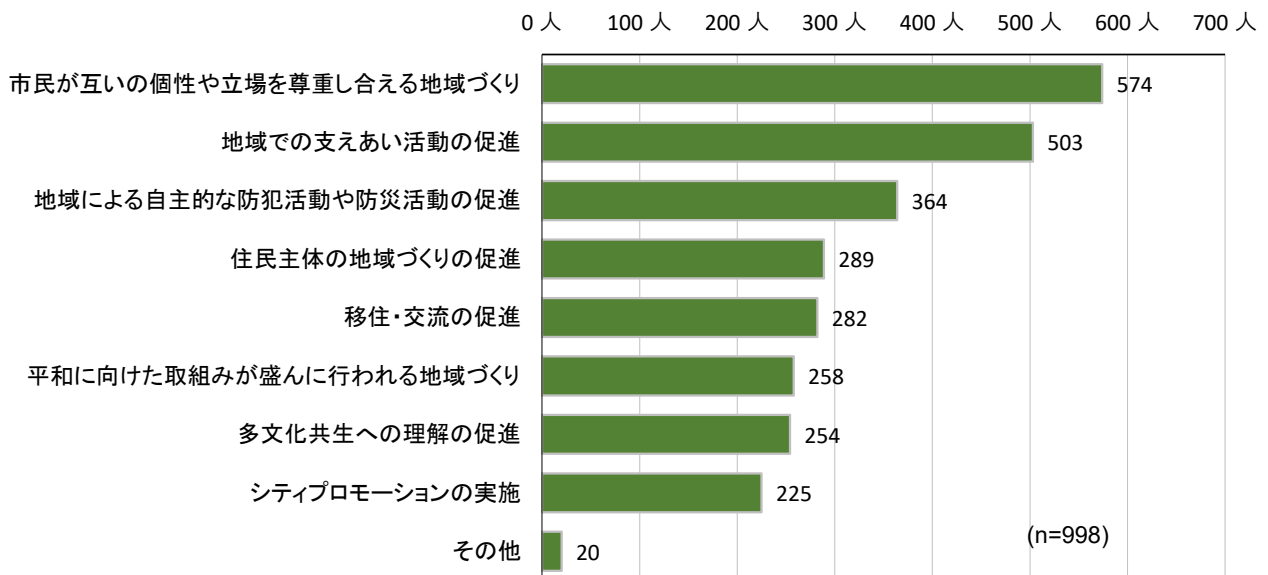
図表 39 年代別 産業分野でさらに力を入れるべき取り組み(3つまで回答)



## ⑥ 地域づくり分野でさらに力を入れるべき取り組み

- 地域づくり分野でさらに力を入れるべき取り組みは、「市民が互いの個性や立場を尊重し合える地域づくり」が574人で最も多く、次いで「地域での支えあい活動の促進」が503人と多い。

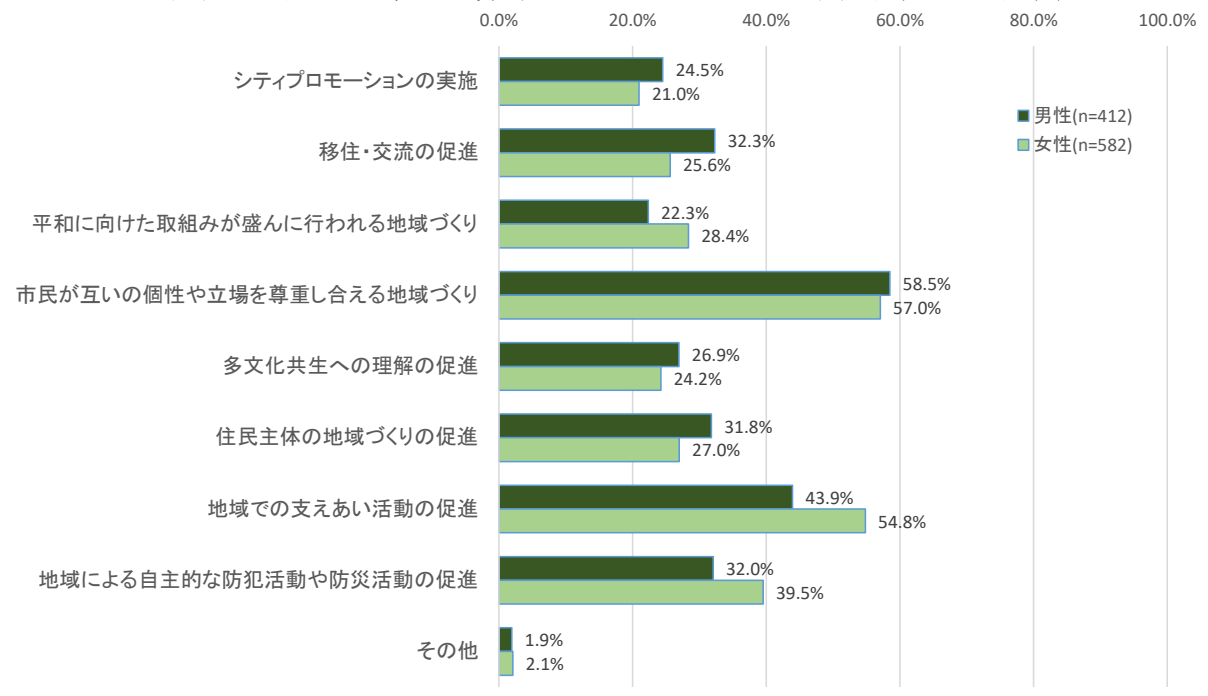
図表 40 地域づくり分野でさらに力を入れるべき取り組み(3つまで回答)



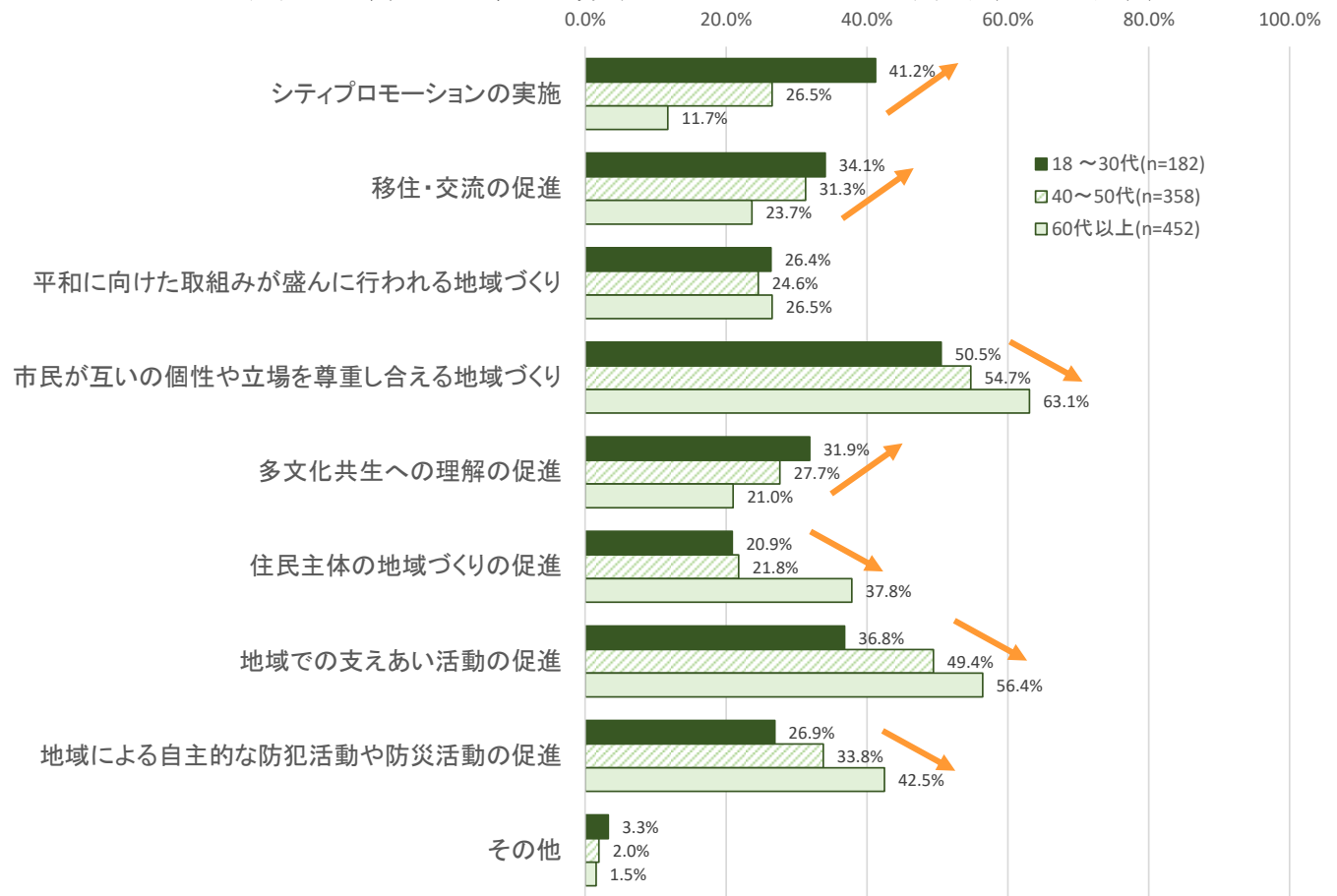
	度数(人)	割合
市民が互いの個性や立場を尊重し合える地域づくり	574	57.5%
地域での支えあい活動の促進	503	50.4%
地域による自主的な防犯活動や防災活動の促進	364	36.5%
住民主体の地域づくりの促進	289	29.0%
移住・交流の促進	282	28.3%
平和に向けた取り組みが盛んに行われる地域づくり	258	25.9%
多文化共生への理解の促進	254	25.5%
シティプロモーションの実施	225	22.5%
その他	20	2.0%
回答者数	998	

- 性別で見ると、「地域での支えあい活動の促進」で女性の回答割合が10ポイント以上高く、女性の方が地域活動を重視している傾向にある。
- 年代別に見ると、「シティプロモーションの実施」「移住・交流の促進」などで18～30代の割合が高く、「市民が互いの個性や立場を尊重し合える地域づくり」「住民主体の地域づくりの促進」「地域での支えあい活動の促進」「地域による自主的な防犯活動や防災活動の促進」は年代が上がるにつれて重視される傾向にある。

図表 41 性別 地域づくり分野でさらに力を入れるべき取組み(3つまで回答)



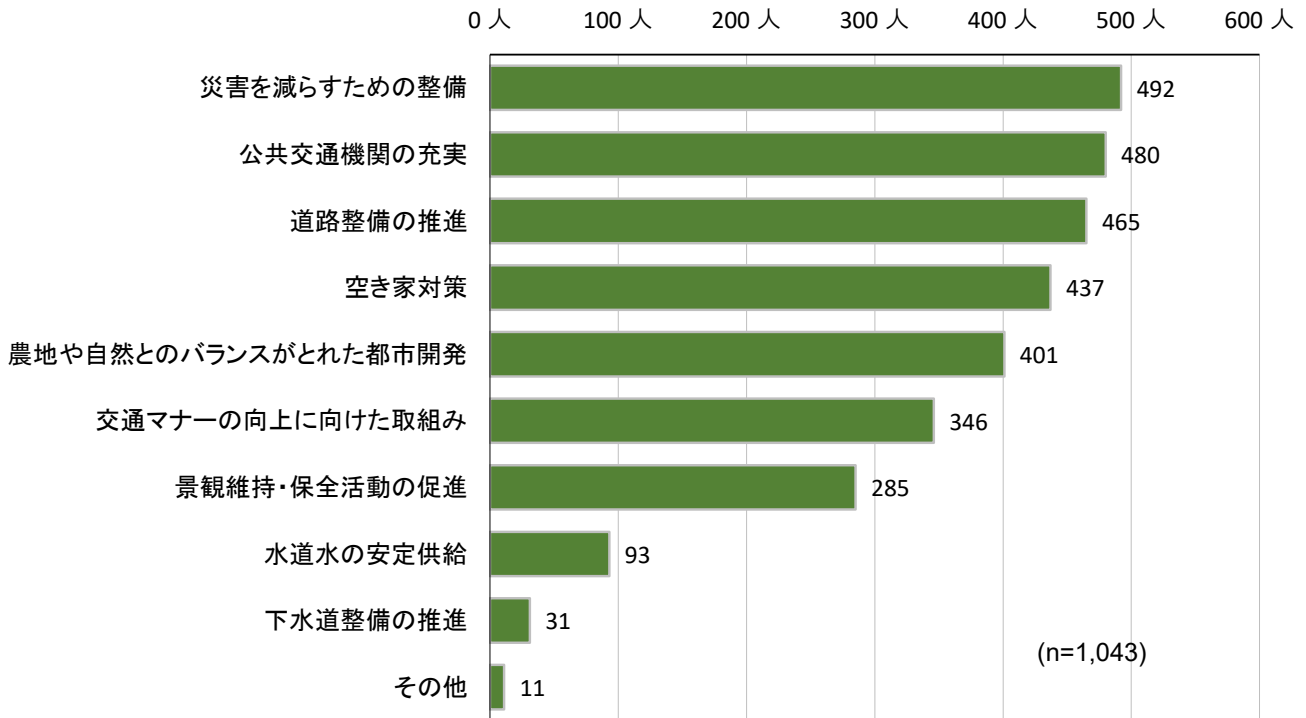
図表 42 年代別 地域づくり分野でさらに力を入れるべき取組み(3つまで回答)



⑦ 社会基盤分野でさらに力を入れるべき取り組み

● 社会基盤分野でさらに力を入れるべき取り組みは、「災害を減らすための整備」が 492 人で最も多く、次いで「公共交通機関の充実」「道路整備の推進」「空き家対策」となっている。

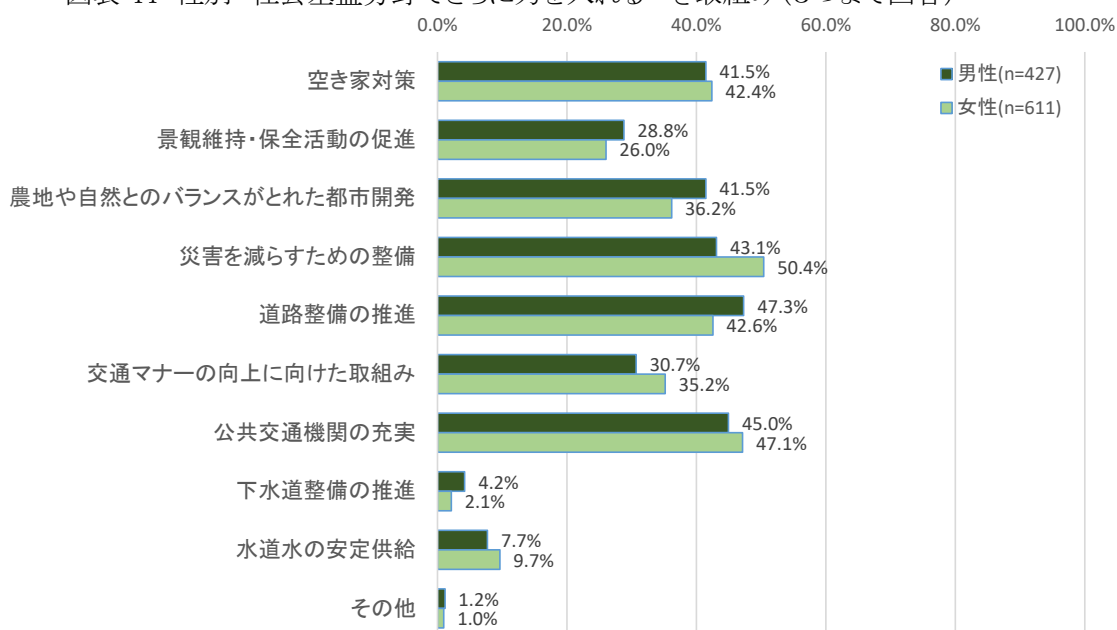
図表 43 社会基盤分野でさらに力を入れるべき取り組み (3つまで回答)



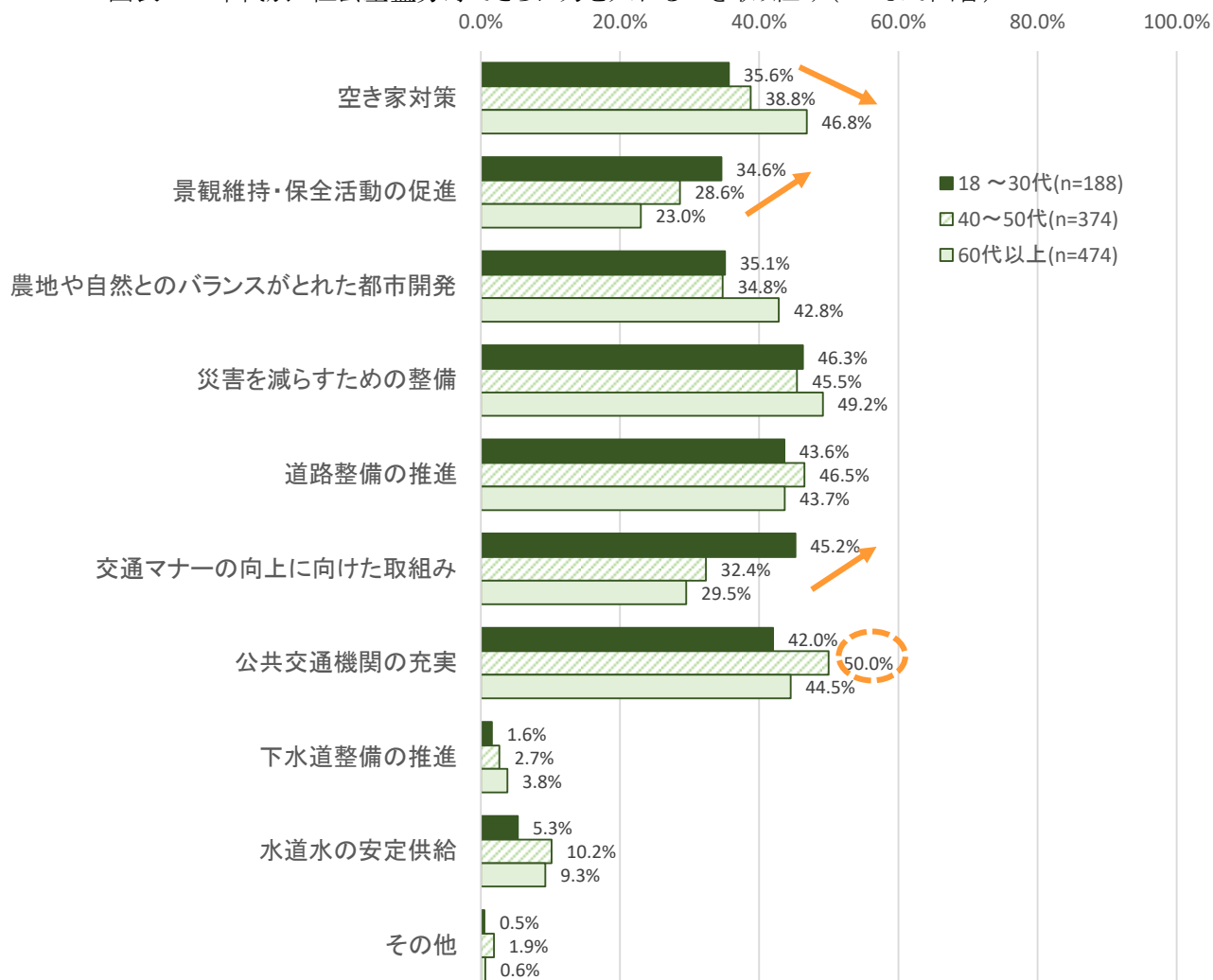
	度数(人)	割合
災害を減らすための整備	492	47.2%
公共交通機関の充実	480	46.0%
道路整備の推進	465	44.6%
空き家対策	437	41.9%
農地や自然とのバランスがとれた都市開発	401	38.4%
交通マナーの向上に向けた取り組み	346	33.2%
景観維持・保全活動の促進	285	27.3%
水道水の安定供給	93	8.9%
下水道整備の推進	31	3.0%
その他	11	1.1%
回答者数	1,043	

- 性別で見ると、10ポイント以上の違いがある項目はない。
- 年代別に見ると、「景観維持・保全活動の促進」「交通マナーの向上に向けた取組み」では、年代が下がるほど回答割合が高い。「公共交通機関の充実」では40～50代、「空き家対策」は年代が上がるほど回答割合が高い。

図表 44 性別 社会基盤分野でさらに力を入れるべき取組み(3つまで回答)



図表 45 年代別 社会基盤分野でさらに力を入れるべき取組み(3つまで回答)

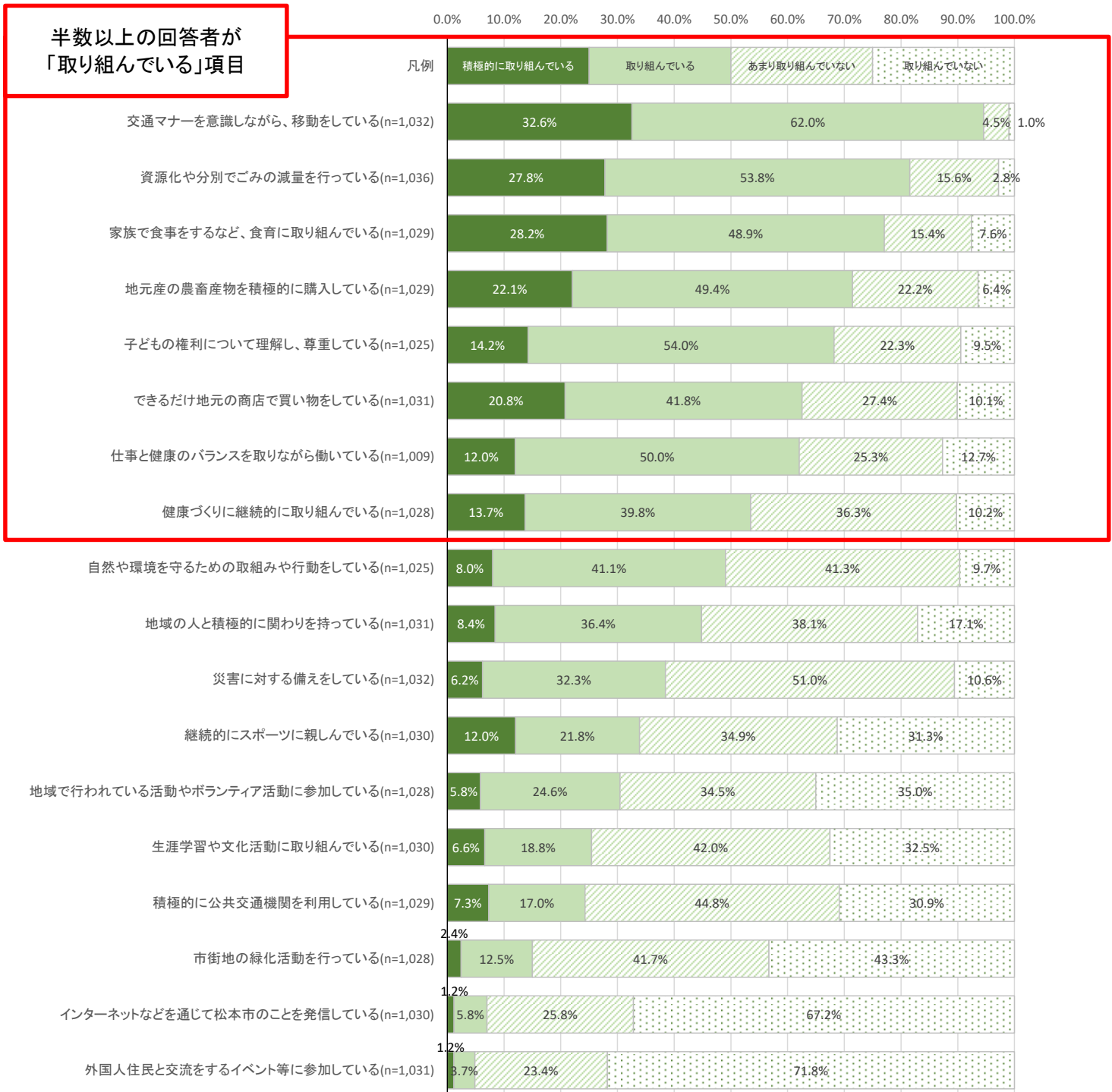




## ⑧ 日常生活における地域活動への参加状況

- 日常生活における地域活動への参加状況については、質問した18項目のうち8項目で、半数以上の回答者が「積極的に取り組んでいる」または「取り組んでいる」と回答している。
- 取り組み内容は「交通マナーを意識しながら、移動をしている」が最も多く、「資源化や分別でごみの減量を行っている」「家族で食事するなど、食育に取り組んでいる」「地元産の農畜産物を積極的に購入している」「子どもの権利について理解し、尊重している」と続いている。

図表 46 日常生活における地域活動への参加状況

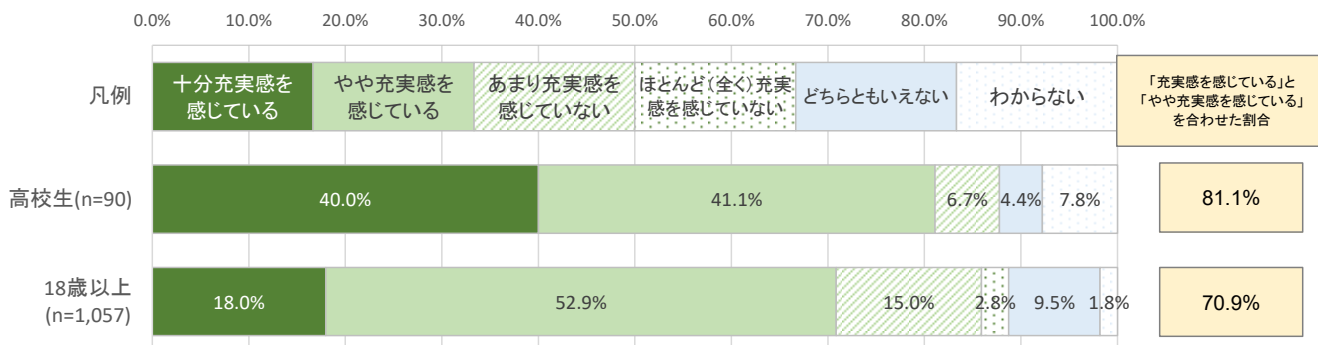


## (4) 生活の充実感や暮らし向き、満足度、定住意向

### ① 生活に対する充実感

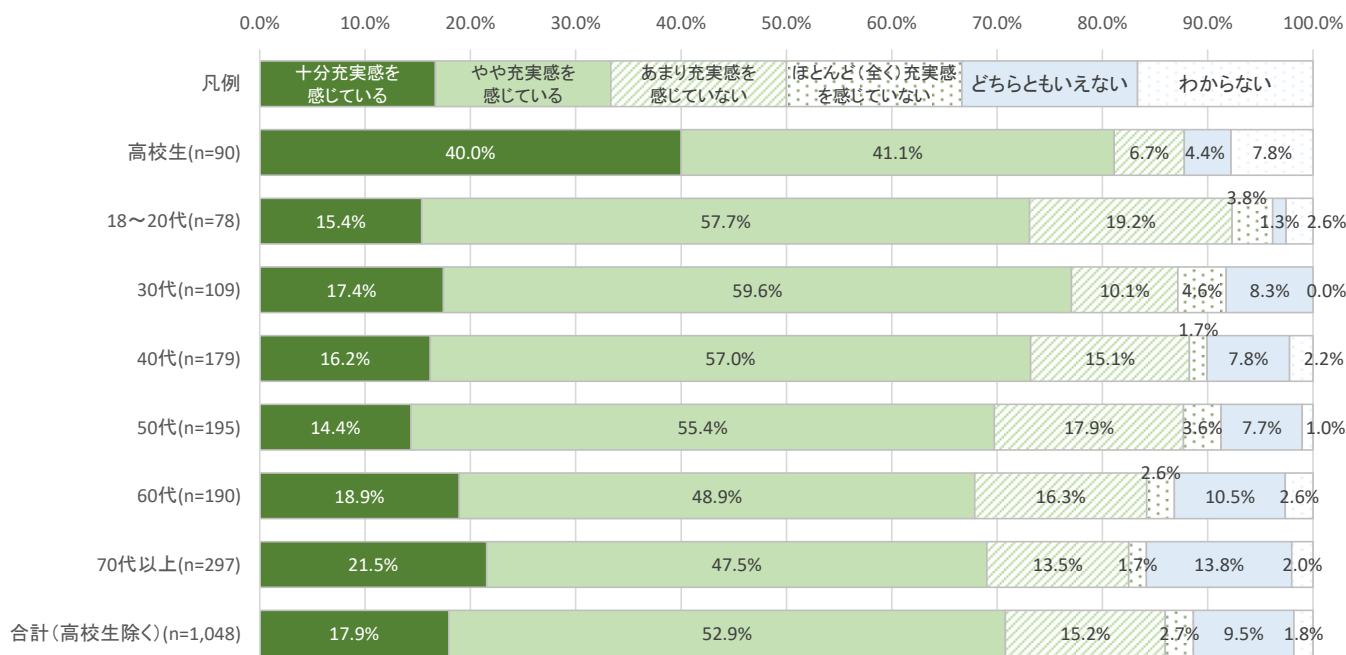
- 日頃の生活における充実感は、「十分充実感を感じている」「やや充実感を感じている」の回答割合は、高校生で81.1%、18歳以上で70.9%となっている。
- 年代別に見ると、高校生では「十分充実感を感じている」が40.0%で他の年代より20ポイント以上高くなっている。高校生以外の年代では、年代間の傾向に差はない。

図表 47 日頃の生活における充実感



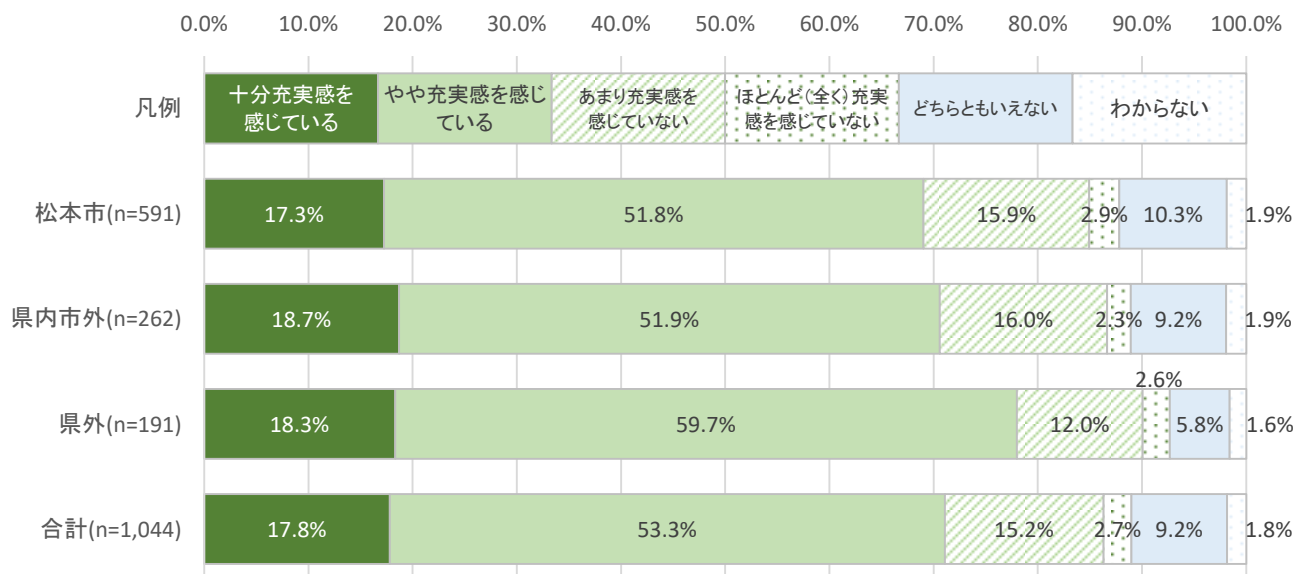
	高校生		18歳以上	
	度数(人)	割合	度数(人)	割合
十分充実感を感じている	36	40.0%	190	18.0%
やや充実感を感じている	37	41.1%	559	52.9%
あまり充実感を感じていない	6	6.7%	159	15.0%
ほとんど(全く)充実感を感じていない	-	-	30	2.8%
どちらともいえない	4	4.4%	100	9.5%
わからない	7	7.8%	19	1.8%
合計	90	100.0%	1,057	100.0%

図表 48 年代別 日頃の生活に対する充実感

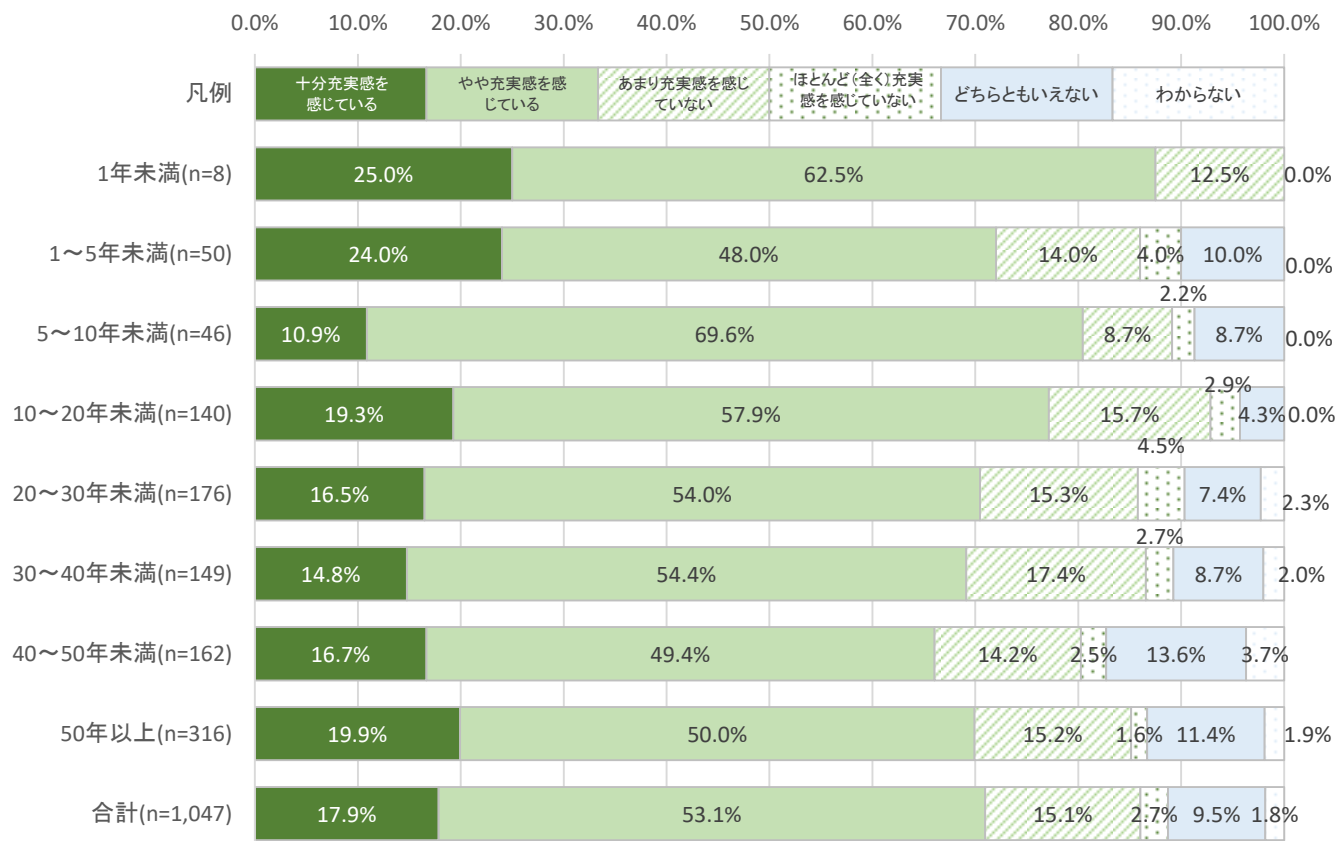


- 出身地別に見ると、「十分充実感を感じている」「やや充実感を感じている」の回答割合は、「県外」出身者でやや高くなっている。
- 居住年数別に見ると、「十分充実感を感じている」「やや充実感を感じている」の回答割合は「1年未満」が87.5%で最も高くなっている。

図表 49 出身地別 日頃の生活に対する充実感



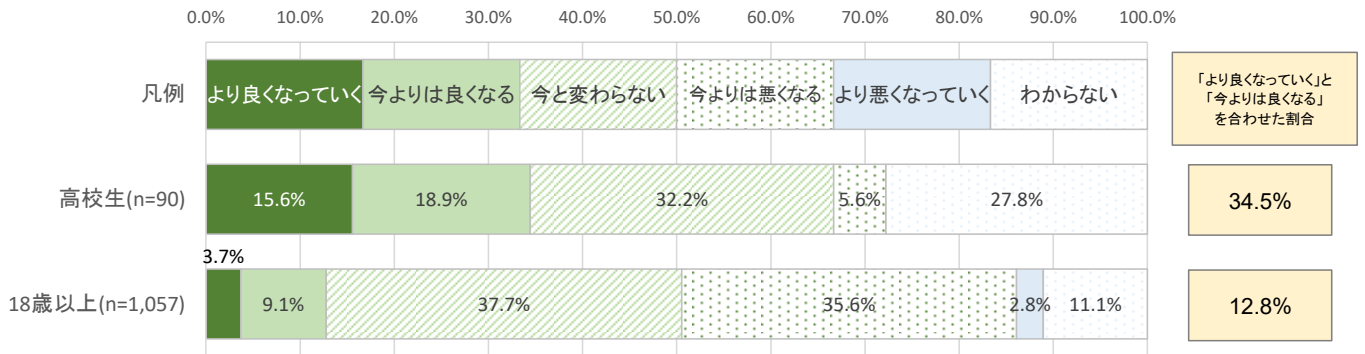
図表 50 松本での居住年数別 日頃の生活に対する充実感



## ② 暮らし向きの今後の変化

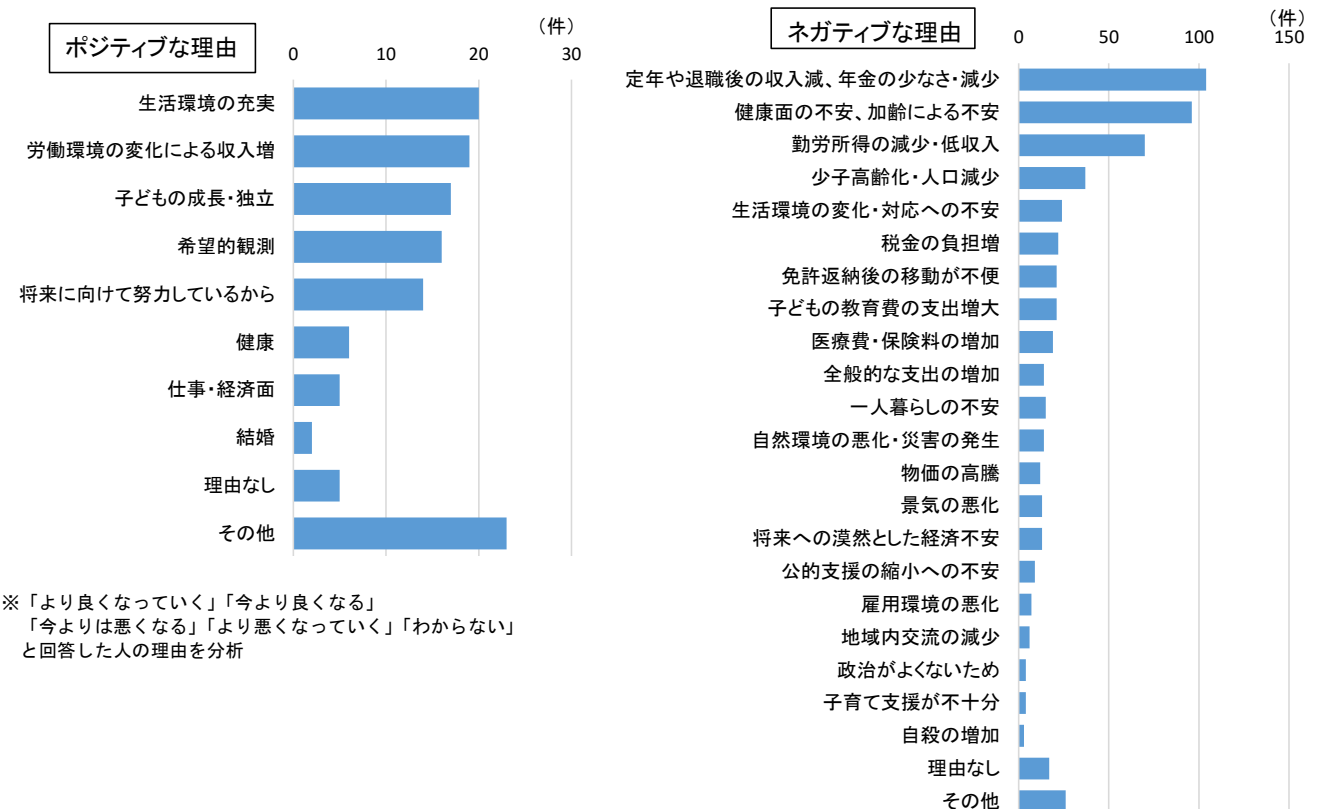
- 暮らし向きの今後の変化については、「より良くなっていく」「今よりは良くなる」を合わせた回答割合は、高校生で 34.5%、18 歳以上では 12.8%であり、高校生の方が楽観的な見通しを持っている。
- 18 歳以上では「今よりは悪くなる」「より悪くなっていく」を合わせた回答割合が 38.4%であり、今後の暮らし向きに対して、肯定的に捉えている住民より悲観的に捉えている住民の方が多い。
- 内閣府「国民世論調査」での類似設問を見ると、「良くなっていく」という回答は低下傾向である。令和元年度は 9.0%であり、本市の方が高いある。一方、「悪くなっていく」は 26.9%であり、本市の結果（38.4%「今よりは悪くなる」「より悪くなっていく」を合わせた回答割合）より低い。

図表 51 暮らし向きの変化



	高校生		18歳以上	
	度数(人)	割合	度数(人)	割合
より良くなっていく	14	15.6%	39	3.7%
今よりは良くなる	17	18.9%	96	9.1%
今と変わらない	29	32.2%	399	37.7%
今よりは悪くなる	5	5.6%	376	35.6%
より悪くなっていく	-	-	30	2.8%
わからない	25	27.8%	117	11.1%
合計	90	100.0%	1,057	100.0%

図表 52 暮らし向きの変化に関する理由[自由記述を整理]

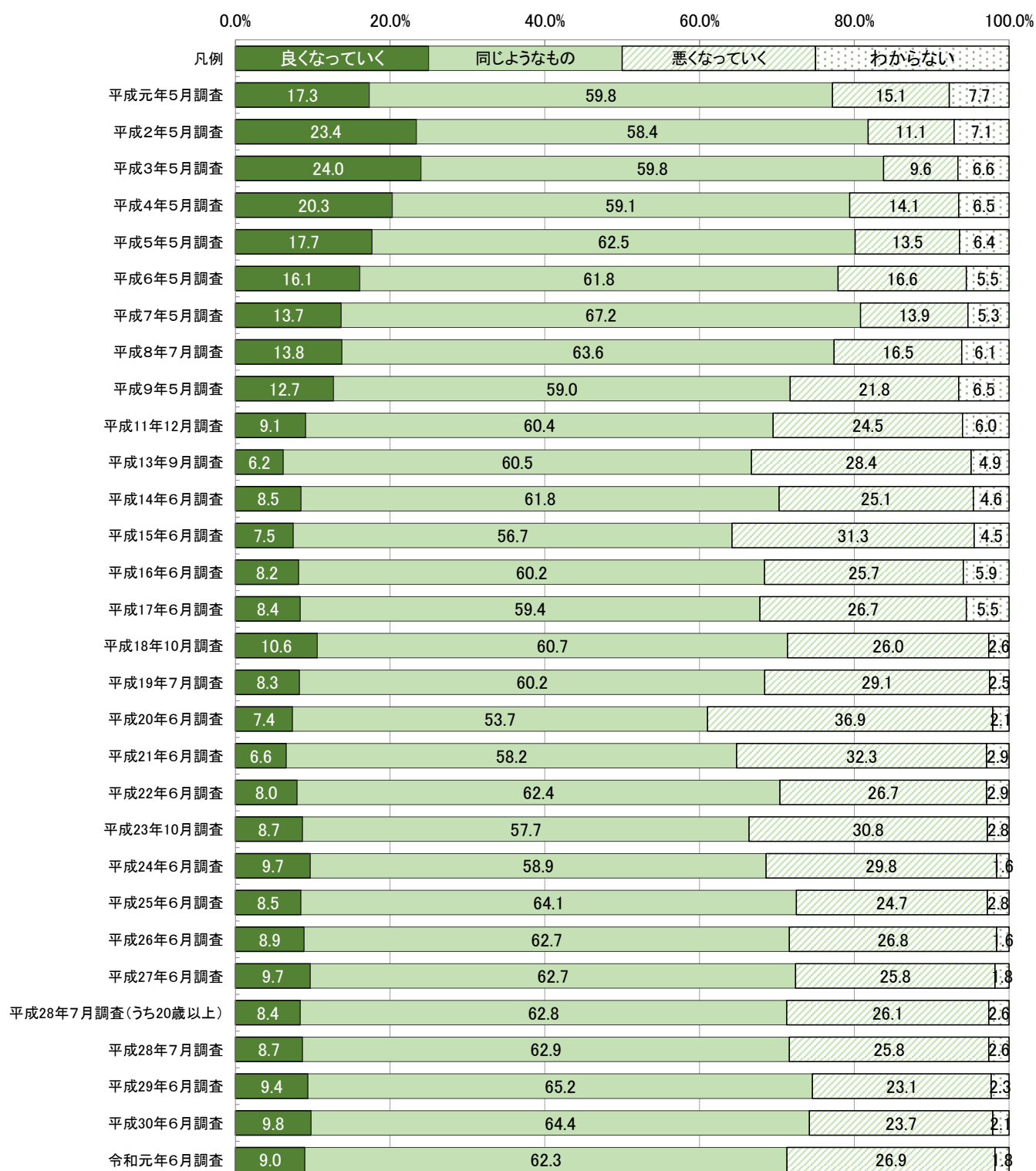


※「より良くなっていく」「今よりは良くなる」「今よりは悪くなる」「より悪くなっていく」「わからない」と回答した人の理由を分析

[参考] 今後の生活の見通し（内閣府「国民生活に関する世論調査」）

内閣府「国民生活に関する世論調査」にて、生活はこれから先どうなっていくと思うか聞いたところ、令和元年度は「良くなっていく」と答えた者の割合が9.0%、「同じようなもの」と答えた者の割合が62.3%、「悪くなっていく」と答えた者の割合が26.9%となっている

図表 53 今後の生活の見通し



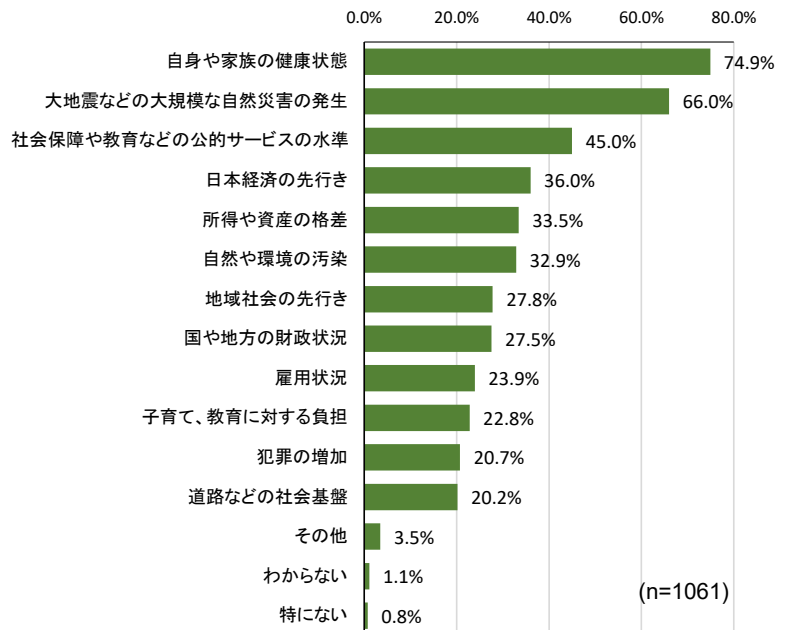
出典:内閣府「国民生活に関する世論調査」

### ③ 自身を巡る将来について気になること

- 自身を巡る将来について気になることは、「自身や家族の健康状態」が795人と最も多く、次いで「大地震など大規模な自然災害の発生」が700人、「社会保障や教育などの公的サービスの水準」が477人となっている。
- 平成26年に実施された内閣府「人口、経済社会等の日本の将来像に関する世論調査」と同様の傾向である。

図表 54 自身の将来について気になること(複数回答)

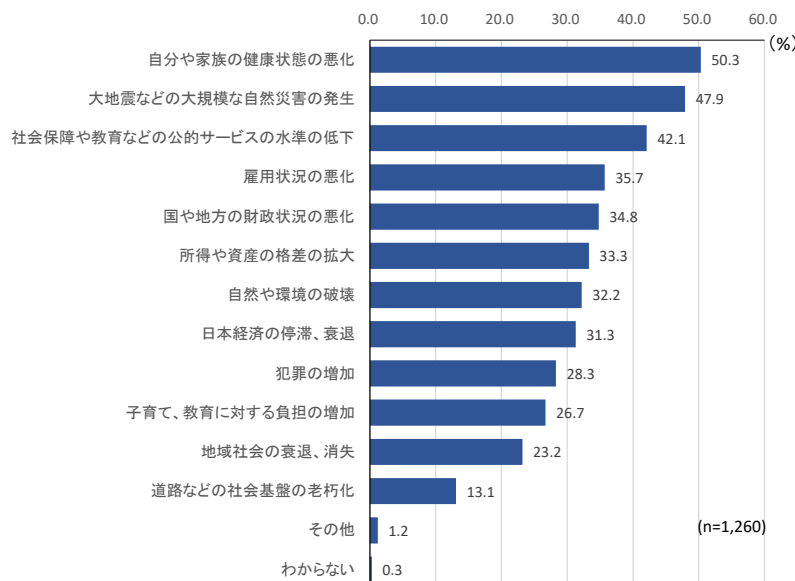
	度数(人)	割合
自身や家族の健康状態	795	74.9%
大地震など大規模な自然災害の発生	700	66.0%
社会保障や教育などの公的サービスの水準	477	45.0%
日本経済の先行き	382	36.0%
所得や資産の格差	355	33.5%
自然や環境の汚染	349	32.9%
地域社会の先行き	295	27.8%
国や地方の財政状況	292	27.5%
雇用状況	254	23.9%
子育て、教育に対する負担	242	22.8%
犯罪の増加	220	20.7%
道路などの社会基盤	214	20.2%
その他	37	3.5%
わからない	12	1.1%
特になし	8	0.8%
回答者数	1,061	



[参考] 将来の不安要素(内閣府「人口、経済社会等の日本の将来像に関する世論調査」(平成26年度))

- ・ 自身の将来について「不安を感じる」、「どちらかといえば不安を感じる」と答えた者(1,260人)に、自身を巡る将来についてどのようなことに不安を感じるか聞いた。
- ・ 年齢別に見ると、「自分や家族の健康状態の悪化」を挙げた者の割合は50歳代から70歳以上で、「大地震など大規模な自然災害の発生」を挙げた者の割合は40歳代で、「社会保障や教育などの公的サービスの水準の低下」を挙げた者の割合は50歳代、60歳代でそれぞれ高くなっている。

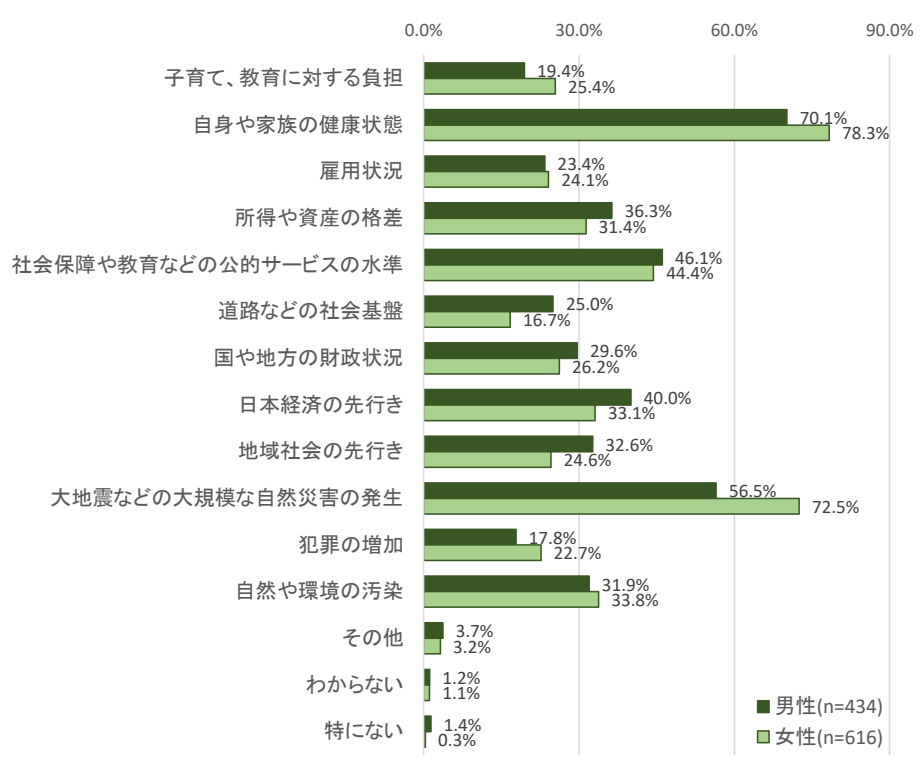
図表 55 将来の不安要素(複数回答)



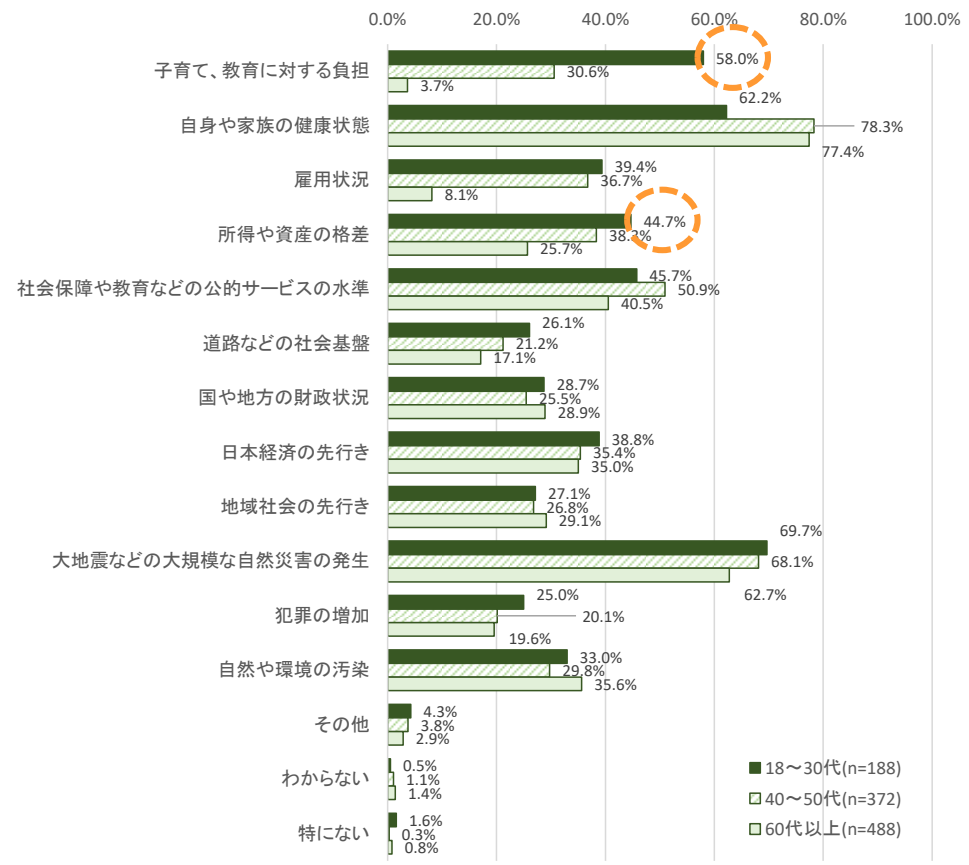
出典：内閣府「人口、経済社会等の日本の将来像に関する世論調査」(平成26年度)

- 性別に自分を巡る将来について気になることを見ると、「大地震など大規模な自然災害の発生」で女性の回答割合が男性より16ポイント高く、女性の方が災害の発生を気にかけている傾向にある。
- 年代別に見ると、「子育て、教育に関する負担」「所得や資産の格差」で特に18～30代の回答割合が高く、これらを気にかけている傾向にある。

図表 56 性別 自分の将来について気になること(複数回答)



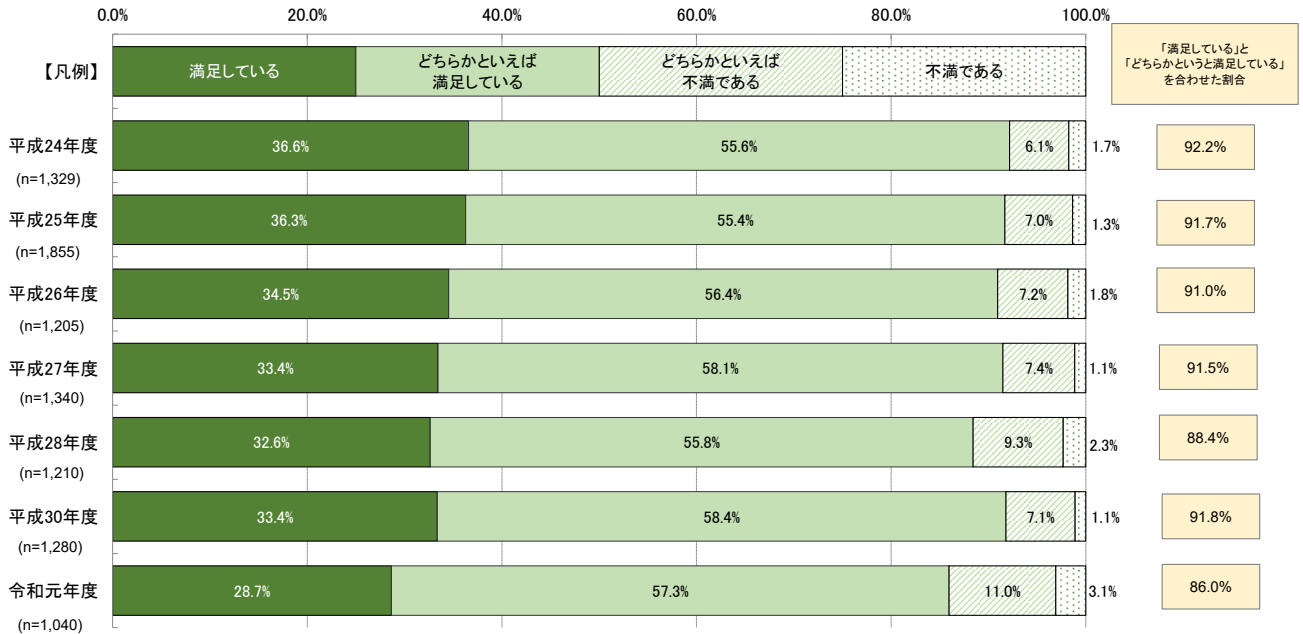
図表 57 年代別 自分の将来について気になること(複数回答)



#### ④ 松本市での暮らしの満足度

- 暮らしの満足度を見ると、令和元年度調査結果では、「満足している」「どちらかといえば満足している」を合わせた割合は 86.0%であり、経年でみると低下傾向にある。

図表 58 松本市の暮らしの満足度

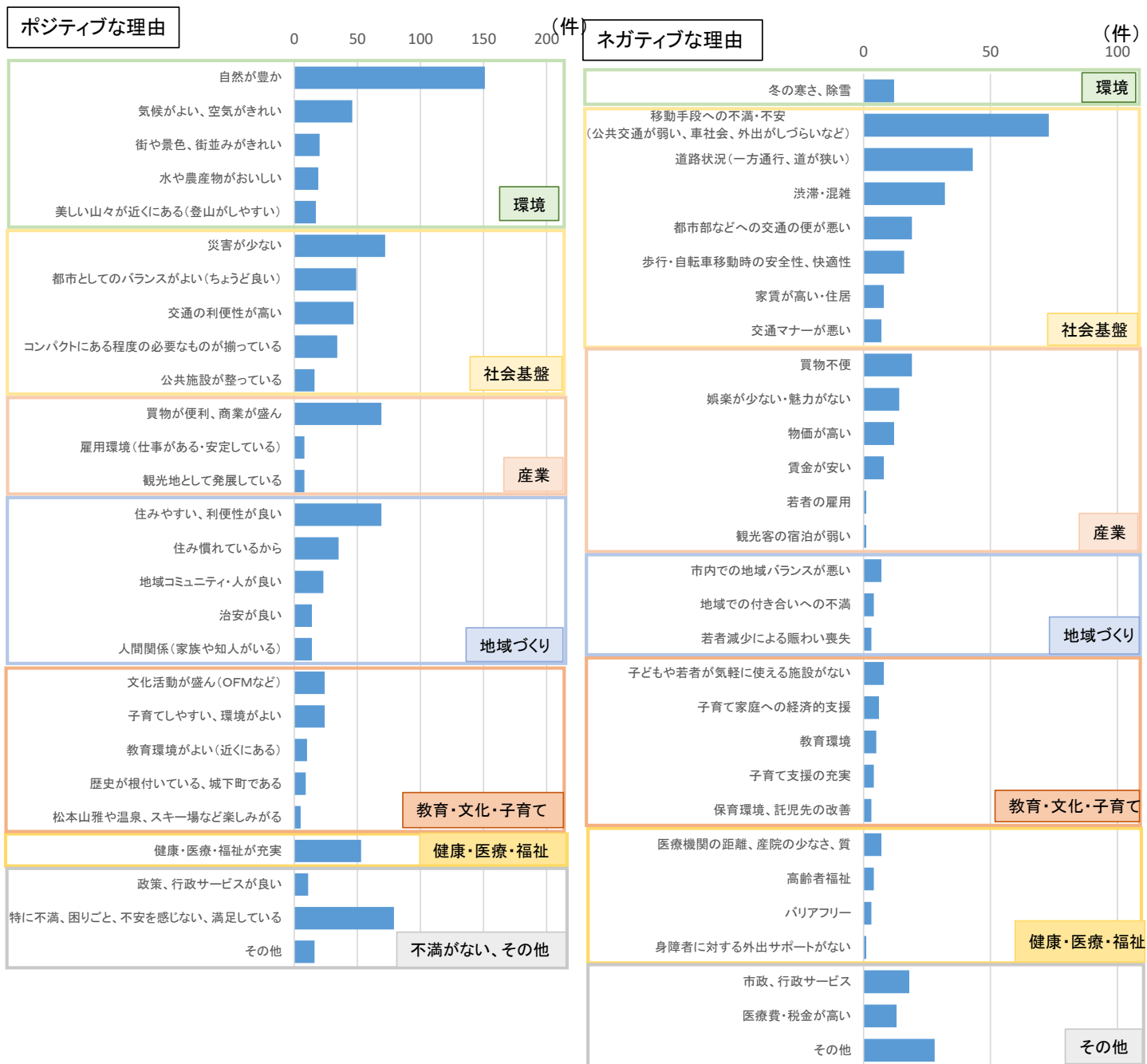


満足度		満足している	どちらかといえば満足している	どちらかといえば不満である	不満である	合計	「満足している」と「どちらかといえば満足している」を合わせた割合
平成24年度	度数 (人)	486	739	81	23	1,329	92.2%
	割合	36.6%	55.6%	6.1%	1.7%	100.0%	
平成25年度	度数 (人)	673	1,028	129	25	1,855	91.7%
	割合	36.3%	55.4%	7.0%	1.3%	100.0%	
平成26年度	度数 (人)	416	680	87	22	1,205	91.0%
	割合	34.5%	56.4%	7.2%	1.8%	100.0%	
平成27年度	度数 (人)	448	778	99	15	1,340	91.5%
	割合	33.4%	58.1%	7.4%	1.1%	100.0%	
平成28年度	度数 (人)	395	675	112	28	1,210	88.4%
	割合	32.6%	55.8%	9.3%	2.3%	100.0%	
平成30年度	度数 (人)	427	748	91	14	1,280	91.8%
	割合	33.4%	58.4%	7.1%	1.1%	100.0%	
令和元年度 (高校生を除く)	度数 (人)	298	596	114	32	1,040	86.0%
	割合	28.7%	57.3%	11.0%	3.1%	100.0%	



- 暮らしの満足度の回答理由を整理したところ、ポジティブな理由としては環境分野に関することが多く、ネガティブな理由としては社会基盤分野が突出して多くなっている。
- 内容をさらに細かく見ると、ポジティブな理由としては環境分野では「自然が豊か」が突出して多く、社会基盤分野では「災害が少ない」「都市としてのバランスの良さ」「交通の利便性が高い」が多く、地域づくり分野では「住みやすい、利便性が高い」が多い。
- ネガティブな理由としては社会基盤分野に関する「移動手段への不満・不安」「道路状況」「渋滞・混雑」が多くなっている。

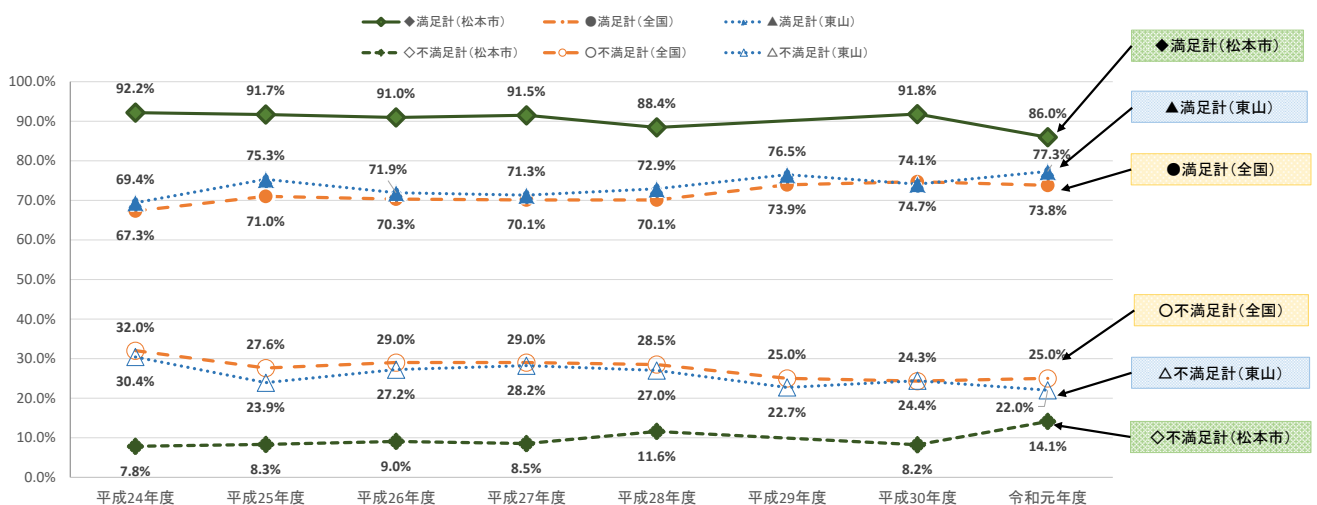
図表 59 松本市の暮らしの満足度の回答理由[自由記述を整理]



※自由記述の整理には高校生の回答を含む

- 図表 60 は、暮らしの満足度を内閣府「国民生活に関する世論調査」における「全国」および「東山地域（山梨県、長野県、岐阜県）」と比較したものである。
- 松本市の暮らしの満足度は、毎年全国平均や東山地域を上回って推移しており、不満足度は下回って推移している。

図表 60 暮らしの「満足度」「不満足度」の全国平均および東山地域との比較

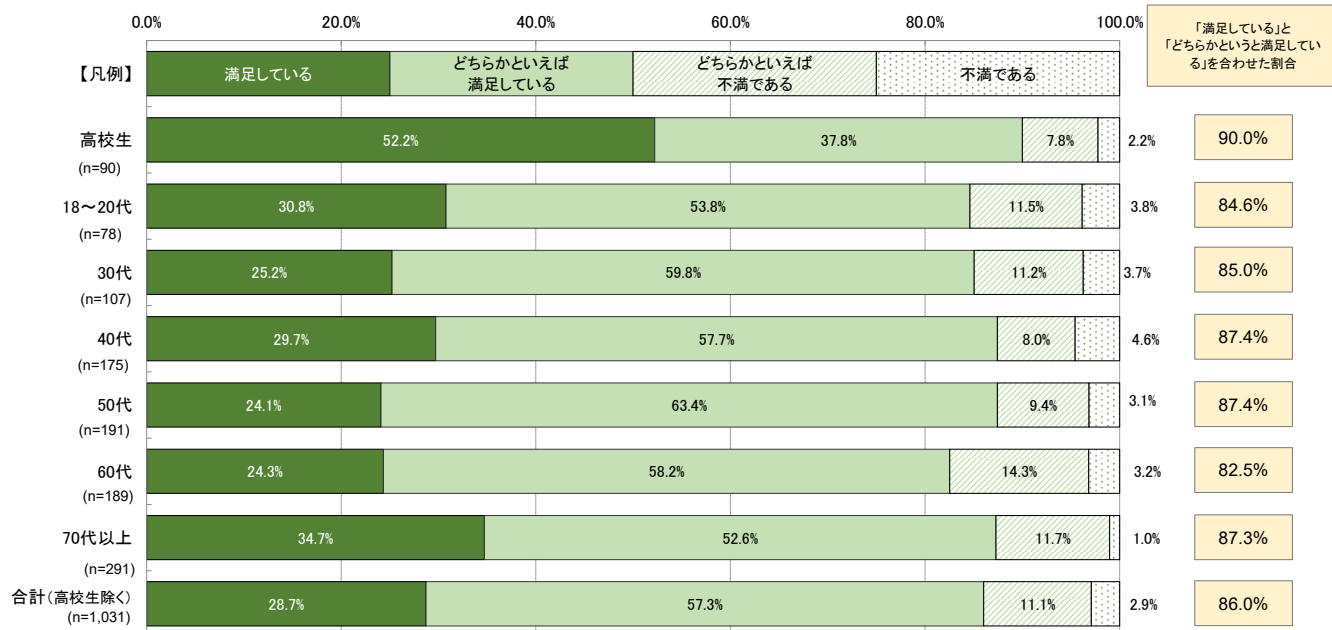


出典：内閣府「国民生活に関する世論調査」<https://survey.gov-online.go.jp/index-ko.html>  
 松本市市民満足度調査（平成24年～28年度、平成30年度）

- ・ 松本市の調査対象者は平成28年度まで満20歳以上の市民、平成30年度は18歳以上の市民。令和元年度は高校生を除いた18歳以上の市民としている。全国平均、東山地域の調査対象者は平成27年度まで満20歳以上の日本国籍を有する者、平成29年度以降は満18歳以上の日本国籍を有する者。
- ・ 「満足計」は「満足している」「どちらかという満足している」を合わせた割合。「不満足計」は「不満である」と「どちらかという不満である」を合わせた割合。全国平均、東山地域については、「国民生活に関する世論調査」をもとに作成。
- ・ 「国民生活に関する世論調査」では回答票に「どちらともいえない」「わからない」の選択項目があるが、平成24年度以降は両項目の合計値が最大1.4%に過ぎず、本図表中にはその結果を示していない。このため、全国平均と東山地域の「満足計」「不満足計」の合計値は100.0%とはならない。

- 年代別の暮らしの満足度を見ると、どの年代でも「満足している」「どちらかといえば満足している」と回答した人の割合は80%以上となっている。
- 高校生では、「満足している」が52.2%であり、他の年代に比べて高い。

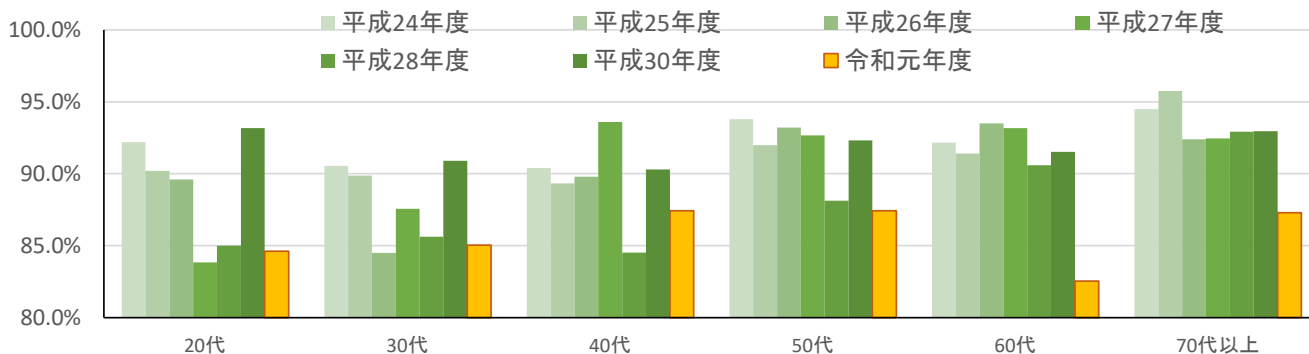
図表 61 年代別 松本市の暮らしの満足度



満足度		満足している	どちらかといえば満足している	どちらかといえば不満である	不満である	合計
高校生	度数(人)	47	34	7	2	90
	割合	52.2%	37.8%	7.8%	2.2%	100.0%
18歳～20代	度数(人)	24	42	9	3	78
	割合	30.8%	53.8%	11.5%	3.8%	100.0%
30代	度数(人)	27	64	12	4	107
	割合	25.2%	59.8%	11.2%	3.7%	100.0%
40代	度数(人)	52	101	14	8	175
	割合	29.7%	57.7%	8.0%	4.6%	100.0%
50代	度数(人)	46	121	18	6	191
	割合	24.1%	63.4%	9.4%	3.1%	100.0%
60代	度数(人)	46	110	27	6	189
	割合	24.3%	58.2%	14.3%	3.2%	100.0%
70代以上	度数(人)	101	153	34	3	291
	割合	34.7%	52.6%	11.7%	1.0%	100.0%
【参考】合計(高校生除く)	度数(人)	296	591	114	30	1,031
	割合	28.7%	57.3%	11.1%	2.9%	100.0%

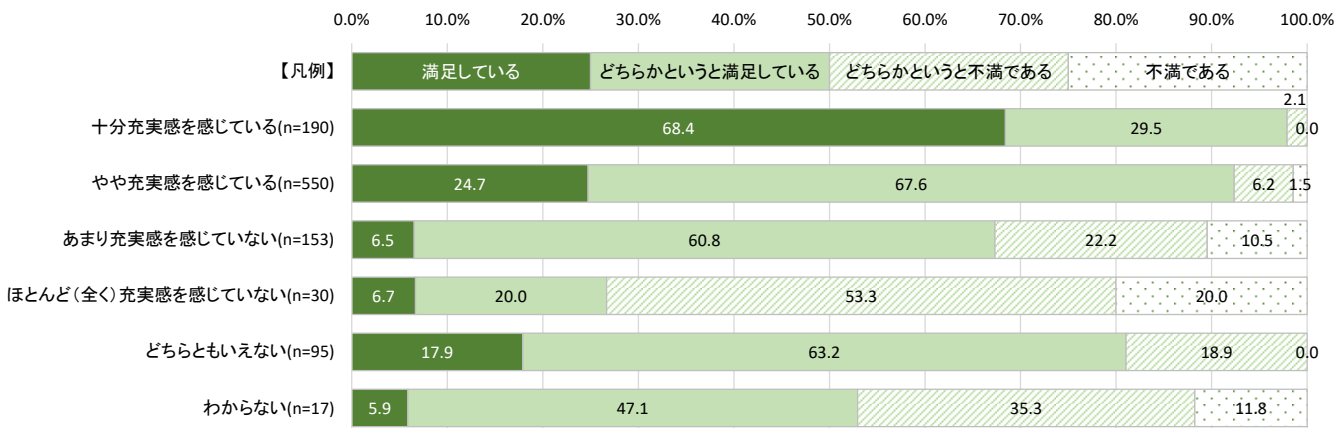
- 年代別に「満足している」「どちらかといえば満足している」を合わせた割合の推移を見ると、平成30年度と比較してどの年代でも下がっている。
- 生活に対する充実感及び暮らし向きの今後の変化の回答別に暮らしの満足度を見ると、ポジティブな回答をしている人ほど満足度も高い傾向がある。

図表 62 年代別 松本市の暮らしの満足度の推移

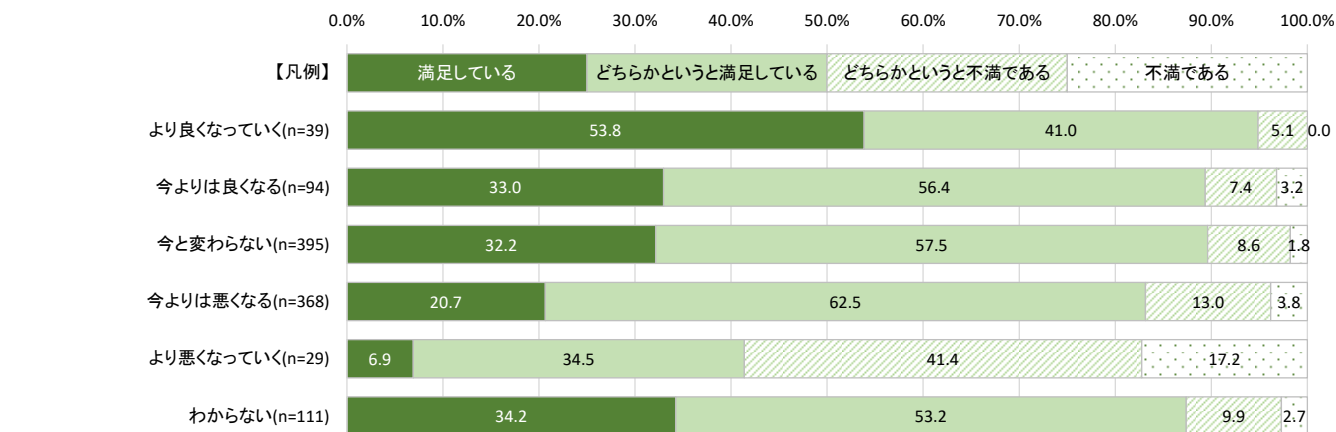


	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
平成24年度	92.2%	90.6%	90.4%	93.8%	92.2%	94.5%
平成25年度	90.2%	89.9%	89.3%	92.0%	91.4%	95.7%
平成26年度	89.6%	84.5%	89.8%	93.2%	93.5%	92.4%
平成27年度	83.8%	87.6%	93.6%	92.7%	93.2%	92.5%
平成28年度	85.0%	85.6%	84.5%	88.1%	90.6%	92.9%
平成30年度	93.2%	90.9%	90.3%	92.3%	91.5%	93.0%
令和元年度	84.6%	85.0%	87.4%	87.4%	82.5%	87.3%

図表 63 生活に対する充実感別 松本市の暮らしの満足度

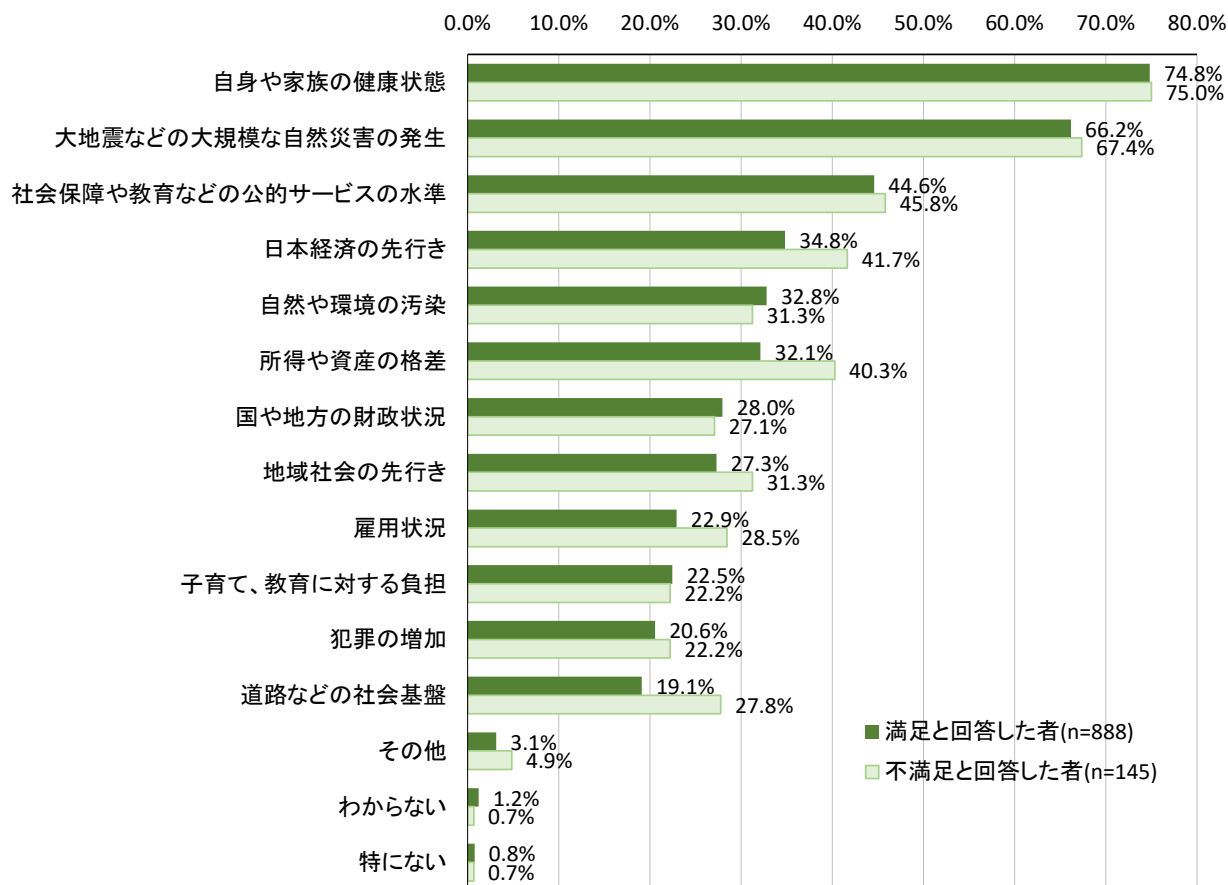


図表 64 暮らし向きの今後の変化別 松本市の暮らしの満足度



- 松本市の暮らしの満足度別に自身を巡る将来について気になることを見ると、「道路などの社会基盤」「所得や資産の格差」で、不満足と回答した者の割合と満足と回答したものの割合の差が大きくなっている。

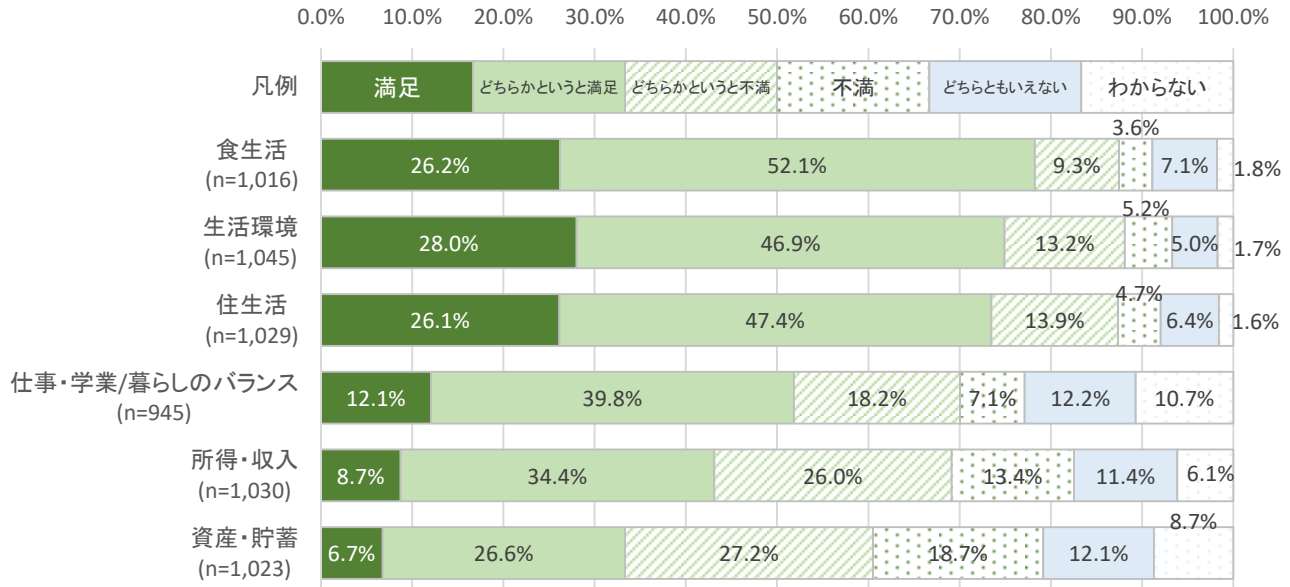
図表 65 松本市の暮らしの満足度別 自身を巡る将来について気になること(複数回答)



### ⑤ 暮らしの場面別の満足度

- 暮らしの場面別に、「満足」と「どちらかという満足」を合わせた割合を見ると、「食生活」「生活環境」「住生活」で70%以上となっている。「仕事・学業/暮らしのバランス」は51.9%、「所得・収入」は43.1%、「資産・貯蓄」は33.3%となっており、経済面に関する項目で比較的低くなっている。

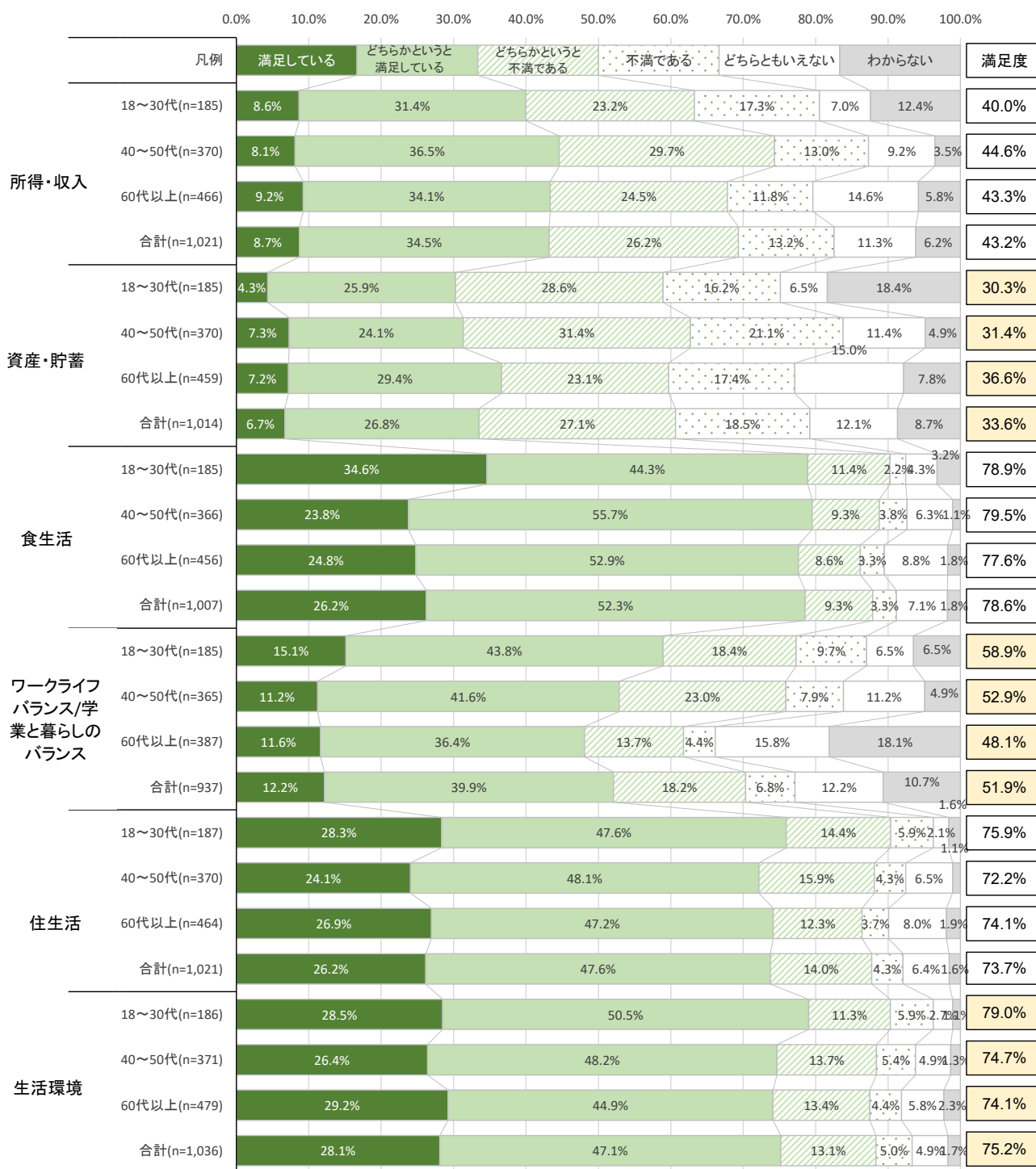
図表 66 暮らしの場面別の満足度



暮らしの場面別の満足度		満足	どちらかという満足	どちらかという不満	不満	どちらともいえない	わからない	合計	「満足」と「どちらかという満足」を合わせた割合
食生活	度数(人)	266	529	94	37	72	18	1,016	78.2%
	割合	26.2%	52.1%	9.3%	3.6%	7.1%	1.8%	100.0%	
生活環境	度数(人)	293	490	138	54	52	18	1,045	74.9%
	割合	28.0%	46.9%	13.2%	5.2%	5.0%	1.7%	100.0%	
住生活	度数(人)	269	488	143	48	66	16	1,030	73.5%
	割合	26.1%	47.4%	13.9%	4.7%	6.4%	1.6%	100.0%	
仕事・学業/暮らしのバランス	度数(人)	114	376	172	67	115	101	945	51.9%
	割合	12.1%	39.8%	18.2%	7.1%	12.2%	10.7%	100.0%	
所得・収入	度数(人)	90	354	268	138	117	63	1,030	43.1%
	割合	8.7%	34.4%	26.0%	13.4%	11.4%	6.1%	100.0%	
資産・貯蓄	度数(人)	69	272	278	191	124	89	1,023	33.3%
	割合	6.7%	26.6%	27.2%	18.7%	12.1%	8.7%	100.0%	

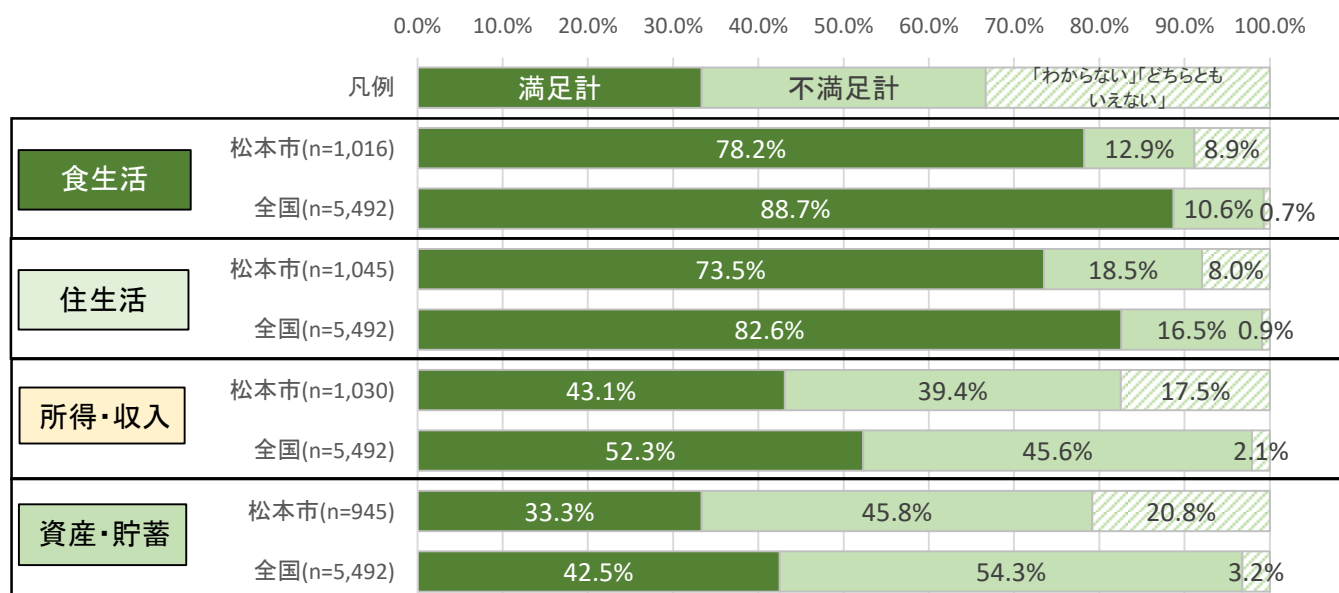
● 年代別に暮らしの場面別の満足度を見ると、どの年代でも満足度に10ポイント以上の違いは見られなかった。

図表 67 年代別 暮らしの場面別の満足度



- 場面別の暮らしの満足度を内閣府「国民生活に関する世論調査」の令和元年度の結果と比較すると、松本市の満足計（「満足」「どちらかという満足」を合わせた回答割合）は、どの分野でも全国より10ポイント程度低い。

図表 68 暮らしの場面別の満足度(全国との比較)



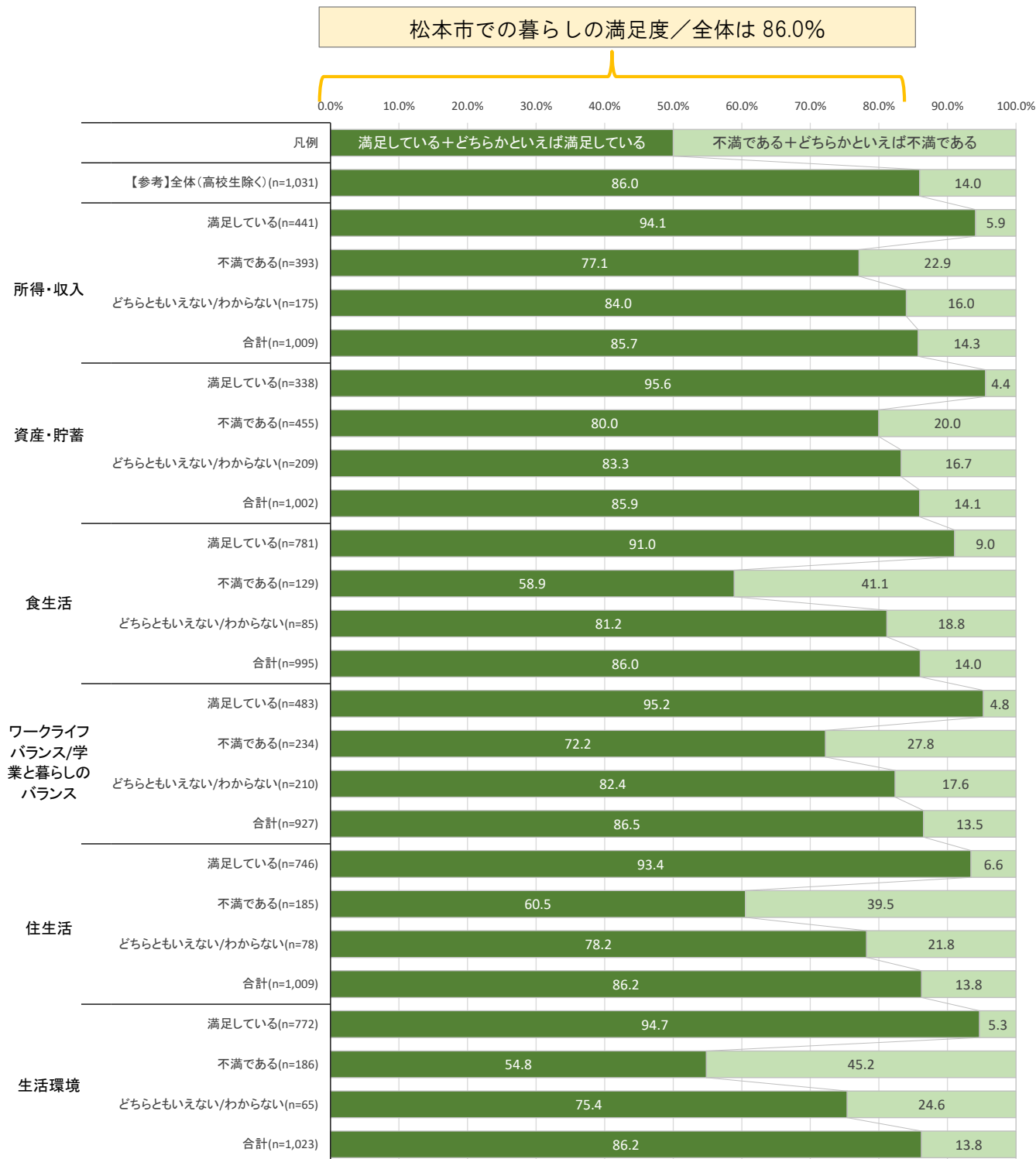
暮らしの場面別の満足度		満足計	不満足計	「わからない」「どちらともいえない」	合計
食生活	松本市(n=1,016)	78.2%	12.9%	8.9%	100.0%
	全国(n=5,492)	88.7%	10.6%	0.7%	100.0%
住生活	松本市(n=1,045)	73.5%	18.5%	8.0%	100.0%
	全国(n=5,492)	82.6%	16.5%	0.9%	100.0%
所得・収入	松本市(n=1,030)	43.1%	39.4%	17.5%	100.0%
	全国(n=5,492)	52.3%	45.6%	2.1%	100.0%
資産・貯蓄	松本市(n=945)	33.3%	45.8%	20.8%	100.0%
	全国(n=5,492)	42.5%	54.3%	3.2%	100.0%

- ・ 全国については、内閣府「国民生活に関する世論調査」の令和元年度の結果をもとに作成している。「国民生活に関する世論調査」では、暮らしの満足度を感じる場面として、図表中の4項目のほかに「耐久消費財」「自己啓発・能力向上」「レジャー・余暇生活」の4項目を選択肢として設けている。



- 場面別の満足度と総合的な暮らしの満足度の関係を見ると、いずれの場面でも「満足している」と回答した人の90%以上が、総合的な暮らしにも満足していると回答している。一方、場面別の満足度で「不満である」と回答した人は、総合的な暮らしの満足度が下がる傾向にある。
- 特に「食生活」「住生活」「生活環境」に不満を抱いている人で、暮らしの満足度が下がる傾向にある。

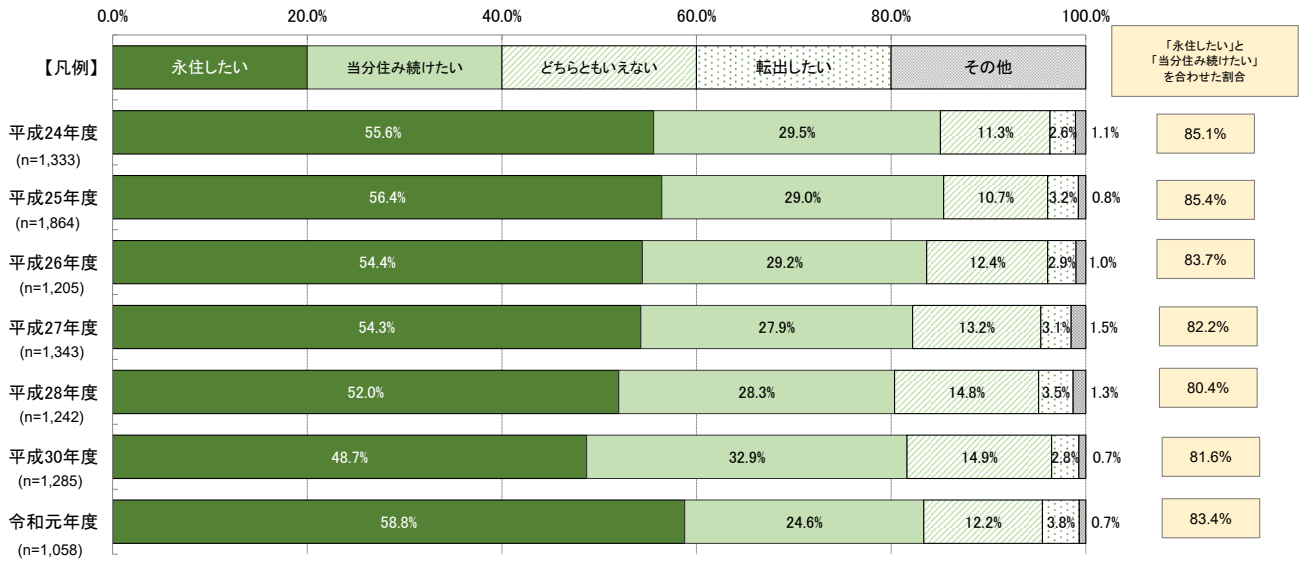
図表 69 暮らしの場面別の満足度と松本市での総合的な暮らしの満足度の関係



## ⑥ 松本市への居住意向

- 松本市への居住意向を見ると、「永住したい」「当分住み続けたい」を合わせた割合は 83.4%であり 年並みとなっている。

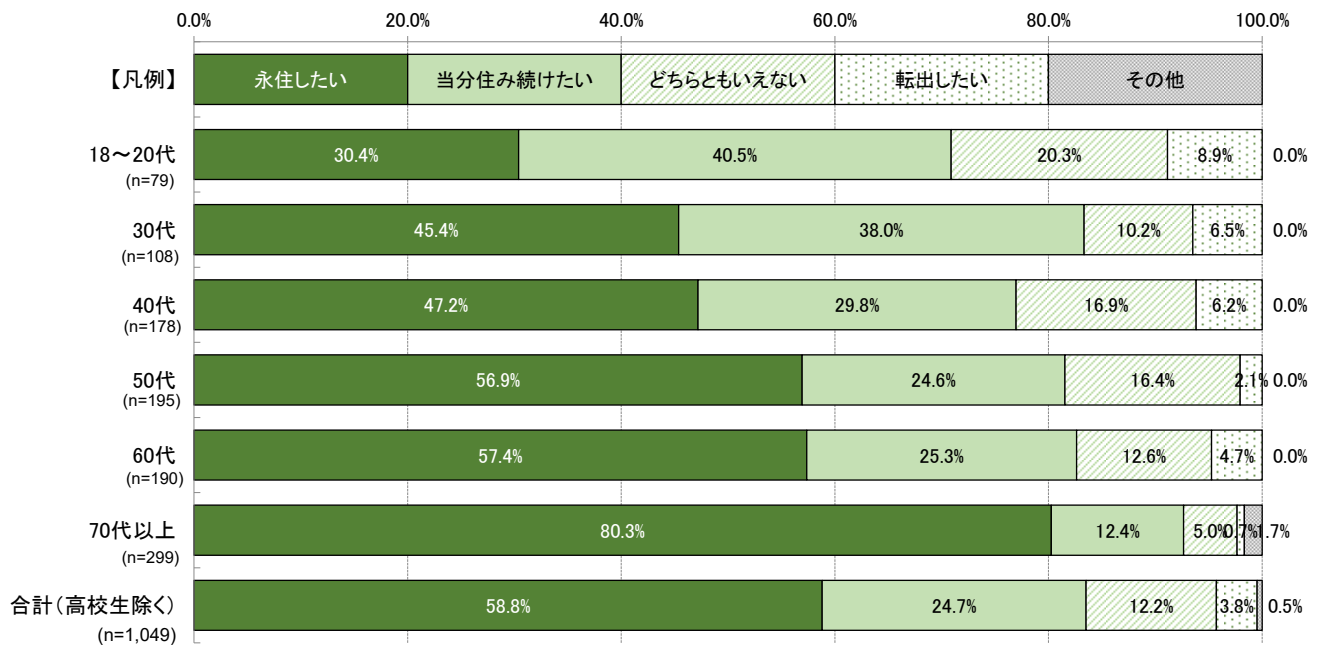
図表 70 松本市への居住意向



居住意向		永住したい	当分住み続けたい	どちらともいえない	転出したい	その他	合計	「永住したい」「当分住み続けたい」を合わせた割合
平成24年度	度数 (人)	741	393	150	35	14	1,333	85.1%
	割合	55.6%	29.5%	11.3%	2.6%	1.1%	100.0%	
平成25年度	度数 (人)	1052	540	199	59	14	1,864	85.4%
	割合	56.4%	29.0%	10.7%	3.2%	0.8%	100.0%	
平成26年度	度数 (人)	656	352	150	35	12	1,205	83.7%
	割合	54.4%	29.2%	12.4%	2.9%	1.0%	100.0%	
平成27年度	度数 (人)	729	375	177	42	20	1,343	82.2%
	割合	54.3%	27.9%	13.2%	3.1%	1.5%	100.0%	
平成28年度	度数 (人)	646	352	184	44	16	1,242	80.4%
	割合	52.0%	28.3%	14.8%	3.5%	1.3%	100.0%	
平成30年度	度数 (人)	626	423	191	36	9	1,285	81.6%
	割合	48.7%	32.9%	14.9%	2.8%	0.7%	100.0%	
令和元年度	度数 (人)	622	260	129	40	7	1,058	83.4%
	割合	58.8%	24.6%	12.2%	3.8%	0.7%	100.0%	

- 年代別に居留意向を見ると、「永住したい」の割合は「70代以上」が80.3%と最も高く、年代が上がるにつれて居留意向が高くなっている。

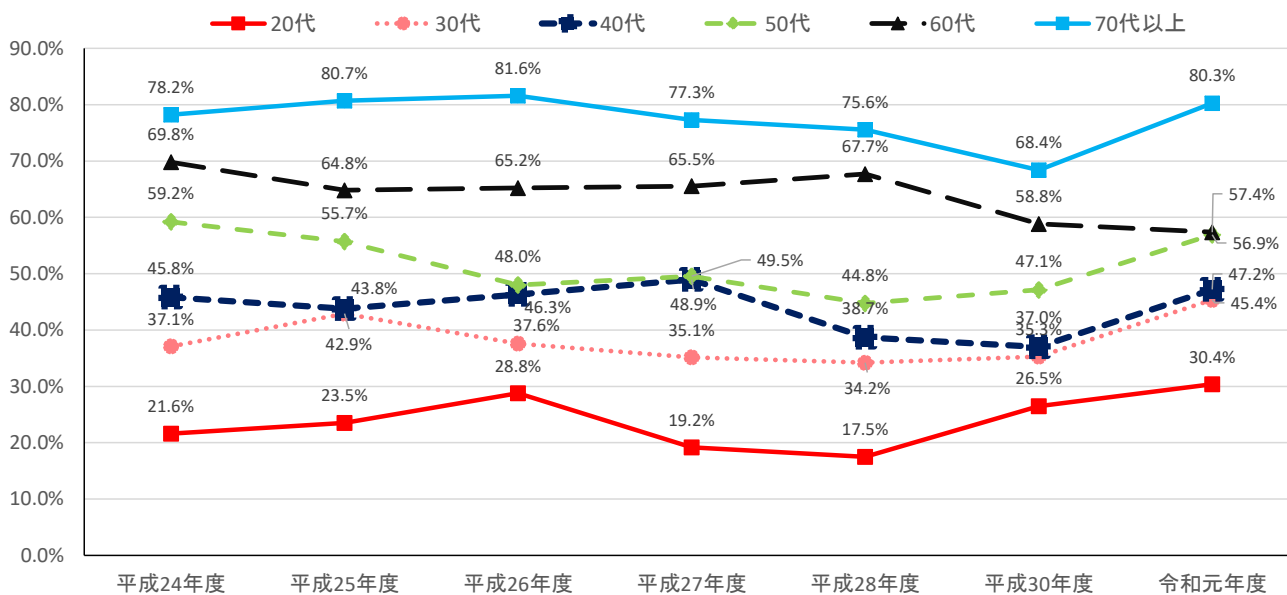
図表 71 年代別 居留意向



居留意向		永住したい	当分住み続けたい	どちらともいえない	転出したい	その他	合計
18歳～20代	度数(人)	24	32	16	7	0	79
	割合	30.4	40.5	20.3	8.9	0.0	100.0
30代	度数(人)	49	41	11	7	0	108
	割合	45.4	38.0	10.2	6.5	0.0	100.0
40代	度数(人)	84	53	30	11	0	178
	割合	47.2	29.8	16.9	6.2	0.0	100.0
50代	度数(人)	111	48	32	4	0	195
	割合	56.9	24.6	16.4	2.1	0.0	100.0
60代	度数(人)	109	48	24	9	0	190
	割合	57.4	25.3	12.6	4.7	0.0	100.0
70代以上	度数(人)	240	37	15	2	5	299
	割合	80.3	12.4	5.0	0.7	1.7	100.0
合計(高校生除く)	度数(人)	617	259	128	40	5	1,049
	割合	58.8	24.7	12.2	3.8	0.5	100.0

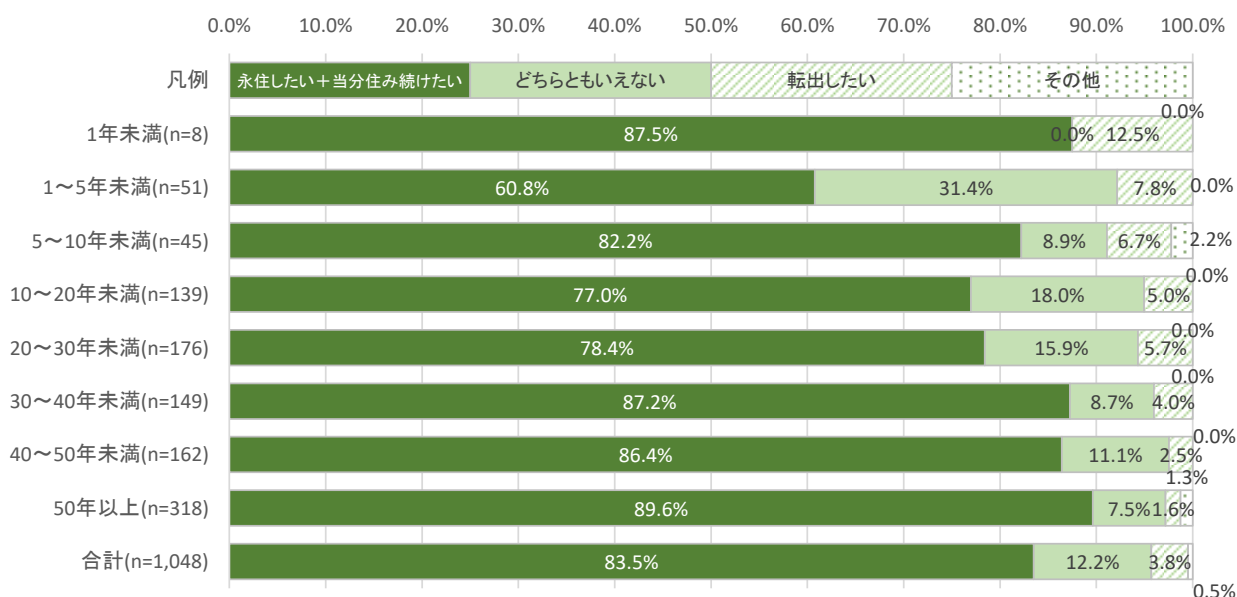
- 年代別に「永住したい」の割合の推移を見ると、20代と30代が直近7年間で最も高くなっており、若い世代で居住意向が上昇している。
- 松本での居住年数別に居住意向を見ると、「永住したい」「当分住み続けたい」と回答した人の割合は30年以上居住する市民で6割以上と高くなってきている。また、居住年数が「1年未満」の回答者も「永住したい」「当分住み続けたい」が8割以上と比較的高く、居住年数が1～30年の市民でやや低い。

図表 72 年代別「永住したい」の割合の推移



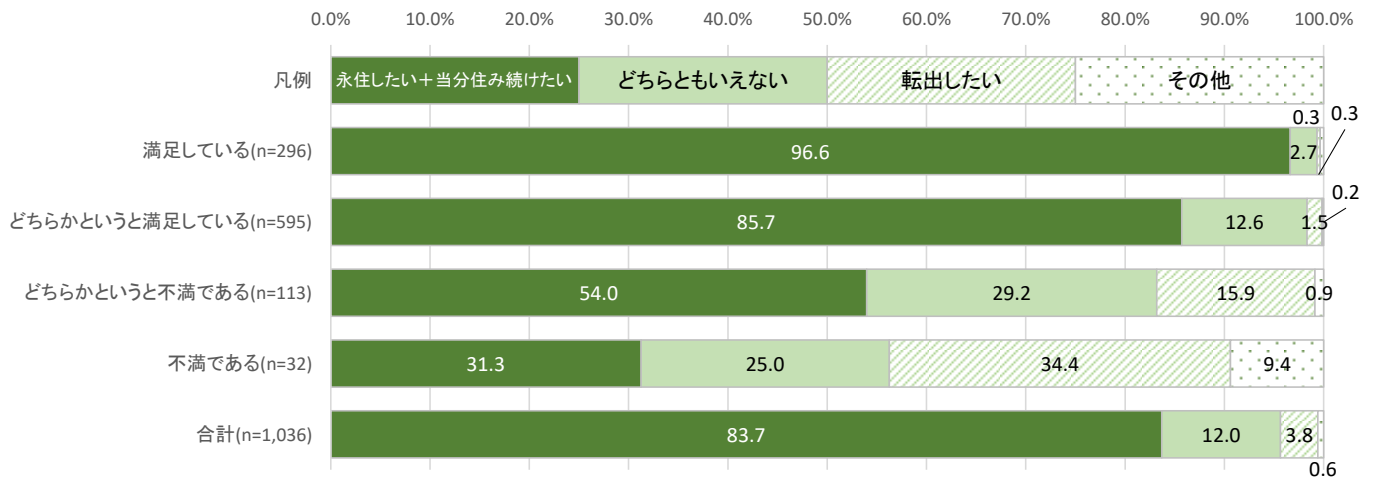
	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	全体
平成24年度	21.6%	37.1%	45.8%	59.2%	69.8%	78.2%	55.6%
平成25年度	23.5%	42.9%	43.8%	55.7%	64.8%	80.7%	56.4%
平成26年度	28.8%	37.6%	46.3%	48.0%	65.2%	81.6%	54.4%
平成27年度	19.2%	35.1%	48.9%	49.5%	65.5%	77.3%	54.3%
平成28年度	17.5%	34.2%	38.7%	44.8%	67.7%	75.6%	52.0%
平成30年度	26.5%	35.3%	37.0%	47.1%	58.8%	68.4%	48.7%
令和元年度	30.4%	45.4%	47.2%	56.9%	57.4%	80.3%	58.8%

図表 73 松本での居住年数別 居住意向



- 暮らしの満足度別に定住意向（「永住したい」「当分住み続けたい」を合わせた割合）を見ると、暮らしの満足度が高いほど定住意向も高くなっている。

図表 74 暮らしの満足度別 居住意向

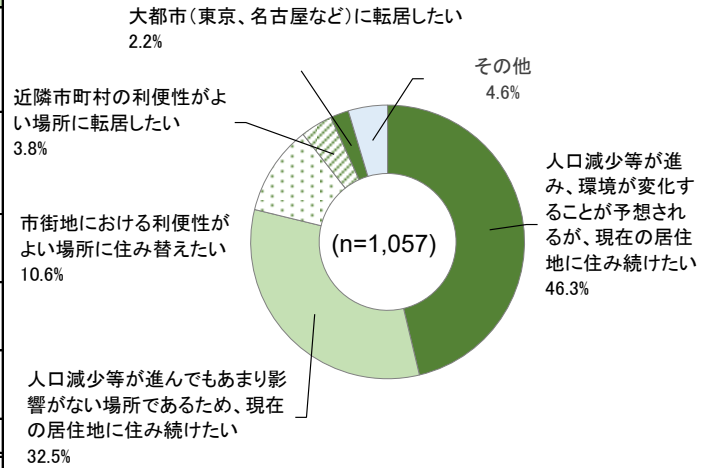


⑦ 今後の居住地

- 今後の居住地に対する考えを尋ねたところ、現在の居住地に住み続けたいとの回答は78.8%を占める。
- 「市街地における利便性がよい場所に住み替えたい」は10.5%である
- 「近隣市町村の利便性がよい場所に転居したい」「大都市（東京、名古屋など）に転居したい」は合わせて5.9%である。居住地に対する不満は少ない。

図表 75 人口減少や高齢化の進行が予測される中、今後の居住地に関する考え

	度数(人)	割合
人口減少等が進み、環境が変化することが予想されるが、現在の居住地に住み続けたい	489	46.3%
人口減少等が進んでもあまり影響がない場所であるため、現在の居住地に住み続けたい	344	32.5%
市街地における利便性がよい場所に住み替えたい	112	10.6%
近隣市町村の利便性がよい場所に転居したい	40	3.8%
大都市（東京、名古屋など）に転居したい	23	2.2%
その他	49	4.6%
合計	1,057	100.0%



図表 76 [参考]居住地区別 人口減少や高齢化の進行が予測される中、今後の居住地に関する考え

	人口減少等が進み、環境が変化することが予想されるが、現在の居住地に住み続けたい	人口減少等が進んでもあまり影響がない場所であるため、現在の居住地に住み続けたい	市街地における利便性がよい場所に住み替えたい	近隣市町村の利便性がよい場所に転居したい	大都市（東京、名古屋など）に転居したい	その他
第1地区 (n=6)	16.7%	50.0%	16.7%	0.0%	0.0%	16.7%
第2地区 (n=12)	50.0%	25.0%	8.3%	8.3%	8.3%	0.0%
第3地区 (n=16)	50.0%	37.5%	12.5%	0.0%	0.0%	0.0%
東部地区 (n=15)	26.7%	60.0%	6.7%	0.0%	0.0%	6.7%
中央地区 (n=11)	54.5%	27.3%	0.0%	0.0%	0.0%	18.2%
城北地区 (n=25)	56.0%	20.0%	0.0%	8.0%	4.0%	12.0%
安原地区 (n=23)	34.8%	43.5%	4.3%	0.0%	8.7%	8.7%
城東地区 (n=27)	44.4%	40.7%	0.0%	7.4%	3.7%	3.7%
白板地区 (n=23)	65.2%	26.1%	8.7%	0.0%	0.0%	0.0%
田川地区 (n=15)	66.7%	6.7%	6.7%	6.7%	6.7%	6.7%
庄内地区 (n=57)	29.8%	49.1%	3.5%	5.3%	0.0%	12.3%
鎌田地区 (n=61)	49.2%	44.3%	3.3%	1.6%	0.0%	0.0%
松南地区 (n=24)	45.8%	41.7%	0.0%	0.0%	0.0%	12.5%
島内地区 (n=45)	33.3%	37.8%	15.6%	4.4%	8.9%	0.0%
中山地区 (n=19)	68.4%	10.5%	15.8%	5.3%	0.0%	0.0%
島立地区 (n=27)	37.0%	44.4%	18.5%	0.0%	0.0%	0.0%
新村地区 (n=20)	60.0%	15.0%	10.0%	10.0%	0.0%	5.0%
和田地区 (n=18)	66.7%	22.2%	11.1%	0.0%	0.0%	0.0%
神林地区 (n=21)	42.9%	28.6%	9.5%	0.0%	0.0%	19.0%
笹賀地区 (n=48)	47.9%	31.3%	14.6%	2.1%	2.1%	2.1%
芳川地区 (n=67)	41.8%	32.8%	11.9%	7.5%	0.0%	6.0%
寿地区 (n=64)	51.6%	25.0%	17.2%	4.7%	0.0%	1.6%
松原地区 (n=12)	58.3%	25.0%	8.3%	0.0%	8.3%	0.0%
寿台地区 (n=16)	31.3%	37.5%	18.8%	6.3%	0.0%	6.3%
岡田地区 (n=31)	41.9%	32.3%	3.2%	12.9%	6.5%	3.2%
入山辺地区 (n=12)	83.3%	0.0%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%
里山辺地区 (n=58)	41.4%	37.9%	10.3%	5.2%	3.4%	1.7%
今井地区 (n=18)	72.2%	5.6%	5.6%	5.6%	0.0%	11.1%
内田地区 (n=12)	41.7%	25.0%	0.0%	8.3%	16.7%	8.3%
本郷地区 (n=56)	44.6%	37.5%	10.7%	1.8%	1.8%	3.6%
安曇地区 (n=9)	33.3%	11.1%	33.3%	11.1%	0.0%	11.1%
奈川地区 (n=3)	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
梓川地区 (n=60)	43.3%	31.7%	18.3%	3.3%	0.0%	3.3%
四賀地区 (n=18)	55.6%	11.1%	22.2%	0.0%	5.6%	5.6%
波田地区 (n=71)	47.9%	32.4%	14.1%	0.0%	2.8%	2.8%
わからない (n=24)	45.8%	25.0%	16.7%	4.2%	0.0%	8.3%

※サンプル数が低い地区もあり参考値

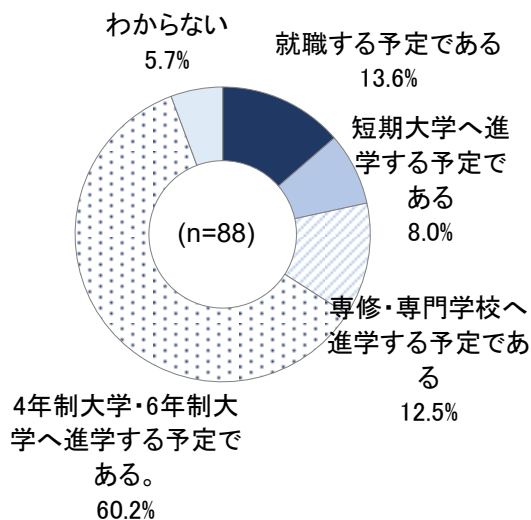
## (5) 高校生の卒業後の進路や地元就職意向

### ① 高校卒業後の進路

- 松本市内の16～17の高校生について高校卒業後の進路を尋ねたところ、「4年制大学・6年制大学へ進学する」の回答割合が最も高く60.2%、「就職する予定」は13.6%であった。
- 高校卒業後に就職を希望する生徒のうち、半数が、松本市内での就職を希望している。

図表 77 現時点での高校卒業後の進路【高校生】

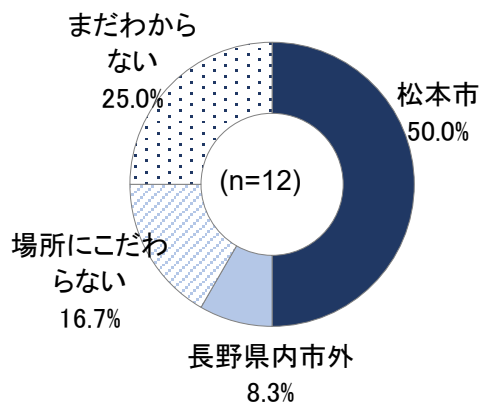
	度数(人)	割合
就職する予定である	12	13.6%
短期大学へ進学する予定である	7	8.0%
専修・専門学校へ進学する予定である	11	12.5%
4年制大学・6年制大学へ進学する予定である。	53	60.2%
わからない	5	5.7%
合計	88	100.0%



### ② 就職希望者の就職先

図表 78 高校卒業後に就職を希望する者が就職を希望する地域【高校生】

	度数(人)	割合
松本市	6	50.0%
長野県内市外	1	8.3%
場所にこだわらない	2	16.7%
まだわからない	3	25.0%
合計	12	100.0%

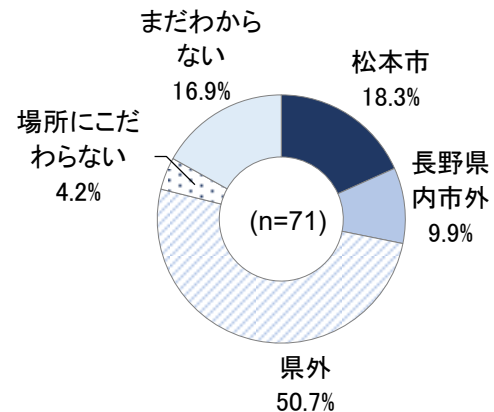


### ③ 進学希望者の進学先・就職先

- 松本市内の 16～17 歳の高校生のうち、進学を希望する生徒に進学を希望する地域を尋ねたところ、「県外」が約 5 割で最も多く、「松本市」は約 2 割に留まっている。
- 進学を希望する生徒に、進学先を卒業した後に就職を希望する地域を尋ねたところ、「まだわからない」が約 5 割で最も多く、次いで「松本市」が 3 割弱、「県外」が 2 割弱となっている。半数の高校生が、高校在学中には進学先卒業後の就職先までは決めていない結果となっている。
- 松本市内での就職を希望する生徒が市内での就職を希望する理由は、「生活しやすいから」「実家で暮らしたいから」が最も多く、ついで「地元が好きだから」となっている。

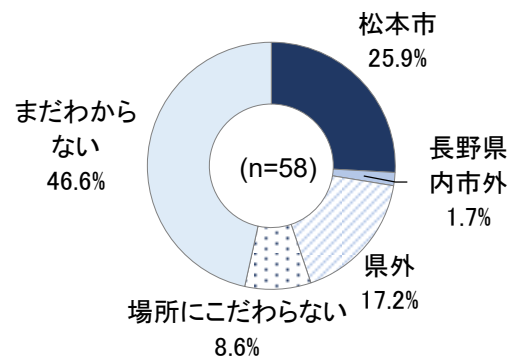
図表 79 高校卒業後に進学を希望する者が進学を希望する地域【高校生】

	度数(人)	割合
松本市	13	18.3%
長野県内市外	7	9.9%
県外	36	50.7%
場所にこだわらない	3	4.2%
まだわからない	12	16.9%
合計	71	100.0%



図表 80 高校卒業後に進学を希望する者が、進学先を卒業した後に就職を希望する地域【高校生】

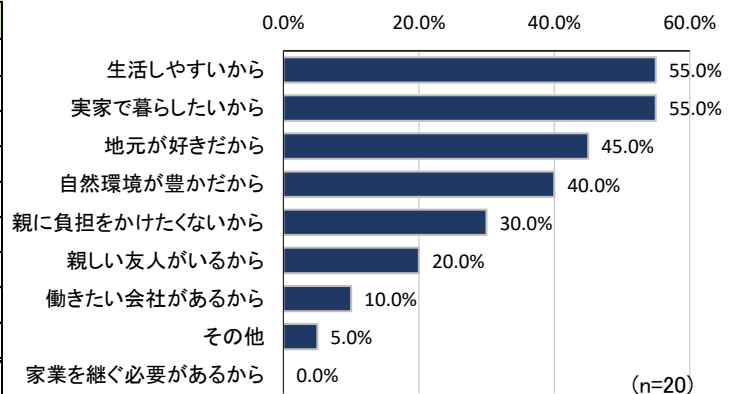
	度数(人)	割合
松本市	15	25.9%
長野県内市外	1	1.7%
県外	10	17.2%
場所にこだわらない	5	8.6%
まだわからない	27	46.6%
合計	58	100.0%



### ④ 市内での就職を希望する理由

図表 81 松本市内での就職を希望する者が市内での就職を希望する理由【高校生】(複数回答)

	度数(人)	割合
生活しやすいから	11	55.0%
実家で暮らしたいから	11	55.0%
地元が好きだから	9	45.0%
自然環境が豊かだから	8	40.0%
親に負担をかけたくないから	6	30.0%
親しい友人がいるから	4	20.0%
働きたい会社があるから	2	10.0%
その他	1	5.0%
家業を継ぐ必要があるから	0	0.0%
回答者数	20	



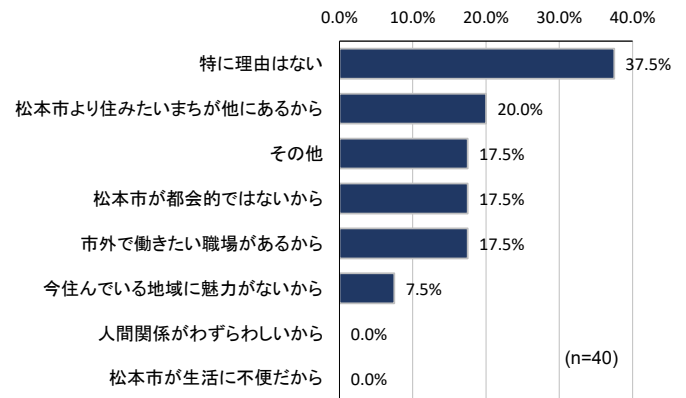


⑤ 市外で就職を希望する理由と地元への回意向

- 松本市外で就職を希望する生徒が松本市外での就職を希望する理由は「特に理由はない」が約4割で最も多く、次いで「松本市より住みたいまちが他にあるから」、「その他」、「松本市が都会的ではないから」「市外で働きたい職場があるから」となっている。
- 松本市外での就職を希望する生徒に対して、将来松本に戻ってきたいかどうかを尋ねたところ、「戻ってきたい」「いずれ戻ってきたい」が合わせて7割近くを占めている。

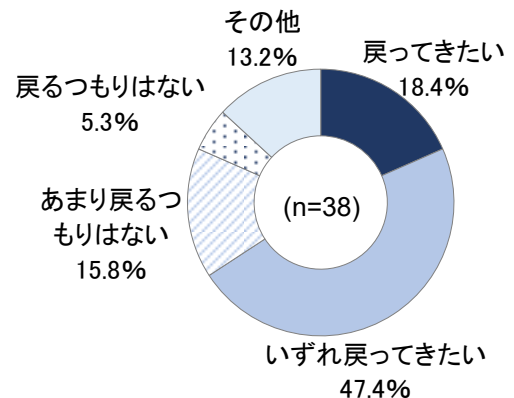
図表 82 松本市外で就職を希望する生徒が松本市外での就職を希望する理由【高校生】(複数回答)

	度数(人)	割合
特に理由はない	15	37.5%
松本市より住みたいまちが他にあるから	8	20.0%
その他	7	17.5%
松本市が都会的ではないから	7	17.5%
市外で働きたい職場があるから	7	17.5%
今住んでいる地域に魅力がないから	3	7.5%
人間関係がわずらわしいから	0	0.0%
松本市が生活に不便だから	0	0.0%
回答者数	40	



図表 83 松本市外での就職を希望する生徒の、松本市への回帰意向【高校生】

	度数(人)	割合
戻ってきたい	7	18.4%
いずれ戻ってきたい	18	47.4%
あまり戻らなかつてもいい	6	15.8%
戻らなかつてもいい	2	5.3%
その他	5	13.2%
合計	38	100.0%



その他の内容	度数(人)
どちらでもよい	1
わからない	1
今現在考えていない	1
定住ではないが、定期的に来たいと思う	1
未定	1

⑥ 松本市外での就職を希望する者は、松本市がどんなまちなら住みたいか

- 松本市外で就職を希望する生徒に、松本市がどんなまちなら住みたいか尋ねたところ、交通の利便性向上、就職先の多様性、商業の更なる発展を望む意見が多くなっている。
- また、松本市での生活に不満はないが、松本以外の都市に住んでみたい、という意見も見られる。

図表 84 松本市外での就職を希望する者は、松本市がどんなまちなら住みたいか【高校生】

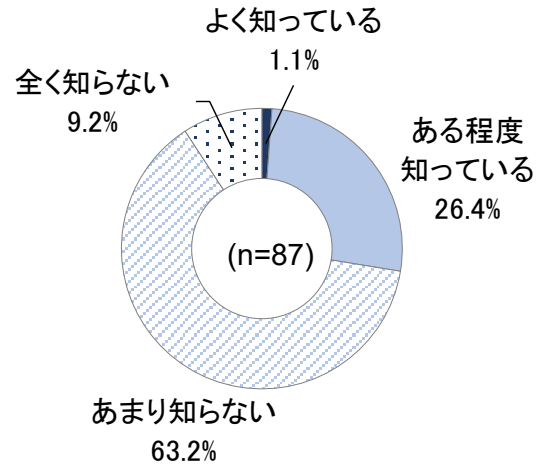
意見の内容
・ 1つの地域に自らを縛り付ける気はないため、住みたいとは思わないが、豊かな自然や文化は大切にすべきだと感じる
・ いろんな設備を整えたり、交通を便利にすればいいと思う
・ もう少し都会であって、交通の便や商業施設が充実しているまち
・ もっと交通の便をよくしたら
・ もっと都会的になったり、大企業が多くあったら、住み続ける。あと大学も多く欲しい。
・ より子育てが安心してできるまち
・ 安全で住みやすいまち
・ 交通などが不便でない
・ 交通の便がもっと良くなるまち
・ 交通の便が良くて、いろいろな企業が市内にある
・ 公務員の給料が良い街
・ 今でも住みやすいが、流行の物がもっと身近に感じられたり、大型店の進出よりも魅力ある個人店があった方がより住みたいと思う
・ 今の松本市の良さをさらによくしていけるような市
・ 今よりも都会的、また若者に魅力的にしてほしい。教育環境をもっと改善してほしい。
・ 子どもを産み、育てる環境が整っていて、育児休暇を取りやすい会社がある/空地とかシャッター商店街を公園にして明るい所に遊び場をつくって欲しい(開智公園は日の光がなくていつも暗いイメージがあって行きにくい)
・ 就職しやすい
・ 住み続けられるならそれに越したことはないが、就職したい企業が松本市内にないからしょうがない
・ 松本市が悪いから市外に出るのではなく、他の所で住んでみたいから、市外に出てみたいのです
・ 松本市に不満があるわけではなく、“もっと別の場所で生活してみたい”“自分の視野を広げたい”という思いがあるからこそのので、要望は特にない
・ 色々な人種の人たちがいるところだったらよい。お店がたくさんあること。チャンスをつかめるまち。
・ 人がたくさん訪れるような、松本城以外の見どころがあるまち
・ 多種多様な職業選びができればいい
・ 大手企業の重要な部署が入るオフィスがある都市機能(国の省庁)などが松本に一部来る
・ 都会的なまち
・ 遊べる施設が一つでもあれば、暇が少しは減る

⑦ 松本市近郊の会社の認知度や調べた経験

- 松本市内に住む高校生に、松本市近郊の会社を知っているか尋ねたところ、「あまり知らない」が63.2%で最も多くなっている
- 松本市近郊の会社について調べた経験があるか尋ねたところ、「調べたことはない」が74.7%であり、「調べたことがある」は25.3%にとどまっている。

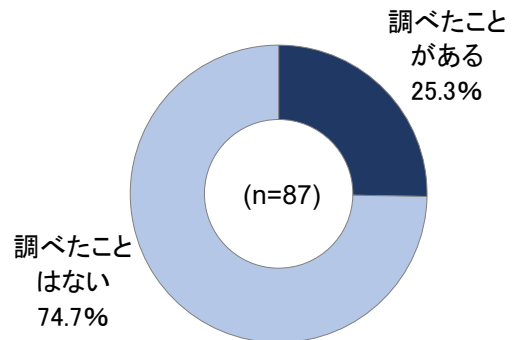
図表 85 松本市近郊の会社の認知度【高校生】

	度数(人)	割合
よく知っている	1	1.1%
ある程度知っている	23	26.4%
あまり知らない	55	63.2%
全く知らない	8	9.2%
合計	87	100.0%



図表 86 松本市近郊の会社について調べた経験【高校生】

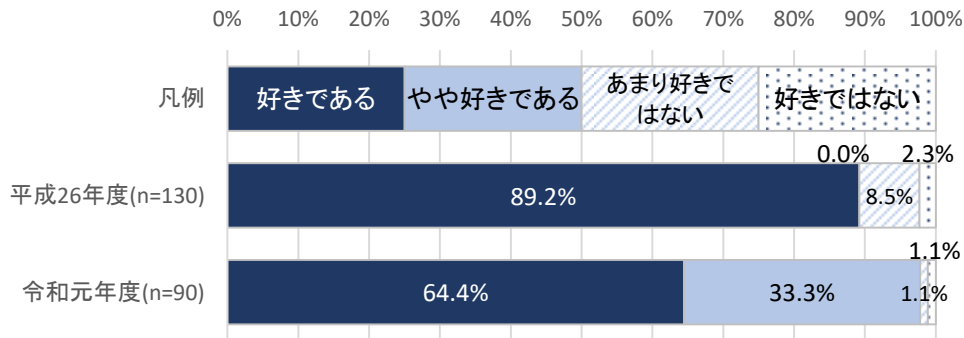
	度数(人)	割合
調べたことがある	22	25.3%
調べたことはない	65	74.7%
合計	87	100.0%



## ⑧ 松本への愛着

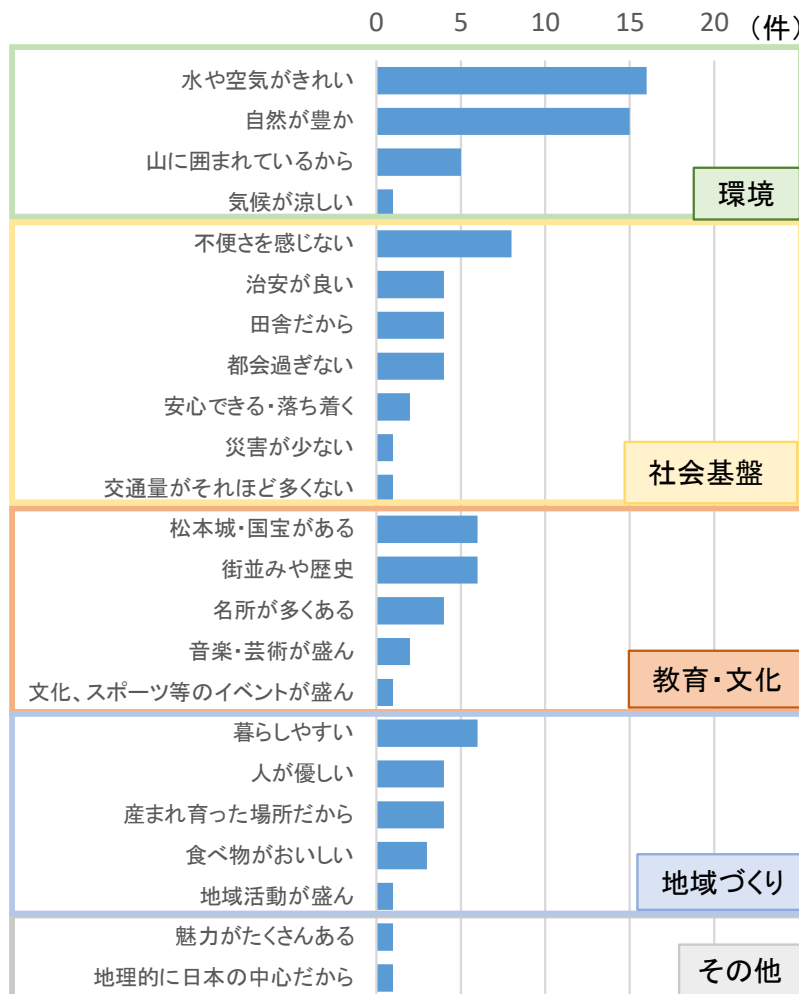
- 松本が好きであるかを聞いたところ、大半が好意的な回答であったが、前回調査から「好きである」の比率が下がっている。
- 松本が好き理由とみると、「環境」に関する理由が多かった。中でも「水や空気がきれい」「自然が豊か」という理由が多い。その他、社会基盤分野では「不便さを感じない」と生活の中で不自由さを感じないので不満がないという意見もみられた。

図表 87 松本への愛着度【高校生】



出典：平成26年度結果 第10次基本計画策定に係る住民意識調査報告書

図表 88 松本が好き理由【高校生】[自由記述を整理]

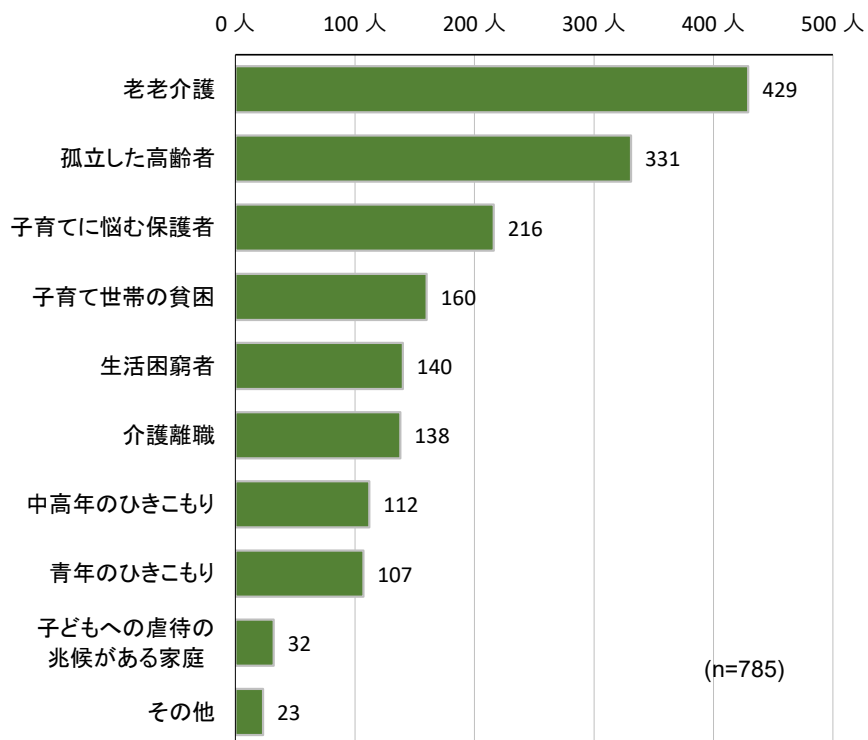


## (6) まちづくりへの参加状況や地域情報の入手方法

### ① あなたの身の回りで暮らしに不安を感じている方はいますか

- 身の回りで暮らしにどのような不安を感じている人がいるか尋ねたところ、「老老介護」が429人で最も多く、次いで「孤立した高齢者」が331人、「子育てに悩む保護者」が216人となっている。
- 「子育て世帯の貧困」「生活困窮者」「介護離職」「中高年のひきこもり」「青年のひきこもり」については100～150人程度の回答数となっている。

図表 89 あなたの身の回りで暮らしに不安を感じている方はいますか（複数回答）



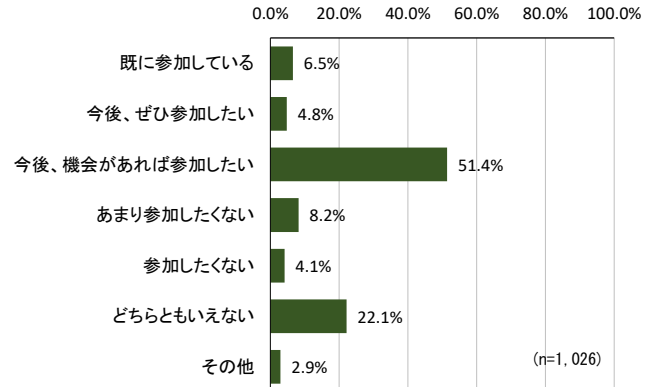
	度数(人)	割合
老老介護	429	54.6%
孤立した高齢者	331	42.2%
子育てに悩む保護者	216	27.5%
子育て世帯の貧困	160	20.4%
生活困窮者	140	17.8%
介護離職	138	17.6%
中高年のひきこもり	112	14.3%
青年のひきこもり	107	13.6%
子どもへの虐待の兆候がある家庭	32	4.1%
その他	23	2.9%
回答者数	785	

② まちづくりへの参加に対する考え、状況、意向

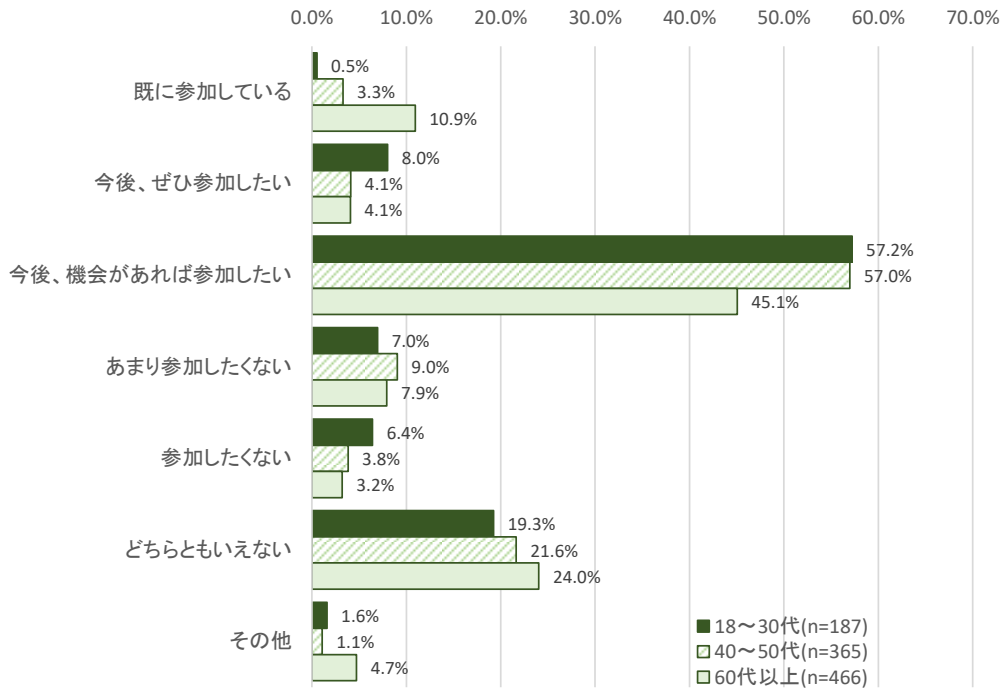
- まちづくりへの参加に対する考えは、「今後、機会があれば参加したい」が51.4%で最も多い。
- 年代別にみると「今後、機会があれば参加したい」の割合は、60代未満で比較的高くなっている。

図表 90 まちづくりへの参加にする考え

	度数(人)	割合
既に参加している	67	6.5%
今後、ぜひ参加したい	49	4.8%
今後、機会があれば参加したい	527	51.4%
あまり参加したくない	84	8.2%
参加したくない	42	4.1%
どちらともいえない	227	22.1%
その他	30	2.9%
合計	1,026	100.0%

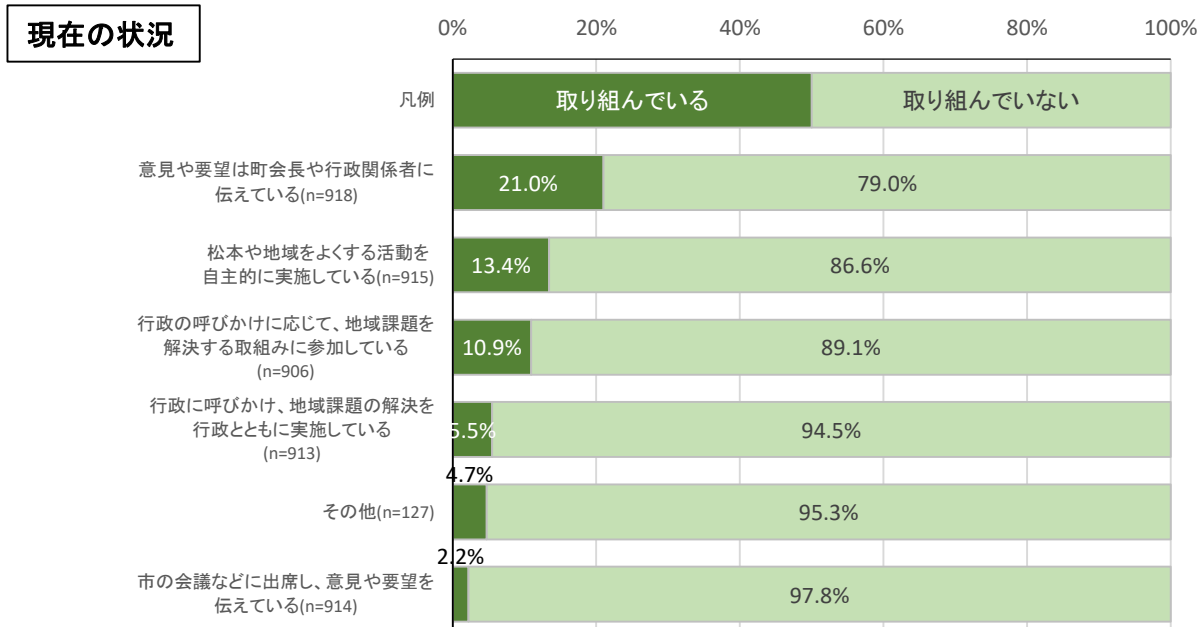


図表 91 年代別 まちづくりへの参加にする考え

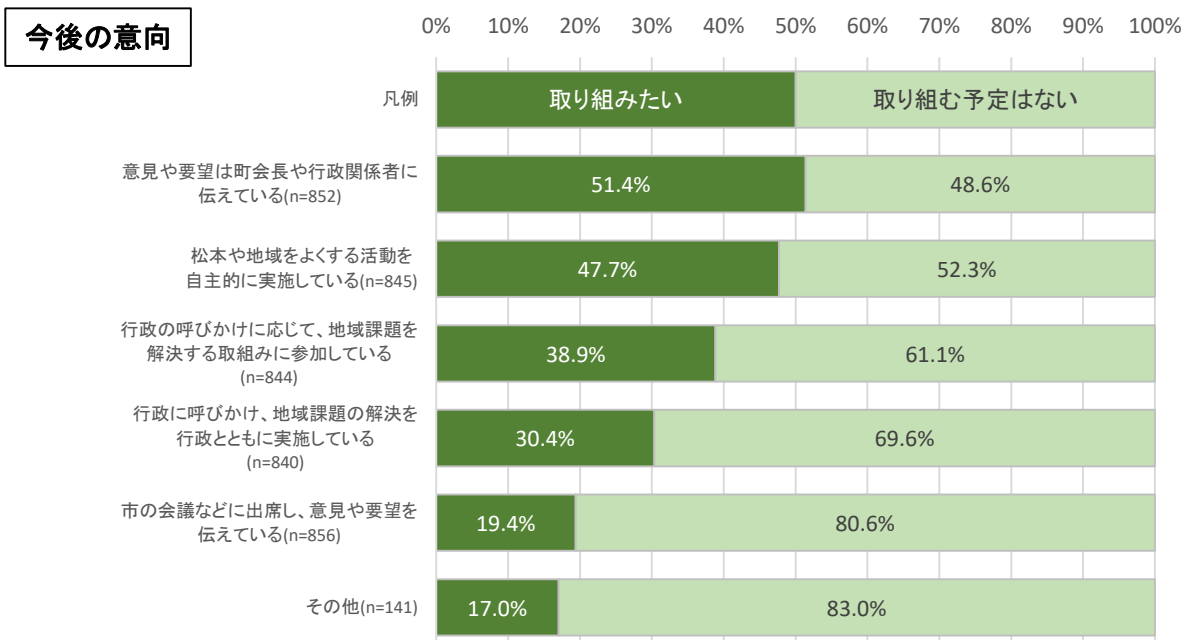


- 現在のまちづくりへの参加状況を聞いたところ、「取り組んでいる」との回答は「意見や要望は町会長や行政関係者に伝えている」が最も多いが、21.0%に留まっている。
- 今後のまちづくりへの参加意向を見ると、「取り組みたい」との回答は「意見や要望は町会長や行政関係者に伝えている」が51.4%で最も高く、次いで「松本や地域を良くする活動を自主的に実施している」、「行政の呼びかけに応じて地域課題を解決する取組みに参加している」となっている。

図表 92 現在のまちづくりへの参加状況



図表 93 今後のまちづくりへの参加意向

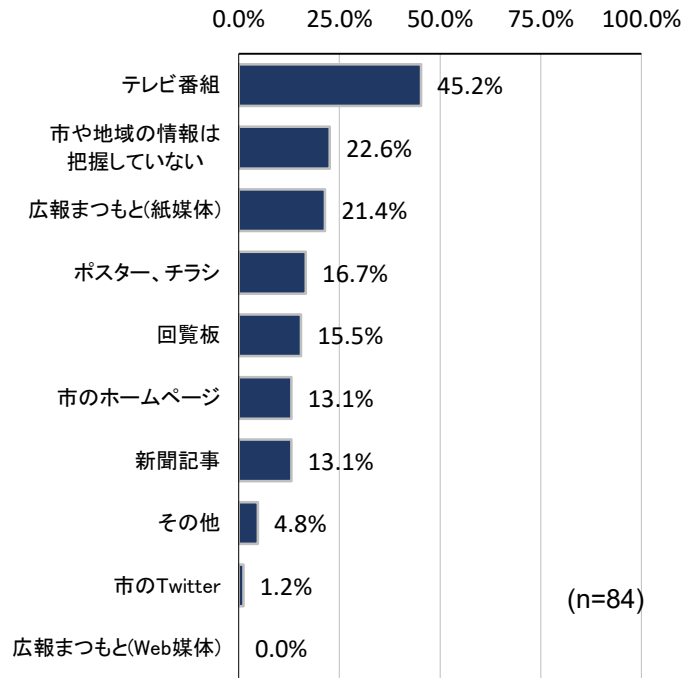


### ③ まちづくりや地域に関する情報の入手先

- まちづくりや地域に関する情報の入手先については、高校生は「テレビ番組」が45.2%で最も高く、その他の情報媒体は1～2割程度となっている。また、「市や地域の情報は把握していない」が22.6%を占めており、18歳以上に比べて、まちづくりや地域に関する情報を入手していない結果となっている。また、「市のTwitter」や「広報まつもと（WEB媒体）」は1%程度であり、若年層が得意とするスマホやインターネット等の媒体において活用されていない結果となっている。
- 18歳以上では「広報まつもと（紙媒体）」が80.7%と最も多く、次いで「回覧板」が66.1%となっており、「新聞記事」「テレビ番組」「ポスター、チラシ」と続いている。「広報まつもと（紙媒体）」と「回覧板」は他の媒体に比べて高い状況である。

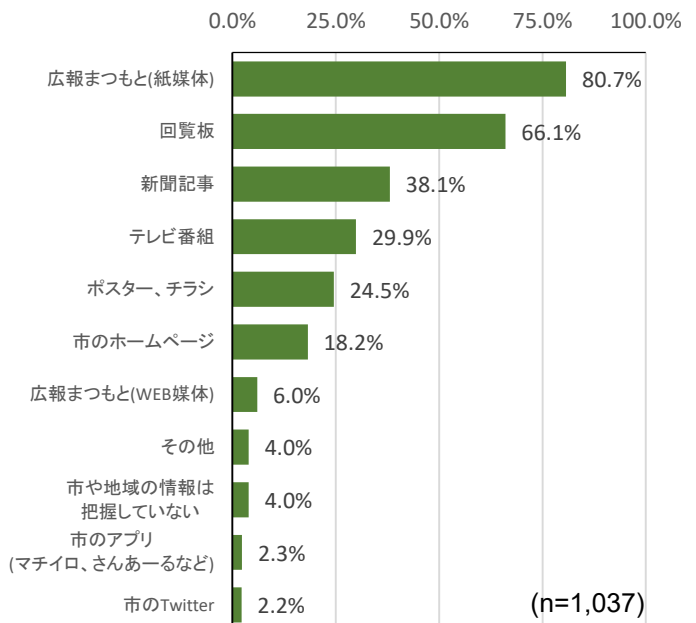
図表 94 まちづくりや地域に関する情報の入手先【高校生】(複数回答)

	度数(人)	割合
テレビ番組	38	45.2%
市や地域の情報は把握していない	19	22.6%
広報まつもと(紙媒体)	18	21.4%
ポスター、チラシ	14	16.7%
回覧板	13	15.5%
市のホームページ	11	13.1%
新聞記事	11	13.1%
その他	4	4.8%
市のTwitter	1	1.2%
広報まつもと(Web媒体)	0	0.0%
回答者数	84	



図表 95 まちづくりや地域に関する情報の入手先(複数回答)

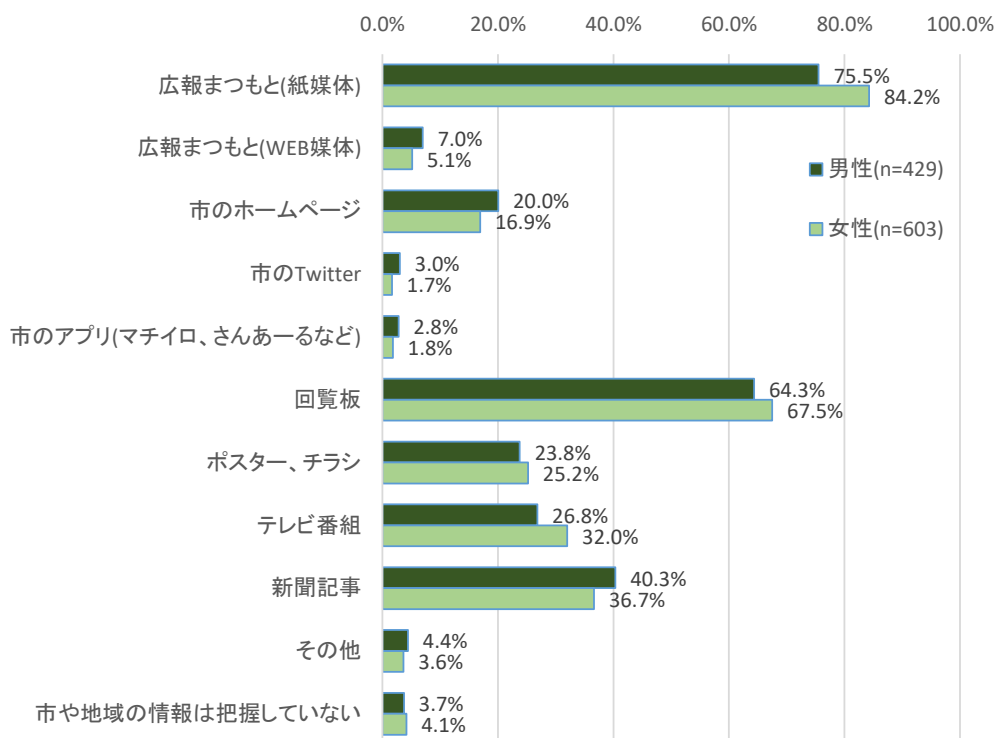
	度数(人)	割合
広報まつもと(紙媒体)	837	80.7%
回覧板	685	66.1%
新聞記事	395	38.1%
テレビ番組	310	29.9%
ポスター、チラシ	254	24.5%
市のホームページ	189	18.2%
広報まつもと(WEB媒体)	62	6.0%
その他	41	4.0%
市や地域の情報は把握していない	41	4.0%
市のアプリ(マチイロ、さんあーるなど)	24	2.3%
市のTwitter	23	2.2%
回答者数	1,037	



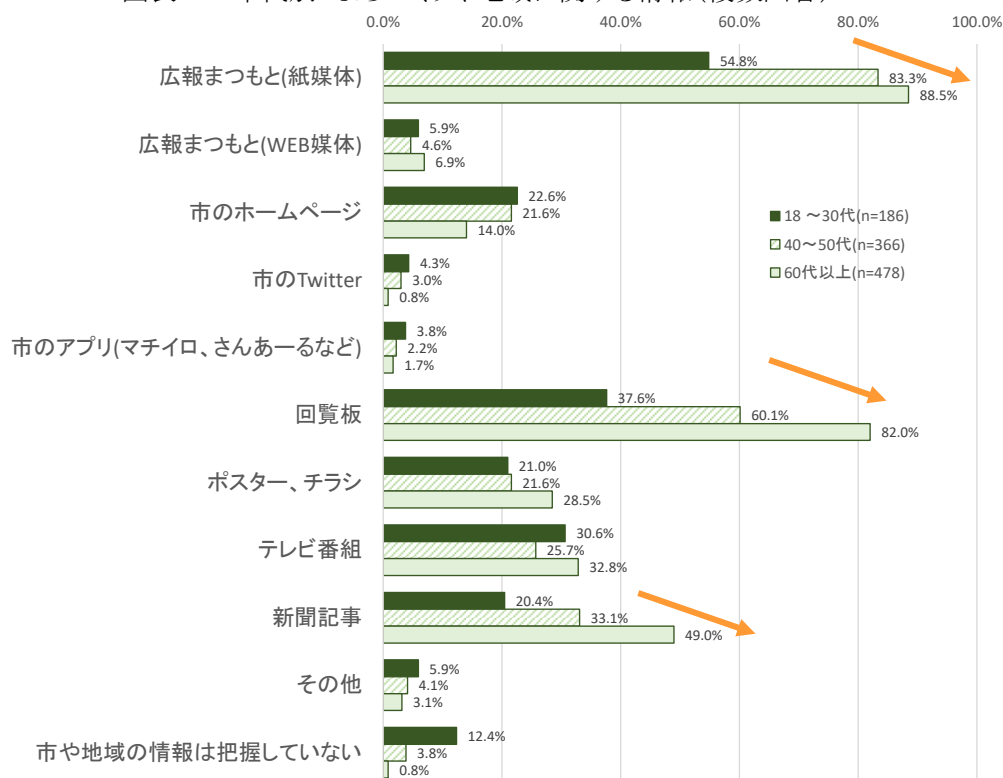


- まちづくりや地域に関する情報の入手先を男女別に見ると、女性は男性よりも「広報まつもと（紙媒体）」と「テレビ番組」が5ポイント以上高くなっているが、その他の媒体については同様の傾向となっている。
- まちづくりや地域に関する情報の入手先を年代別に見ると、「広報まつもと（紙媒体）」「回覧板」「新聞記事」は年代が上がるほど回答割合が高くなっている。また、「市や地域の情報は把握していない」は年代が下がるほど、回答割合が高い。

図表 96 性別 まちづくりや地域に関する情報の入手先(複数回答)



図表 97 年代別 まちづくりや地域に関する情報(複数回答)



### 3. 総括

#### (1) 松本市の魅力や今後のまちづくり

##### ① 松本市の魅力

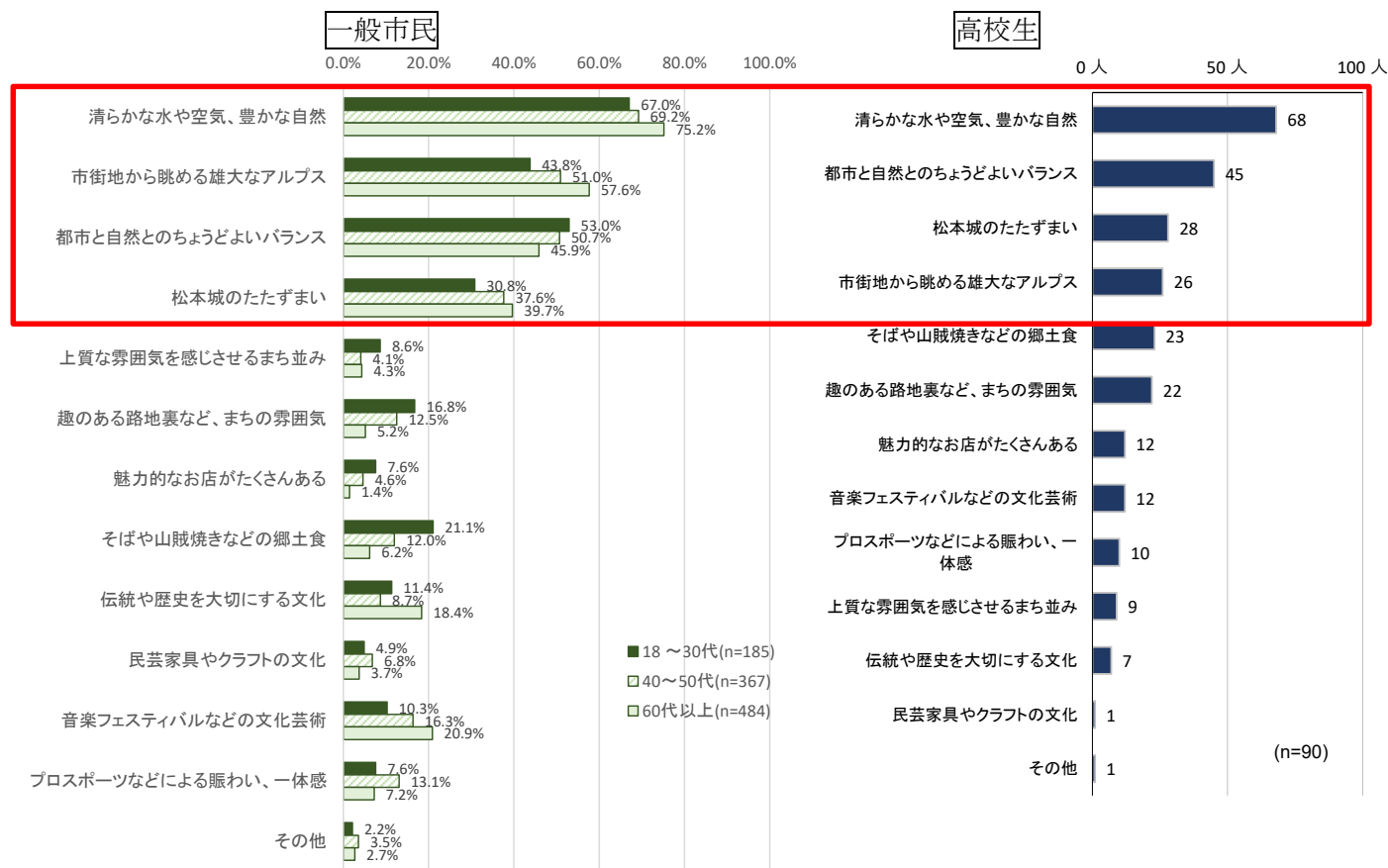
松本市の魅力としては、「自然」と「歴史・文化」が幅広い世代から支持されている。これらの魅力は、「今後も大切にすべき松本らしさ」として挙げられた自由記述の回答内容とも類似しており、後世に引き継ぐべき松本の強みであるといえる。

「自然」に関する項目としては、標高が高く山々に囲まれた松本での暮らしの中で感じられる「清らかな水や空気、豊かな自然」といった自然の恵み、「市街地から眺めることのできる雄大なアルプス」といった景観の良さ、「都市と自然のちょうどよいバランス」といった都市と自然の共存が魅力として上位に挙がっていた。「今後も大切にすべき松本らしさ」としても、同様の意見が挙がっている。

「歴史・文化」に関する魅力としては、「松本城のたたずまい」が上位に挙げられている。「大切にすべき松本らしさ」の自由記述でも、松本城を中心とする城下町や歴史ある街並みを大切にすべきという意見が多く、松本城はそのシンボルとなっている。

「自然」や「歴史・文化」はすぐに形成される魅力ではなく、長い年月の中で育まれてきたものである。他地域ではまねることができないものであり、これから先も維持すべき強みといえる。

図表 98 年代別 松本市の魅力(3つまで回答)【再掲】

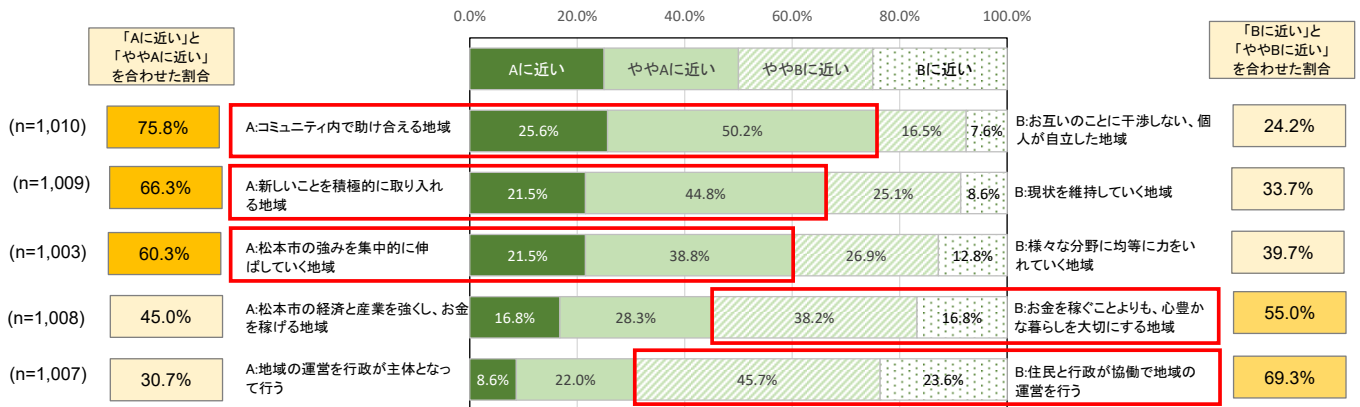


## ②今後のまちづくり

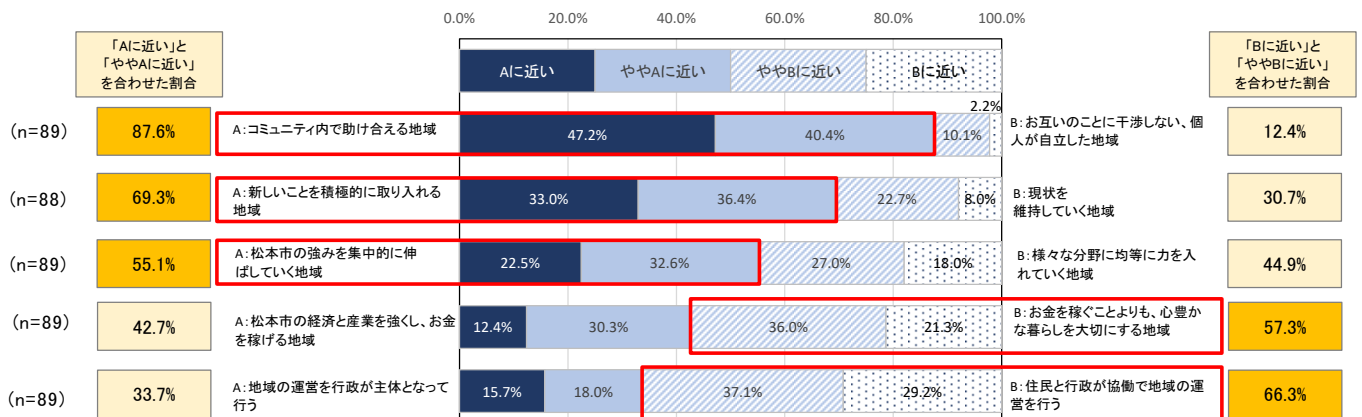
「これからの10年間を見据え、松本市が目指すべき地域」を聞いたところ、地域でのコミュニティを大切に、支え合い、新しい取組みに挑戦する、個性あふれる地域が望まれている傾向にある。特に「コミュニティ内で助け合える地域」に関しては高校生及び18歳以上の市民どちらにおいても重視する回答者が多い項目となっている。

これからの10年間で、松本市はどのようなまちになってほしいかという自由意見を整理すると、「高齢者にやさしい」「暮らしやすく、住みやすい」まちを求める意見が多い。また、公共交通網の充実や市内の渋滞解消など、特に市内の移動に関する「インフラ網の整備」や「若者の雇用創出」などの産業育成も力を入れるべきという意見があった。

図表 99 これからの10年間を見据え、松本市が目指すべき地域【再掲】



図表 100 これからの10年間を見据え、松本市が目指すべき地域【高校生】【再掲】



## (2)改善が必要と感じている政策、重視する取組み

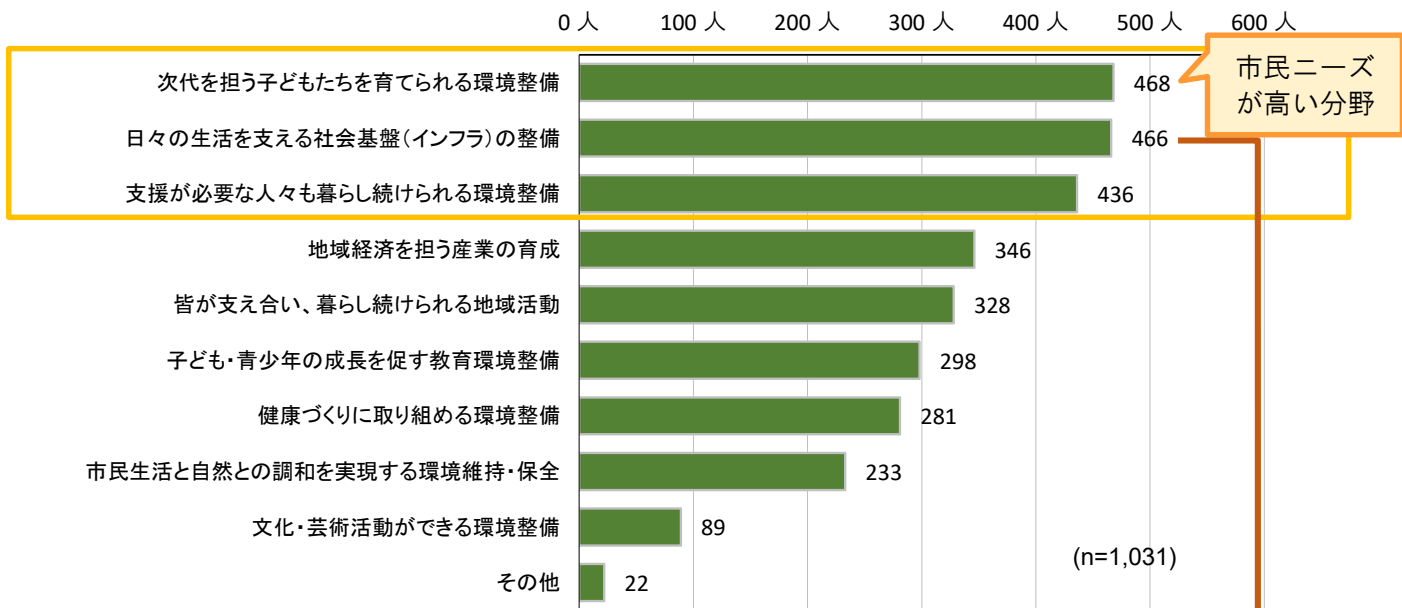
### ①改善が必要と感じている政策

改善が必要と感じている取組みとしては「次代を担う子どもたちを育てられる環境整備」「日々の生活を支える社会基盤（インフラ）の整備」「支援が必要な人々も暮らし続けられる環境整備」を挙げる人が多く、次いで「地域経済を担う産業の育成」が多い。

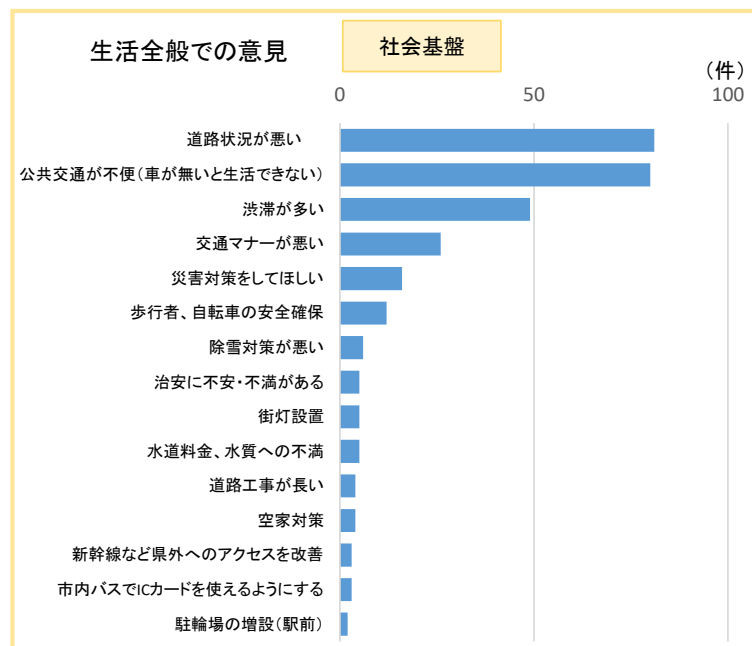
男女別に見ると、「支援が必要な人々も暮らし続けられる環境整備」は女性に、より重視される傾向にある。また「地域経済を担う産業の育成」は男性に、より重視されている。

生活全般に関する意見等をみると、道路状況や公共交通の不便さなどインフラに関する意見が突出して多い。

図表 101 松本市で生活する中で改善が必要と感じている取組み(3つまで回答)【再掲】



図表 102 生活全般での意見[自由記述を整理]【一部を再掲】



## ②各政策で重視する取組み

図表 103 は、各政策分野でさらに力を入れるべき取組みについて、最も回答割合が高い項目とそこから5%以内に入る項目を整理し、それらの項目に対応する平成30年度の市民満足度調査の結果を示したものである。

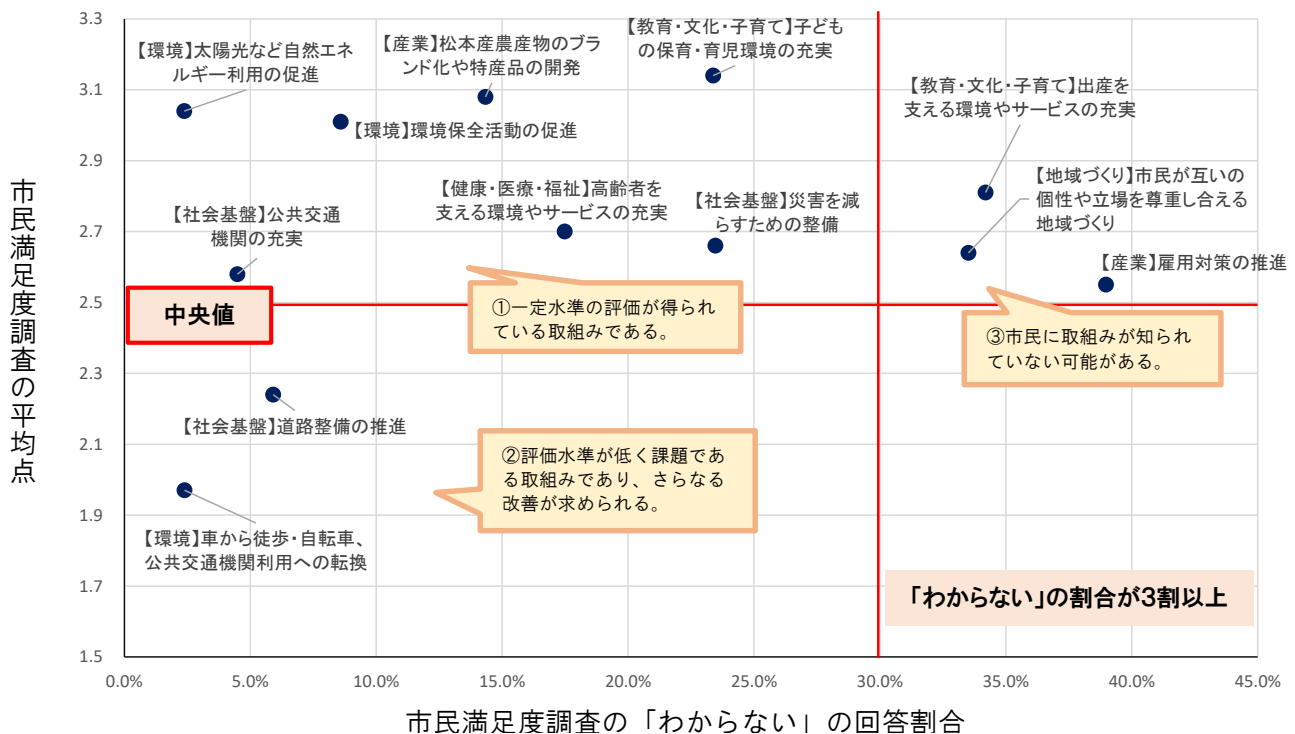
図表 103 各政策分野でさらに力を入れる取組みと市民満足度調査との関係

令和元年度 市民意識調査		平成30年度 市民満足度調査		
各政策分野でさらに力を入れるべき取組み	回答割合	対応する調査項目	平均点	「わからない」の回答割合
【健康・医療・福祉】高齢者を支える環境やサービスの充実	55.0%	高齢者が暮らしやすいまちである	2.7	17.5%
【教育・文化・子育て】子どもの保育・育児環境の充実	54.0%	安心して子どもを預けることができる保育園・幼稚園・認定こども園がある	3.1	23.4%
【教育・文化・子育て】出産を支える環境やサービスの充実	49.0%	出産や育児を支えるための環境（体制）やサービスを感じたり、見かける	2.8	34.2%
【環境】環境保全活動の促進	48.3%	自然や環境が守られている	3.0	8.6%
【環境】車から徒歩・自転車、公共交通機関利用への転換	47.1%	すすんで公共交通を利用している	2.0	2.4%
【環境】太陽光など自然エネルギー利用の促進	44.6%	省エネに積極的に取り組んでいる	3.0	2.4%
【産業】雇用対策の推進	44.4%	安心して持続的に働ける労働環境を確保する取り組みが行われている	2.6	39.0%
【産業】松本産農産物のブランド化や特産品の開発	44.4%	「松本一本ねぎ」など、松本産農産物のブランド化が行われている	3.1	14.3%
【地域づくり】市民が互いの個性や立場を尊重し合える地域づくり	57.5%	市民が互いの個性や立場を尊重し合える地域である	2.6	33.5%
【社会基盤】災害を減らすための整備	47.2%	防災・減災の備えが整っている	2.7	23.5%
【社会基盤】公共交通機関の充実	46.0%	生活する上で必要最小限の公共交通が確保されている	2.6	4.5%
【社会基盤】道路整備の推進	44.6%	移動しやすい道路網が整備されている	2.2	5.9%

市民が重視している取組みと、これまでの評価水準との関係を見るため、上記の対応をもと図表 104 では、縦軸に市民満足度調査の平均点、横軸に「わからない」の回答割合を示した。

さらに力を入れるべき取組みの中には、①一定水準の評価が得られている取組み、②評価が低く以前から課題になっている取組み、③判断できるほど市民に取組みが知られていないものがあるといえる。

図表 104 各政策分野でさらに力を入れる取組みにおける市民満足度調査の結果



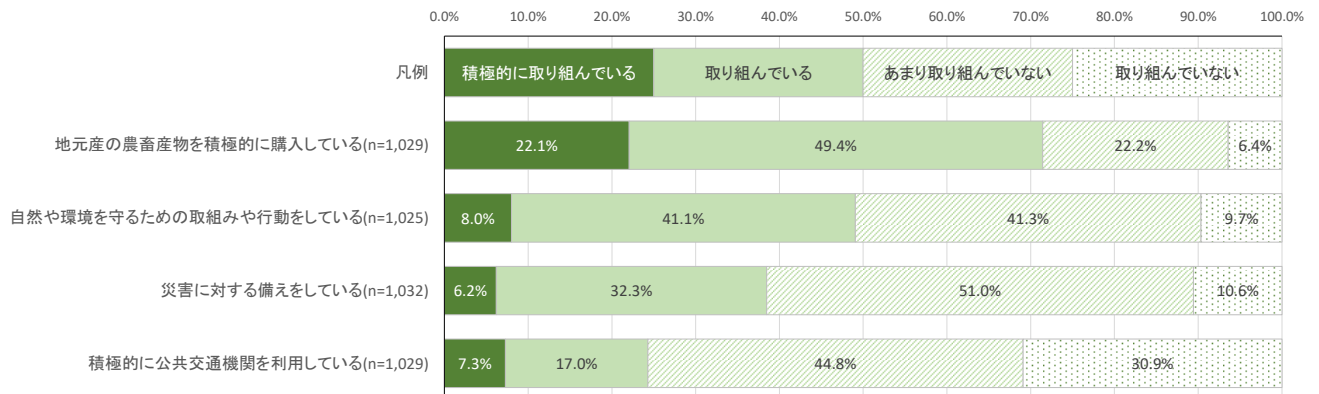
図表 105 は市民が重視している取組みと、日常生活における市民の参加状況を整理したものである。市民取組みへの参加状況を見ると、「地元産の農畜産物を積極的に購入している」に関しては取り組んでいる層が71.4%、「自然や環境を守るための取組みや行動をしている」は49.1%となっている。

一方、「災害に対する備えをしている」は38.5%、「積極的に公共交通機関を利用している」は24.3%と取り組んでいる市民は4割未満である。減災・防災や公共交通は市民の行動が重要な分野であり、市民の行動を促進していくことが求められる。

図表 105 政策分野ごとにさらに力を入れる取組みに対応する市民の参加状況

各政策分野でさらに力を入れるべき取組み	回答割合	日常生活における参加状況	回答割合
【産業】松本産農産物のブランド化や特産品の開発	44.4%	地元産の農畜産物を積極的に購入している	71.4%
【環境】環境保全活動の促進	48.3%	自然や環境を守るための取組みや行動をしている	49.1%
【環境】車から徒歩・自転車、公共交通機関利用への転換	47.1%	積極的に公共交通機関を利用している	24.3%
【社会基盤】災害を減らすための整備	47.2%	災害に対する備えをしている	38.5%
【社会基盤】公共交通機関の充実	46.0%	積極的に公共交通機関を利用している	24.3%

図表 106 日常生活における市民の取組みへの参加状況の項目



年代別、さらに力を入れる取組みにみると傾向に違いが見られた。自身が直面する課題を重視する傾向にあった。

図表 107 年代別 各政策分野で最も支持されているさらに力を入れる取組みの回答割合

	18~30代	40~50代	60代以上
改善が必要な分野	次代を担う子どもたちを育てられる環境整備 59.7%	日々の生活を支える社会基盤（インフラ）の整備 53.0%	支援が必要な人々も暮らし続けられる環境整備 45.8%
健康・医療・福祉	日常生活において、必要な医療を受けることができる環境づくり 43.0%	高齢者を支える環境やサービスの充実 57.0%	高齢者を支える環境やサービスの充実 60.0%
教育・文化・子育て	子どもの保育・育児環境の充実 66.5%	子どもの保育・育児環境の充実 47.1%	子どもの保育・育児環境の充実 54.7%
環境	ポイ捨て防止など衛生環境の向上 46.5%	環境保全活動の促進 51.2%	車から徒歩・自転車、公共交通機関利用への転換 48.3%
産業	雇用対策の推進 44.3%	雇用対策の推進 48.8%	松本産農産物のブランド化や特産品の開発 45.4%
地域づくり	市民が互いの個性や立場を尊重し合える地域づくり 50.5%	市民が互いの個性や立場を尊重し合える地域づくり 54.7%	市民が互いの個性や立場を尊重し合える地域づくり 63.1%
社会基盤	災害を減らすための整備 46.3%	公共交通機関の充実 50.0%	災害を減らすための整備 49.2%

### (3)生活の暮らし向きや満足度、定住意向

#### ①暮らしの満足度

松本市における総合的な暮らしの満足度は、「満足している」「どちらかといえば満足している」を合わせた割合が86.0%と高い水準となっている。内閣府が毎年実施している「国民生活に関する世論調査」の全国平均や松本市が含まれる東山地域の満足度よりも高い水準で推移しており、全国的に松本市の暮らしの満足度は高い水準にあるといえる。

しかし、経年比較するとやや低下しているが、本年度の市民意識調査は、長野県に大規模な被害をもたらした台風19号の発生後に実施しており、このような災害も満足度を低下させる遠因になっていると考えられる。

なお、基本構想2020における満足度の当初基準値は71.9%（平成21年）となっている。それに対し、平成24年から満足度は90%前後で推移しており、構想期間中に市民の満足は向上したといえる。

ただし、第10次基本計画における満足度の目標値は90.9%に対するさらなる向上と設定されていることから引き続き、市民の満足度向上に向けた努力が必要といえる。

#### ■不満足度が高い人は雇用状況や所得や資産に関する不安を抱き、「食生活」「住環境」「生活環境」に強く不満を感じている

個別の不満を感じている人ほど暮らしの満足度が下がる傾向にあり、特に「食生活」「住生活」「生活環境」に不満を抱いている回答者ほど、総合的な暮らしの満足度が低くなっている。また、不満足度が高い人ほど、自身を巡る将来について気になることとして「雇用状況」や「所得や資産の格差」を挙げている傾向にあった。

#### ■満足・不満の理由

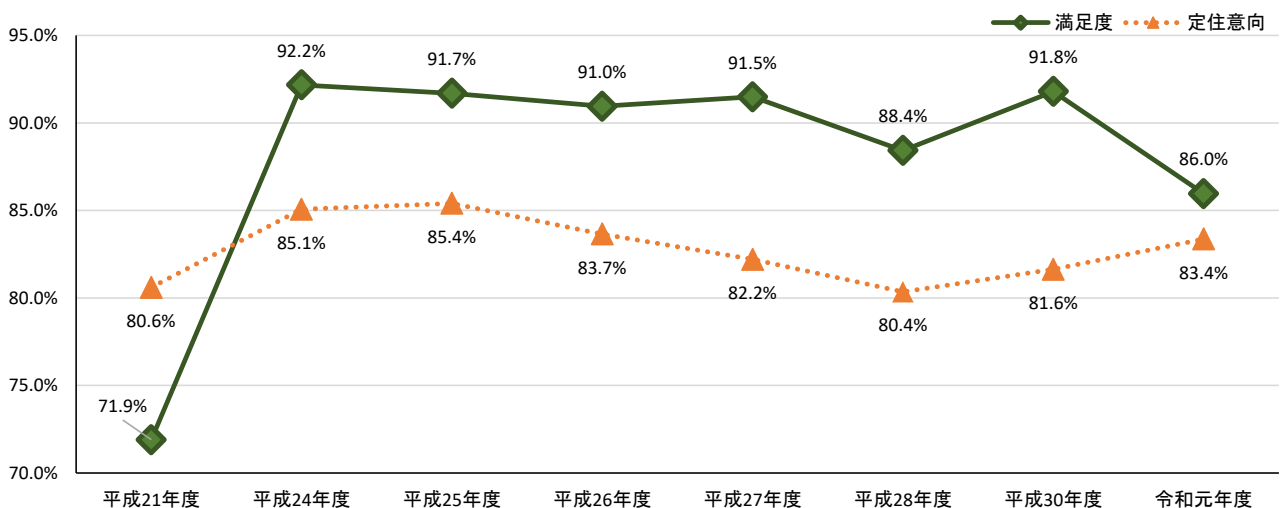
暮らしに満足している理由について自由記述を分析すると、「自然の豊かさ」などの環境分野、「災害の少なさ」、「交通の利便性の良さ」、「商業が盛ん」などの社会基盤分野、「住みやすい、住み慣れた場所である」などの地域分野に関する意見が多い。

一方、不満足な理由をみると「移手段への不安」、「道路状況」、「渋滞・混雑」など社会基盤分野に関する意見が突出して多く、「移動環境」に関し、公共交通利用など市民の意識啓発も含め、改善が求められているといえる。

#### ②定住意向は上昇

定住意向は（「永住したい」「当分住み続けたい」を合わせた割合）は、本年度83.4%と高い水準にある。特に20～30代の若年層で平成24年度と比較して上昇している。経年で見ると83%前後と高い数値で推移しており、基本構想2020の当初基準値も80.6%（平成21年）より上昇している。ただし、第10次基本計画における定住意向の目標値は85.0%以上となっていることから引き続き、住みよい、暮らし続けたい松本市を目指し、努力が必要といえる。

図表 108 経年比較 松本市の暮らしの満足度と定住意向



出典：平成21年度の数値は松本市総合計画（基本構想2020・第9次基本計画）平成24～30年は市民満足度調査

### ③市民の松本市での暮らしに対する評価の総括

基本構想 2020 の期間中、暮らしに対する総合的な満足度は 90%前後、定住意向についても 83%前後と、双方高い水準で推移している。また、満足度については、国よりも高い水準で推移していることなどを踏まえると基本構想 2020 期間中の市政は市民に概ね評価されていたといえる。

今後 10 年間、様々な国際情勢や社会情勢から社会・生活環境や雇用環境の不透明さが増すと予測される。次期基本構想 2030 においては、明確なビジョンとこれら予測の難しい変化に対する柔軟性（レジリエンス）の高い市政が求められる。

なお、特に満足度は市政の影響を受けるだけでなく、社会情勢に対しても強い影響を受けることから、社会情勢の変化に影響を受けにくい目標値設定なども必要といえる。



#### (4) 高校生の卒業後の進路や地元就職意向

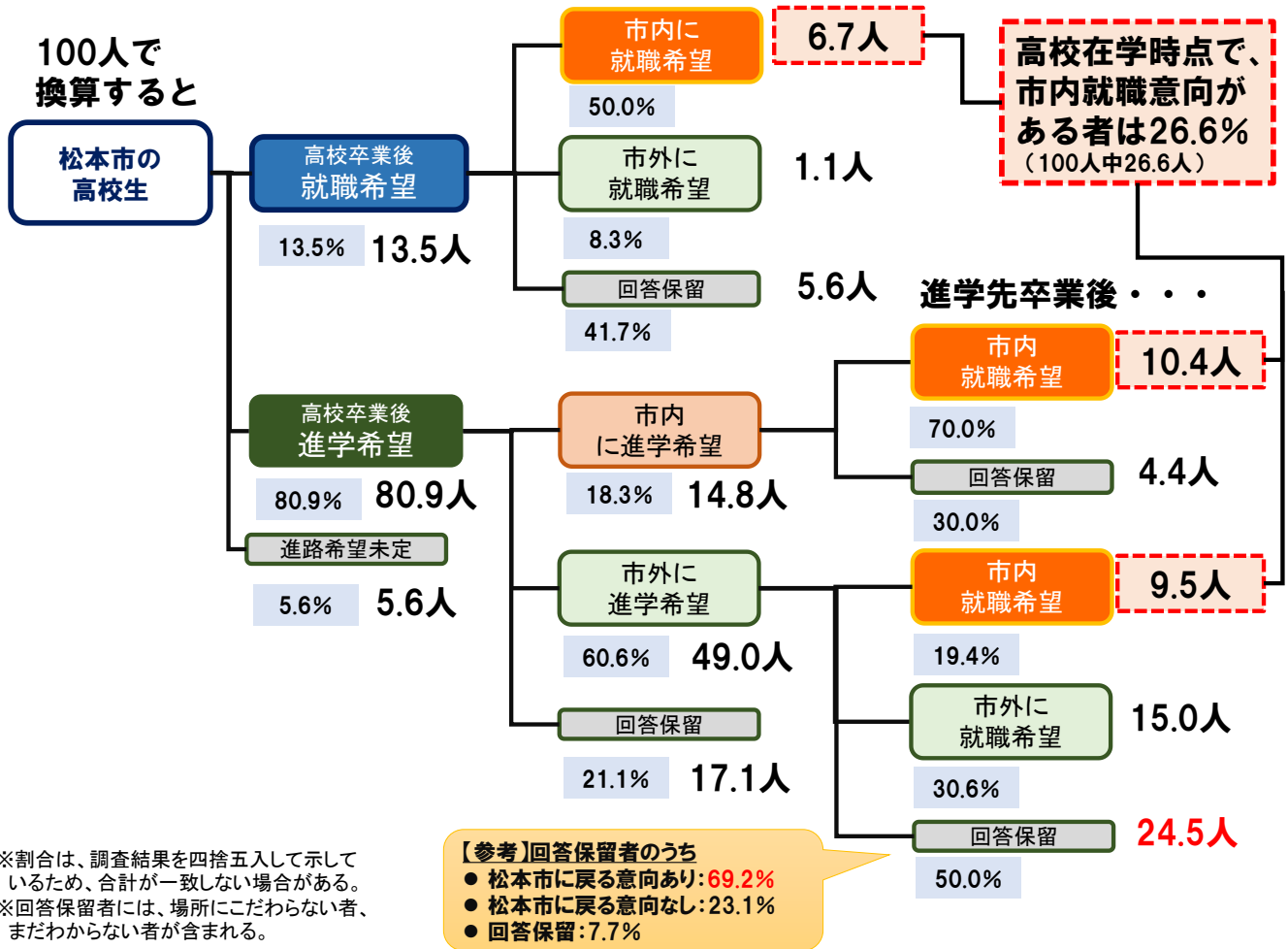
図表 109 は、松本市内に住む高校生に高校卒業後の進路と就職先の地域に関する意向を聞いた結果を整理したものである。高校卒業後に就職を希望する者は 13.5% であり、そのうち、50.0% が市内での就職を希望している。

高校卒業後に進学を希望する者は 80.9% である。そのうち、市内への進学希望者が 18.3%、市外への進学希望者が 60.6% である。進学先卒業後に、松本市での就職を希望する者は、市内への進学希望者のうち 70.0%、市外進学希望者のうち 20.6% となっている。市外への進学希望者が多い中、市内での就職意向を明確に示す者はわずかであり、多くが就職希望地域が決まっていないと回答している。

これら比率を、高校生 100 人あたりに換算すると、現時点で明確な市内就職意向がある者は 26.6 人である。

松本市近郊の会社を「よく知っている」「ある程度知っている」との回答は 3 割未満となっていることから、市内の高校生に対して松本市近郊の会社の認知度を高め、松本出身者の松本市への定住及び U ターンの促進を図ることが重要である。

図表 109 高校生の地元就職に関する意向(アンケート結果を集計した全体像)



※割合は、調査結果を四捨五入して示しているため、合計が一致しない場合がある。  
 ※回答保留者には、場所にこだわらない者、まだわからない者が含まれる。

#### (5) まちづくりへの参加状況や地域情報の入手方法

まちづくりへの参加について、「現在、取り組んでいる」との回答者の割合は、「今後、取り組みたい」とする回答者の割合の 3 割前後となっている。「今後、取り組みたい」とする活動は、「意見や要望は町会長や行政関係者に伝えている」が最も多く、ついで「松本や地域を良くする活動を自主的に実施している」、「行政の呼びかけに応じて地域課題を解決する取組みに参加している」と続いている。

まちづくりや地域に関する情報の入手先としては、「広報まつもと(紙媒体)」「回覧板」「新聞記事」が中心となっている。一方、インターネットや SNS でまちづくりに関する情報を入手しているとの回答は高校生や 18 歳~30 代でも少ない。

市民に対してまちづくりや地域に関する情報をより効果的に幅広い世代に届けるため、インターネットや SNS の活用を含めて、市民に情報を届けるための仕組みづくりを検討していくことが求められる。

## 松本市総合計画策定に係る 市民意識調査への御協力をお願い

日頃は、松本市政に、ご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

松本市では、「健康寿命延伸都市・松本」を将来の都市像として掲げ、「人」、「生活」、「地域」、「環境」、「経済」、そして「教育・文化」の6つの領域における、人と社会の健康の実現を目指した総合的なまちづくりを、基本構想2020・第10次基本計画に基づき進めてきました。

この計画が令和2年度で満了することに伴い、新たな総合計画（基本構想2030・第11次基本計画）を策定します。より魅力あふれる新しい松本市の創造を着実に進める計画とするため、生活の中で皆さまが感じになっていることや、日々取り組まれていることをお聞きする調査を実施することとしました。

つきましては、趣旨をお汲み取りいただき、調査にご協力くださいますようお願い申し上げます。

同封の別資料にて、松本市を取り巻く環境を、人口と財政の視点から紹介しています。これらの情報も参考にさせていただきながら、忌憚ないご意見をお寄せいただければ幸いです。

なお、本調査は匿名回答であり、回答結果は、すべての調査票を集計した上で統計的な処理を行いますので、個人が特定されることはございません。

また、調査結果は、市政向上の目的以外に使用することにはございませんので、どうぞご安心いただき、率直なご意見をご記入ください。

### ■ご記入にあたってのお願い

本調査は、市民の皆さまのご意見をできる限り正確に把握するために、住民基本台帳から無作為に選んだ2,700人の皆さまに送付しています。**必ず「宛名のご本人」様**がお答えください。

無作為抽出のため、ご病気等によりご回答いただけない方にも届いてしまう場合がございますので、その際はご容赦くださいますようお願いいたします。

ご記入が終わりましたら、お手数ですが、同封の封筒(切手不要)にお入れいただき、**令和元年12月20日(金)**までに、お近くのポストへご投函ください。

### アンケートに関するお問い合わせ先

松本市役所 政策部 政策課  
TEL：0263-34-3274（直通）  
FAX：0263-34-3201



※本調査は、専門調査機関である特定非営利活動法人SCOPに委託して実施しています。

調査委託先：特定非営利活動法人SCOP  
TEL：0263-36-9180  
FAX：0263-36-9185

# 1 あなたご自身のことについて伺います。

問1 あなたの性別をご回答ください。(あてはまる番号1つに〇)

- |       |       |        |
|-------|-------|--------|
| 1. 男性 | 2. 女性 | 3. その他 |
|-------|-------|--------|

問2 年代をご回答ください。(あてはまる番号1つに〇)

- |            |           |
|------------|-----------|
| 1. 18～19 歳 | 5. 50 代   |
| 2. 20 代    | 6. 60 代   |
| 3. 30 代    | 7. 70 代以上 |
| 4. 40 代    |           |

問3 居住地区をご回答ください(あてはまる番号1つに〇)

- |         |          |           |           |
|---------|----------|-----------|-----------|
| 1. 第1地区 | 10. 田川地区 | 19. 神林地区  | 28. 今井地区  |
| 2. 第2地区 | 11. 庄内地区 | 20. 笹賀地区  | 29. 内田地区  |
| 3. 第3地区 | 12. 鎌田地区 | 21. 芳川地区  | 30. 本郷地区  |
| 4. 東部地区 | 13. 松南地区 | 22. 寿地区   | 31. 安曇地区  |
| 5. 中央地区 | 14. 島内地区 | 23. 松原地区  | 32. 奈川地区  |
| 6. 城北地区 | 15. 中山地区 | 24. 寿台地区  | 33. 梓川地区  |
| 7. 安原地区 | 16. 島立地区 | 25. 岡田地区  | 34. 四賀地区  |
| 8. 城東地区 | 17. 新村地区 | 26. 入山辺地区 | 35. 波田地区  |
| 9. 白板地区 | 18. 和田地区 | 27. 里山辺地区 | 36. わからない |

問4 家族構成をご回答ください。「一人暮らし」「同居家族がいる」のどちらかを選択ください。

- |   |
|---|
| 1. 一人暮らし  |
| 2. 同居家族がいる⇒(現在、同居している方 <u>すべてに〇</u> をつけてください)   |
| ①配偶者                      ③親                      ⑤兄弟姉妹                      ⑦その他(                      ) |
| ②子ども                      ④孫                      ⑥祖父母  |

問5 高校生以下のお子さんがある保護者の方は、同居しているお子さんについて、あてはまる番号すべてに〇を付けてください。高校生以下のお子さんがいない場合は「6」を選択ください。

- |                                |
|--------------------------------|
| 1. 幼稚園・保育園・認定こども園に入園する前        |
| 2. 幼稚園・保育園・認定こども園に通っている        |
| 3. 小学校に通っている                   |
| 4. 中学校に通っている                   |
| 5. 高校に通っている                    |
| 6. 同居している高校生以下の子どもはいない         |
| 7. その他(                      ) |

**問6 あなたの職業をご回答ください。(あてはまる番号1つに○)**

1. 会社員 2. 団体職員 3. 公務員	→問7へ	4. 自営業 5. 農林業 6. 主婦・主夫 7. アルバイト・パート 8. 学生 9. 無職 10. その他 ( )	→問8へ
-----------------------------	------	---	------

**問7 問6で「会社員」「団体職員」「公務員」と回答した方に伺います。**

あなたの現状の雇用形態をご回答ください。(あてはまる番号1つに○)

1. 正社員	2. 契約社員	3. 派遣社員	4. その他 ( )
--------	---------	---------	------------

**問8 【すべての方がお答えください】あなたの世帯は、今後市外への転出を伴う転勤がありますか。(あてはまる番号1つに○)**

1. 市外から転勤してきており、数年後に転勤する 2. 市内で就職したが、数年後転勤する可能性がある 3. 市外への転出を伴う転勤はない 4. その他 ( )
--

**問9 松本市での居住年数についてご回答ください。居住年数は一時的な転出を除き、実際に生活した期間の合計年数をお答えください。また、松本市に合併前の地域での居住年数も含めてお書きください。(あてはまる番号1つに○)**

1. 1年未満	5. 20～30年未満
2. 1～5年未満	6. 30～40年未満
3. 5～10年未満	7. 40～50年未満
4. 10～20年未満	8. 50年以上

**問10 出身地についてご回答ください。出身地は15歳までに最も長く住んでいた場所とします。(あてはまる番号1つに○)**

1. 松本市
2. 県内市外 ( _____ 市・町・村)
3. 県外 ( _____ 都・道・府・県 / _____ 市・区・町・村)
4. 国外
5. その他 ( _____ )

**問11 現在のお住まいの状況についてご回答ください。(あてはまる番号1つに○)**

1. 借家(戸建て住宅)	5. 社宅(戸建て住宅)
2. 借家(マンション・アパート)	6. 社宅(マンション・アパート)
3. 持ち家(戸建て住宅)	7. その他 ( _____ )
4. 持ち家(マンション・アパート)	

## II 暮らしの満足度や定住意向などについて伺います。

問12 あなたは松本市での暮らしに満足していますか。そのように感じる理由もあわせてご回答ください。  
(あてはまる番号1つに○)

1. 満足している	2. どちらかといえば満足している	3. どちらかといえば不満である	4. 不満である
上記のように感じる理由			

問13 松本市での暮らしにおけるそれぞれの場面について、どの程度、満足していますか。  
(それぞれについて、あてはまる番号1つに○)

	満足している	やや満足している	やや不満である	不満である	どちらともいえない	わからない
A) 所得・収入	1	2	3	4	5	6
B) 資産・貯蓄	1	2	3	4	5	6
C) 食生活	1	2	3	4	5	6
D) ワークライフ・バランス ／学業と暮らしのバランスなど	1	2	3	4	5	6
E) 住生活	1	2	3	4	5	6
F) 生活環境	1	2	3	4	5	6

問14 あなたは松本市に住み続けたいと思いますか。住み続けたいかどうかは、転勤などの予定に関係なく、あなたの希望をご回答ください。(あてはまる番号1つに○)

1. 永住したい
2. 当分住み続けたい
3. どちらともいえない
4. 転出したい
5. その他 ( )

問15 人口減少や高齢化の進行が予想される中、現在の生活環境やコミュニティを維持していくことが困難になることも予想されています。今後の居住地についてどのように考えていますか。  
(あてはまる番号1つに○)

1. 人口減少等が進み、環境が変化することが予想されるが、現在の居住地に住み続けたい
2. 人口減少等が進んでもあまり影響がない場所であるため、現在の居住地に住み続けたい
3. 市街地における利便性がよい場所に住み替えたい
4. 近隣市町村の利便性がよい場所に転居したい
5. 大都市（東京、名古屋など）に転居したい
6. その他 ( )

**問16 日頃の生活をする中で、充実感を感じていますか。(あてはまる番号1つに○)**

1. 十分充実感を感じている
2. やや充実感を感じている
3. あまり充実感を感じていない
4. ほとんど(全く)充実感を感じていない
5. どちらともいえない
6. わからない

**問17 あなたの暮らし向きは今後どのように変化すると感じていますか。**

そのように感じる理由もあわせてご回答ください。(あてはまる番号1つに○)

1. より良くなっていく
2. 今よりは良くなる
3. 今と変わらない
4. 今よりは悪くなる
5. より悪くなっていく
6. わからない

上記のように感じる理由

**問18 ご自身を巡る将来について、どのようなことが気になりますか。(あてはまる番号すべてに○)**

1. 子育て、教育に対する負担
2. 自分や家族の健康状態
3. 雇用状況
4. 所得や資産の格差
5. 社会保障や教育などの公的サービスの水準
6. 道路などの社会基盤
7. 国や地方の財政状況
8. 日本経済の先行き
9. 地域社会の先行き
10. 大地震などの大規模な自然災害の発生
11. 犯罪の増加
12. 自然や環境の汚染
13. その他 ( )
14. わからない
15. 特にない

### III 松本市の魅力や今後のまちづくりについて伺います。

問19 あなたが感じる松本市の魅力はどのようなところですか。3つまで番号をご記入ください。

1 番目	2 番目	3 番目
1. 清らかな水や空気、豊かな自然 2. 市街地から眺める雄大なアルプス 3. 都市と自然とのちょうどよいバランス 4. 松本城のたたずまい 5. 上質な雰囲気を感じさせるまち並み 6. 趣のある路地裏など、まちの雰囲気 7. 魅力的なお店がたくさんある 8. そばや山賊焼きなどの郷土食 9. 伝統や歴史を大切にする文化 10. 民芸家具やクラフトの文化 11. 音楽フェスティバルなどの文化芸術活動 12. プロスポーツなどによる賑わい、一体感 13. その他		

問20 これからの 10 年間を見据え、松本市はどのような地域を目指すべきだと思いますか。次の項目の A と B の意見について、あなたのお考えに近い番号をご回答ください。

(それぞれについて、あてはまる番号1つに○)

A	Aに近い	ややAに近い	ややBに近い	Bに近い	B
(1) A：松本市の強みを集中的に伸ばしていく地域	1	2	3	4	B：様々な分野に均等に力をいれていく地域
(2) A：新しいことを積極的取り入れる地域	1	2	3	4	B：現状を維持していく地域
(3) A：松本市の経済と産業を強くし、お金を稼げる地域	1	2	3	4	B：お金を稼ぐことよりも、心豊かな暮らしを大切にする地域
(4) A：地域の運営を行政が主体となっていく	1	2	3	4	B：住民と行政が協働で地域の運営を行う
(5) A：コミュニティ内で助け合える地域	1	2	3	4	B：お互いのことに干渉しない、個人が自立した地域

問21 今後も大切にすべき「松本らしさ」とはどのようなことだと思いますか。  
ご自由にお書きください。

問22 これからの10年間で、松本市はどのようなまちになってほしいですか。ご自由にお書きください。  
(キーワードやキャッチフレーズなどでも結構です。)

問23 その他、生活全般で何かご意見がありましたらお書きください。



## IV 松本市が今後、重視すべき取組みについて伺います。

問24 今後を見据え、松本市で生活する中で改善が必要と感じている取組みについて、3つまで番号をご記入ください。

1 番目	2 番目	3 番目
1. 健康づくりに取り組める環境整備 2. 支援が必要な人々も暮らし続けられる環境整備 3. 文化・芸術活動ができる環境整備 4. 子ども・青少年の成長を促す教育環境整備 5. 次代を担う子どもたちを育てられる環境整備 6. 皆が支え合い、暮らし続けられる地域活動 7. 地域経済を担う産業の育成 8. 日々の生活を支える社会基盤（インフラ）の整備 9. 市民生活と自然との調和を実現する環境維持・保全 10. その他（ )		

問25 「健康・医療・福祉」分野で、さらに力を入れるべき取組みについて、3つまで番号をご記入ください。

1 番目	2 番目	3 番目
1. 健康について考え、実践できる環境づくり 2. 各種健診（検診）受診向上対策 3. 食育の推進 4. ストレスや悩みを抱えたときに相談できる場所づくり 5. 日常生活において、必要な医療を受けることができる環境づくり 6. 夜間、休日など、緊急時に必要な医療を受けることができる環境づくり 7. 高齢者を支える環境やサービスの充実 8. 障がい者を支える環境やサービスの充実 9. 経済的な問題を抱える家庭への支援 10. その他（ )		

問26 「教育・文化・子育て」分野で、さらに力を入れるべき取組みについて、3つまで番号をご記入ください。

1 番目	2 番目	3 番目
1. 出産を支える環境やサービスの充実 2. 子どもの保育・育児環境の充実 3. 小中学校教育の充実 4. 小中学生の豊かな心を育むための、地域における活動の促進 5. 生涯学習の機会や環境整備の推進 6. スポーツの機会や環境整備の推進 7. 文化芸術活動の促進 8. 地域の伝統や文化の保存・継承 9. その他 ( )		

問27 「地域づくり」分野で、さらに力を入れるべき取組みについて、3つまで番号をご記入ください。

1 番目	2 番目	3 番目
1. シティプロモーションの実施 2. 移住・交流の促進 3. 平和に向けた取組みが盛んに行われる地域づくり 4. 市民が互いの個性や立場を尊重し合える地域づくり 5. 多文化共生への理解の促進 6. 住民主体の地域づくりの促進 7. 地域での支えあい活動の促進 8. 地域による自主的な防犯活動や防災活動の促進 9. その他 ( )		

問28 「産業」分野で、さらに力を入れるべき取組みについて、3つまで番号をご記入ください。

1 番目	2 番目	3 番目
1. 伝統技能の継承に向けた人材育成・組織づくり 2. 中心市街地の活性化 3. 山岳観光の推進 4. 雇用対策の推進 5. 農林業の振興 6. 商業の振興 7. 工業の振興 8. 松本産農産物のブランド化や特産品の開発 9. 新しい産業の創出支援 10. 観光誘客の促進 11. その他 ( )		

問29 「社会基盤」分野で、さらに力を入れるべき取組みについて、3つまで番号をご記入ください。

1 番 目	2 番 目	3 番 目
1. 空き家対策 2. 景観維持・保全活動の促進 3. 農地や自然とのバランスがとれた都市開発 4. 災害を減らすための整備 5. 道路整備の推進 6. 交通マナーの向上に向けた取組み 7. 公共交通機関の充実 8. 下水道整備の推進 9. 水道水の安定供給 10. その他 ( )		

問30 「環境」分野で、さらに力を入れるべき取組みについて、3つまで番号をご記入ください。

1 番 目	2 番 目	3 番 目
1. 太陽光など自然エネルギー利用の促進 2. 車から徒歩・自転車、公共交通機関利用への転換 3. ごみの減量や分別の促進 4. ポイ捨て防止など衛生環境の向上 5. 環境保全活動の促進 6. 森林環境整備の推進 7. 市街地の緑化活動の促進 8. その他 ( )		

## V 日常生活や地域活動への参加状況について伺います。

問31 日常生活において、次のような活動や取組みへのあなたの関わり方についてご回答ください。  
 (それぞれについて、あてはまる番号1つに〇)

	積極的に 取り組んで いる	取り組んで いる	あまり取り 組んでいない	取り組んで いない
A) 健康づくりに継続的に取り組んでいる	1	2	3	4
B) 地域で行われている活動やボランティア活動に参加している	1	2	3	4
C) 地域の人と積極的に関わりを持っている	1	2	3	4
D) 災害に対する備えをしている	1	2	3	4
E) 交通マナーを意識しながら、移動をしている	1	2	3	4
F) 積極的に公共交通機関を利用している	1	2	3	4
G) 資源化や分別でごみの減量を行っている	1	2	3	4
H) 自然や環境を守るための取組みや行動をしている	1	2	3	4
I) 市街地の緑化活動を行っている	1	2	3	4
J) 仕事と健康のバランスを取りながら働いている	1	2	3	4
K) 地元産の農畜産物を積極的に購入している	1	2	3	4
L) できるだけ地元の商店で買い物をしている	1	2	3	4
M) 家族で食事をするなど、食育に取り組んでいる	1	2	3	4
N) 外国人住民と交流をするイベント等に参加している	1	2	3	4
O) 子どもの権利について理解し、尊重している	1	2	3	4
P) 生涯学習や文化活動に取り組んでいる	1	2	3	4
Q) 継続的にスポーツに親しんでいる	1	2	3	4
R) インターネットなどを通じて松本市のことを発信している	1	2	3	4

## VI まちづくりへの参加状況や地域情報の入手方法などについて伺います。

問32 あなたも含め、あなたの身の回りで暮らしに不安を感じている次のような方はいますか。  
(あてはまる番号すべてに○)

- |                    |             |
|--------------------|-------------|
| 1. 子育てに悩む保護者       | 6. 生活困窮者    |
| 2. 子どもへの虐待の兆候がある家庭 | 7. 介護離職     |
| 3. 青年のひきこもり        | 8. 老老介護     |
| 4. 中高年のひきこもり       | 9. 孤立した高齢者  |
| 5. 子育て世帯の貧困        | 10. その他 ( ) |

問33 これからのまちづくりには市民参加が重要であり、市民一人ひとりの取組みが、まちを変えていく大きな力になります。まちづくりへの参加についてのあなたのお考えをご回答ください。  
(あてはまる番号1つに○)

- |                   |              |
|-------------------|--------------|
| 1. 既に参加している       | 5. 参加したくない   |
| 2. 今後、ぜひ参加したい     | 6. どちらともいえない |
| 3. 今後、機会があれば参加したい | 7. その他 ( )   |
| 4. あまり参加したくない     |              |

問34 あなたのまちづくりへの参加の状況について、現在の取組み状況と今後の意向についてご回答ください。(それぞれについて、あてはまる番号1つに○)

	現在の取組み状況		これからも取組み続けたいですか、もしくは今後、取り組もうと思っていますか	
	取り組んでいる	取り組んでいない	取り組みたい	取り組む予定はない
A) 意見や要望は町会長や行政関係者に伝えている	1	2	1	2
B) 市の会議などに参加し、意見や要望を伝えている	1	2	1	2
C) 行政の呼びかけに応じて、地域課題を解決する取組みに参加している	1	2	1	2
D) 行政に呼びかけ、地域課題の解決を行政とともに実施している	1	2	1	2
E) 松本や地域をよくする活動を自主的に実施している	1	2	1	2
F) その他 ( )	1	2	1	2
G) まちづくりには参加していない	1	2	1	2

問35 まちづくりや地域に関する情報をどこから入手していますか。(あてはまる番号すべてに○)

- |                         |  |
|-------------------------|--|
| 1. 広報まつもと (紙媒体)         |  |
| 2. 広報まつもと (Web 媒体)      |  |
| 3. 市のホームページ             |  |
| 4. 市の Twitter           |  |
| 5. 市のアプリ (マチイロ、さんあーるなど) |  |
| 6. 回覧板                  |  |
| 7. ポスター、チラシ             |  |
| 8. テレビ番組                |  |
| 9. 新聞記事 (具体名 )          |  |
| 10. その他 (具体名 )          |  |
| 11. 市や地域の情報は把握していない     |  |

以上で質問はすべて終了です。長時間のご協力、どうもありがとうございました。

## 松本市総合計画策定に係る 市民意識調査への御協力をお願い

日頃は、松本市政に、ご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

松本市では、「健康寿命延伸都市・松本」を将来の都市像として掲げ、「人」、「生活」、「地域」、「環境」、「経済」、そして「教育・文化」の6つの領域における、人と社会の健康の実現を目指した総合的なまちづくりを、基本構想2020・第10次基本計画に基づき進めてきました。

この計画が令和2年度で満了することに伴い、新たな総合計画（基本構想2030・第11次基本計画）を策定します。より魅力あふれる新しい松本市の創造を着実に進める計画とするため、市民の皆さまから広くご意見をお伺いするとともに、特に、松本市の将来を担う高校生の皆さまの考えをお聞きするための調査を実施することとしました。

つきましては、趣旨をお汲み取りいただき、調査にご協力くださいますようお願い申し上げます。

同封の別資料にて、松本市を取り巻く環境を、人口と財政の視点から紹介しています。これらの情報も参考にさせていただきながら、忌憚ないご意見をお寄せいただければ幸いです。

なお、本調査は匿名回答であり、回答結果は、すべての調査票を集計した上で統計的な処理を行いますので、個人が特定されることはございません。

また、調査結果は、市政向上の目的以外に使用することはありませんので、どうぞご安心いただき、率直なご意見をご記入ください。

### ■ご記入にあたってのお願い

本調査は、市民の皆さまのご意見をできる限り正確に把握するために、住民基本台帳から無作為に選んだ皆さまに送付しています。**必ず「宛名のご本人」様**がお答えください。

無作為抽出のため、ご病気等によりご回答いただけない方にも届いてしまう場合がございますので、その際はご容赦くださいますようお願いいたします。

ご記入が終わりましたら、お手数ですが、同封の封筒(切手不要)にお入れいただき、**令和元年12月20日(金)**までに、お近くのポストへご投函ください。

### アンケートに関するお問い合わせ先

松本市役所 政策部 政策課  
TEL：0263-34-3274  
FAX：0263-34-3201

※本調査は、専門調査機関である特定非営利活動法人SCOPに委託して実施しています。

調査委託先：特定非営利活動法人SCOP  
TEL：0263-36-9180  
FAX：0263-36-9185



# I あなたご自身のことについて伺います。

問1 あなたの性別をご回答ください。(あてはまる番号1つに〇)

- |       |       |        |
|-------|-------|--------|
| 4. 男性 | 5. 女性 | 6. その他 |
|-------|-------|--------|

問2 年齢をご回答ください。

歳

問3 居住地区をご回答ください。(あてはまる番号1つに〇)

- |         |          |           |           |
|---------|----------|-----------|-----------|
| 1. 第1地区 | 10. 田川地区 | 19. 神林地区  | 28. 今井地区  |
| 2. 第2地区 | 11. 庄内地区 | 20. 笹賀地区  | 29. 内田地区  |
| 3. 第3地区 | 12. 鎌田地区 | 21. 芳川地区  | 30. 本郷地区  |
| 4. 東部地区 | 13. 松南地区 | 22. 寿地区   | 31. 安曇地区  |
| 5. 中央地区 | 14. 島内地区 | 23. 松原地区  | 32. 奈川地区  |
| 6. 城北地区 | 15. 中山地区 | 24. 寿台地区  | 33. 梓川地区  |
| 7. 安原地区 | 16. 島立地区 | 25. 岡田地区  | 34. 四賀地区  |
| 8. 城東地区 | 17. 新村地区 | 26. 入山辺地区 | 35. 波田地区  |
| 9. 白板地区 | 18. 和田地区 | 27. 里山辺地区 | 36. わからない |

問4 出身地についてご回答ください。出身地は 15 歳までに最も長く住んでいた場所とします。  
(あてはまる番号1つに〇)

- |  |
|--|
| 6. 松本市                                 |
| 7. 県内市外 ( _____ 市・町・村)                 |
| 8. 県外 ( _____ 都・道・府・県 / _____ 市・区・町・村) |
| 9. 国外                                  |
| 10. その他 ( _____ )                      |

## II 暮らしの満足度などについて伺います。

問5 あなたは松本市での暮らしに満足していますか。そのように感じる理由もあわせてご回答ください。  
(あてはまる番号1つに○)

5. 満足している      6. どちらかといえば満足している      7. どちらかといえば不満である      8. 不満である

上記のように感じる理由

問6 あなたは松本が好きですか。そのように感じる理由もあわせてご回答ください。  
(あてはまる番号1つに○)

1. 好きである      2. やや好きである      3. あまり好きではない      4. 好きではない

上記のように感じる理由

問7 日頃の生活をする中で、充実感を感じていますか。(あてはまる番号1つに○)

7. 十分充実感を感じている  
8. やや充実感を感じている  
9. あまり充実感を感じていない  
10. ほとんど(全く)充実感を感じていない  
11. どちらともいえない  
12. わからない

問8 あなたの暮らし向きは今後どのように変化すると感じていますか。  
そのように感じる理由もあわせてご回答ください。(あてはまる番号1つに○)

7. より良くなっていく  
8. 今よりは良くなる  
9. 今と変わらない  
10. 今よりは悪くなる  
11. より悪くなっていく  
12. わからない

上記のように感じる理由



### III 松本市の魅力や今後のまちづくりについて伺います。

問9 あなたが感じる松本市の魅力はどのようなところですか。3つまで番号をご記入ください。

1 番 目	2 番 目	3 番 目
14. 清らかな水や空気、豊かな自然 15. 市街地から眺める雄大なアルプス 16. 都市と自然とのちょうどよいバランス 17. 松本城のたたずまい 18. 上質な雰囲気を感じさせるまち並み 19. 趣のある路地裏など、まちの雰囲気 20. 魅力的なお店がたくさんある 21. そばや山賊焼きなどの郷土食 22. 伝統や歴史を大切にする文化 23. 民芸家具やクラフトの文化 24. 音楽フェスティバルなどの文化芸術活動 25. プロスポーツなどによる賑わい、一体感 26. その他 ( )		

問10 これからの 10 年間を見据え、松本市はどのような地域を目指すべきだと思いますか。次の項目の A と B の意見について、あなたのお考えに近い番号をご回答ください。(それぞれについて、あてはまる番号 1 つに○)

A	Aに近い	ややAに近い	ややBに近い	Bに近い	B
(1) A：松本市の強みを集中的に伸ばしていく地域	1	2	3	4	B：様々な分野に均等に力をいれていく地域
(2) A：新しいことを積極的に取り入れる地域	1	2	3	4	B：現状を維持していく地域
(3) A：松本市の経済と産業を強くし、お金を稼げる地域	1	2	3	4	B：お金を稼ぐことよりも、心豊かな暮らしを大切にする地域
(4) A：地域の運営を行政が主体となっていく	1	2	3	4	B：住民と行政が協働で地域の運営を行う
(5) A：コミュニティ内で助け合える地域	1	2	3	4	B：お互いのことに干渉しない、個人が自立した地域

問11 今後も大切にすべき「松本らしさ」とはどのようなことだと思いますか。  
ご自由にお書きください。

問12 これからの10年間で、松本市はどのようなまちになってほしいですか。ご自由にお書きください。  
(キーワードやキャッチフレーズなどでも結構です。)

問13 その他、生活全般で何かご意見がありましたらお書きください。

## IV 卒業後の進路や地域に関する情報入手方法などについて伺います。

問14 現時点での高校卒業後の進路についてご回答ください。(あてはまる番号1つに○)

1. 就職する予定である	→問 15 へ
2. 短期大学へ進学する予定である	→問 16 へ
3. 専修・専門学校へ進学する予定である	
4. 4年制大学・6年制大学へ進学する予定である	→問 22 へ
5. その他 ( )	
6. わからない	

問15 高校卒業後に就職する方にお聞きします。就職を希望する地域はどちらですか。

(あてはまる番号1つに○)

1. 松本市	→問 18 へ
2. 長野県内市外 ( _____ 市・町・村)	→問 19 へ
3. 県外 ( _____ 都・道・府・県)	
4. 国外	
5. 場所にこだわらない	
6. まだわからない	

問16 高校卒業後に進学する方にお聞きします。進学を希望する地域はどちらですか。

(あてはまる番号1つに○)

1. 松本市
2. 長野県内市外 ( _____ 市・町・村)
3. 県外 ( _____ 都・道・府・県)
4. 国外
5. 場所にこだわらない
6. まだわからない

問17 高校卒業後に進学する方にお聞きします。進学先を卒業した後に、就職を希望する地域はどちらですか。(あてはまる番号1つに○)

1. 松本市	→問 18 へ
2. 長野県内市外 ( _____ 市・町・村)	→問 19 へ
3. 県外 ( _____ 都・道・府・県)	
4. 国外	
5. 場所にこだわらない	
6. まだわからない	

問18 松本市内での就職を希望している方にお聞きします。

松本市内で就職したい理由をご回答ください。(あてはまる番号すべてに○)

回答後、問 22 にお進みください。

1. 実家で暮らしたいから	6. 働きたい会社があるから
2. 親しい友人がいるから	7. 親に負担をかけたくないから
3. 地元が好きだから	8. 家業を継ぐ必要があるから
4. 生活しやすいから	9. その他 ( )
5. 自然環境が豊かだから	

**問19 松本市外での就職を希望している方にお聞きします。**

松本市外で就職したい理由をご回答ください。(あてはまる番号すべてに○)

- |                       |                     |
|-----------------------|---------------------|
| 1. 市外で働きたい職場があるから     | 5. 今住んでいる地域に魅力がないから |
| 2. 松本市より住みたいまちが他にあるから | 6. 人間関係がわずらわしいから    |
| 3. 松本市が都会的ではないから      | 7. その他 ( )          |
| 4. 松本市が生活に不便だから       | 8. 特に理由はない          |

↳「生活に不便だから」と回答した方は、  
どのようなところが不便ですか。ご自由にお書きください。

( )

**問20 松本市外での就職を希望している方にお聞きします。**

松本市に戻ってきたいという思いはありますか (あてはまる番号1つに○)

- |                |             |
|----------------|-------------|
| 1. 戻ってきたい      | 4. 戻るつもりはない |
| 2. いずれ戻ってきたい   | 5. その他 ( )  |
| 3. あまり戻るつもりはない |             |

**問21 松本市外での就職を希望している方にお聞きします。**

あなたは、松本市がどのようなまちなら、住み続けたいと思いますか。ご自由にお書きください。

**問22 【すべての方がお答えください】**

あなたは松本市近郊にある会社をどの程度、知っていますか。(あてはまる番号1つに○)

- |            |              |            |           |
|------------|--------------|------------|-----------|
| 1. よく知っている | 2. ある程度知っている | 3. あまり知らない | 4. 全く知らない |
|------------|--------------|------------|-----------|

**問23 あなたは松本市近郊にある会社や仕事について、調べたことはありますか。**

(あてはまる番号1つに○)

- |             |             |
|-------------|-------------|
| 1. 調べたことがある | 2. 調べたことはない |
|-------------|-------------|

**問24 地域や松本市の取組みに関する情報をどこから入手していますか。**

(あてはまる番号すべてに○)

- |                          |                     |
|--------------------------|---------------------|
| 11. 広報まつもと (紙媒体)         | 17. ポスター、チラシ        |
| 12. 広報まつもと (Web 媒体)      | 18. テレビ番組           |
| 13. 市のホームページ             | 19. 新聞記事 (具体名: )    |
| 14. 市の Twitter           | 20. その他 (具体名: )     |
| 15. 市のアプリ (マチイロ、さんあーるなど) | 11. 市や地域の情報は把握していない |
| 16. 回覧板                  |                     |

以上で質問はすべて終了です。長時間のご協力、どうもありがとうございました。

